

10年間のクラブの歩み

分区別・創立順

半田ロークリークラブ

〒475-0874

半田市銀座本町1-1-1

半田商工会議所内

TEL (0569) 21-0301

FAX (0569) 23-4546

・創立年月日／1951年5月16日

・承認年月日／1951年6月6日

・スポンサークラブ／名古屋ロークリークラブ

・現会長／石川八郎

・現会員数／70名

・例会場・曜日／レストラン白山・木曜

地域やクラブの特色

半田市は知多、衣浦地域の中核都市として政治、経済の中心を担ってきた。伝統産業の醸造、綿織物とともに近年港湾が拡充整備され臨海工業地帯が発達し、蔵の町に繰り広げられる勇荘華麗な「半田山車まつり」、童話作家「新美南吉」のふる里もある。サンフランシスコ平和条約が調印された年、盛田秀平特別代表のもと23名のチャーターメンバーで県下4番目、日本で61番目、世界で7809番目のクラブとして誕生した。松本RC、ミッドランドRC(米国)と姉妹提携している。

物心両面にわたる奉仕活動が身上である。

特記すべき活動

'87～'88年度第276地区の初代ガバナーに田中徹君が就任、'96～'97年度には松本宏君が、第2760地区ガバナーに就任。この10年の間に我がクラブから2人のガバナーが誕生した。'88年3月D.276第1回地区大会をホスト、同時に姉妹クラブ松本RCとの交流が始まる。'89～'90年度は“ENJOY ROTARY”的もとファイヤーサイドミーティング、夫人同伴例会を開催し会員相互の親睦を図り40周年に備えた。'91年5月に40周年記念例会を挙行、記念誌を編纂した。'91年8月には定款細則プロジェクトが発足。社会奉仕では'92年1月「美しい環境を守るポスタークンクール」、12月「半田市子供綱引き大会」等ユニークな行事も主催。'96年5月は45周年記念例会と「ロークリー活動と家庭」をテーマに会員名簿を編纂。'97年3月、「新世代のためのロークリー会議」を中心学生の勤労体験を切り口に開催。



地区年次大会に山車を展示

奉仕の歩み

'88年9月WCSプロジェクトへの寄付が始まった。'89年6～12月の間、フィリピン職業訓練生を受け入れる。'89年6月には半田RCロークリー大賞が創設され、福祉団体、個人を表彰。'90年より財団特別寄付開始。'91年5月の創立40周年記念事業は、新美南吉を顕彰して「ごんぎつねのふる里シンボルタワー」を建立、「枇杷の花」の詩に作曲、財団へ基金を贈呈した。'92年10月中国南通医学院へファクシミリ寄贈。'93年12月にはRCC「半田教育サークル」を発足させ次世代の健全育成に努めている。'94年12月半田病院ロビーで「院内クリスマスコンサート」を初めて開催。'97年10月より全会員参加で米山特別寄付を開始した。また、身障者児童の「半田市特殊教育展」にも毎年後援、

常滑ロータリークラブ

〒479-0838

常滑市鯉江本町5-141

常滑駅ビル(棟内)

TEL (0569) 34-8698

FAX (0569) 34-9490

- ・創立年月日／1966年5月30日
- ・承認年月日／1966年6月11日
- ・スポンサークラブ／半田ロータリークラブ
- ・現会長／鈴木信嘉
- ・現会員数／74名
- ・例会場・曜日／常滑駅ビル4F・金曜

地域やクラブの特色

常滑市は、知多半島の中央に位置する南北に16kmの細長い町である。伊勢湾に面する西側は平地、東側は丘陵地帯になっている。人口は約52千人、面積は48.35km²である。常滑は、常滑焼として日本六古窯の一つである。又、常滑市は'97年中部国際空港建設地に決定し2005年までに開港することとなった。今後は、この伝統のある常滑焼と中部国際空港と調和しながら発展が期待される町である。クラブの特徴は創立32周年で熟年期になり会員の年齢も40才から80才まであるにも拘わらず和気藹々とした雰囲気のクラブである。会員の多くが窯業(タイル、衛生陶器、朱泥急須、茶器、花器等)に関連しているのも特色の一つである。

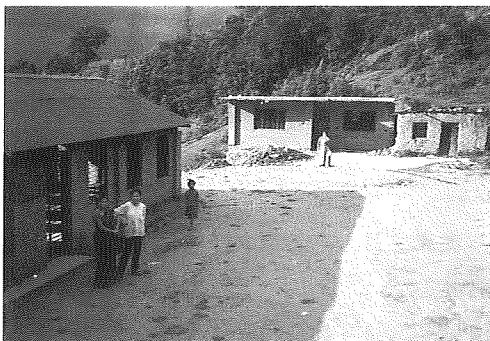
奉仕の歩み

'87年度、知多RCの創立・例会会場の移転(東海銀行より常滑駅ビル)'88年度「私の職業奉仕」小冊子発行・地域開発小委員会の設置・ポリオプラスのクラブ負担金完納・新クラブバナー(セラミック製)作成・'90年度クラブ創立25周年記念事業の実施・IWCAT援助開始・米山奨学生の受け入れ・'91年度会則特別委員会を設立して会則の見直しの実施・米山奨学生の引き続き受け入れ・社会奉仕委員会内に小委員会として環境保全委員会の設置'92年度「環境を良くする」ポスター展の実施・「職業宣言」の配布・RI会長賞の

受賞・家族旅行(観艦式見学)の実施・'93年度'94~'95年度のための地区協議会ホスト(常滑市民文化会館)・ライラセミナーに5名参加・WCS活動として直接ネパール、バゲスリ小学校へ出向き援助・職場例会(名鉄HSSTの試乗)の実施'94年度R財団奨学生推薦・WCS活動として直接ネパール、バゲスリ小学校へ出向き援助・家族会(歌舞伎見学)の実施'95年度尾張第1分区IMのホスト・クラブ創立30周年記念事業の実施(記念例会、記念植樹常滑駅前公園、記念誌の発行)・市田弘治会員尾張第一分区代理に就任'96年度RI会長賞受賞・RCC(THCC)の設立・職場例会(INAX知多工場情報システム)見学実施。

特記すべき活動

国際奉仕委員会のIWCAT(とこなめ国際やきものホームステイ)については国際的にも認められる活動支援である。又、WCS活動についても会員が自ら現地ネパールまで直接出向いて支援し、成果の確認ができる。



手前の屋根が新校舎(ネパール・バゲスリ小学校)

東海ロータリークラブ

〒476-0013

東海市中央町4-2

東海市立商工センター305号

TEL (0562) 33-8255

FAX (0562) 33-8257

- ・創立年月日／1969年4月30日
- ・承認年月日／1969年5月9日
- ・スポンサークラブ／名古屋港ロータリークラブ
- ・現会長／早川 勉
- ・現会員数／61名
- ・例会場・曜日／新日鐵公園クラブ・水曜

地域やクラブの特色

東海市は沿海部に新日本製鐵、大同特殊鋼、愛知製鋼、など日本を代表する鉄鋼基地をひかえ、背後地には豊かな緑の、“巨峰”に代表されるぶどう畠と、蘭の栽培がされており、活力・ぬくもりそしてロマンあふれる10万都市である。東海ロータリークラブは、東海市の市制施行(昭和44年4月)と歩調を合わせるように、ロータリークラブを誕生させようという気運がもち上がり、当時の富士製鐵(現新日本製鐵)名古屋製鐵所の副所長内川悟氏と東海市医師会会长長谷部偉三氏の2人が努力され、22名のチャーターメンバーで1969年(昭和44年4月30日)創立された、伝統あるクラブである。

奉仕の歩み

'84年12月、東海市へ救急車の贈呈と、「ロータリーの森」公園の設置。

'86年3月、平地公園に桜の木を植樹。

'87年10月、東海ロータリー旗争奪、青少年剣道大会開催、現在も継続事業として行われている。

1989年6月20周年記念、市民文化講演会(東海市立文化センター)にて開催。山内一生氏の和紙工芸作品「蘭」(10写10点)を東海市へ贈呈。

'92年7月、東海市立商工センターへ、絵画贈呈。

'94年3月、社会福祉法人さつき福祉法人さつき福祉会へタペストリー贈呈。

'95年3月、東海ロータリー旗争奪、青少年大会開催。

'95年11月、地区大会記念として、元浜公園に時計塔モニュメント贈呈。

'97年5月、東海市しあわせ村へ山内一生氏の和紙工芸作品と鷺見香治氏の彫刻を贈呈。

国際奉仕活動としては、青少年交換学生とタイ3360地区とフィリピン3800と3810地区におけるWCS活動を継続事業として、現在も行われている。

特記すべき活動

'91年3月18日に東海市立文化センターに於いて、1991~92年度尾張第一分区IM、並びに東海ローターアクト認証状伝達式を開催した。

'95年11月11日・12日に東海市市民体育館に於いて、1995~96年度国際ロータリー第2760地区地区大会を開催した。

石川ガバナーの「簡素ながらさわやかな大会」にしなさいという御方針に従って、会員一同一致団結して、会員だけによる本当の手作りの大会を試みた。



1995年11月地区大会ホスト

東知多ロータリークラブ

〒475-0011
半田市稻穂町1-49-2
TEL (0569) 29-2156
FAX (0569) 29-4246

- ・創立年月日／1969年6月7日
- ・承認年月日／1969年6月13日
- ・スポンサークラブ／半田ロータリークラブ
- ・現会長／長坂和夫
- ・現会員数／69名
- ・例会場・曜日／山田家ベル・土曜

地域やクラブの特色

知多半島の北東部に位置し、大府市、東浦町、阿久比町の1市2町をテリトリーとしているクラブである。大府市は、名古屋市に隣接し、自動車関連工業と酪農、果樹園が主要産業である。東浦町は、以前は繊維産業中心であったが、近年自動車関連工業と木工家具工業の進出を見る様になり、米作農業も、東浦ぶどう、東浦いちご等の果樹栽培が盛んになつて來た。阿久比町は、うまい米として有名な“阿久比米”的産地で、農業と織物の町である。

大府市、東浦町にまたがつて“あいち健康の森”阿久比町には“スポーツ医科学センター”が設置され、健康と長寿社会と言う21世紀に向つて最も重要な問題の答を出す施設をテリトリー内に持ち、'88-'89年度に20周年記念式典と、記念誌「ともに20年」を発刊した青年クラブである。

奉仕の歩み

1市2町のクラブとして、単年度予算にて全部の市町に対し公平な奉仕活動は、どうしても制限されるため輪番制にて行つてゐる。この10年の主だった奉仕活動を列記すると、'87-'88年度の東浦町くすのき授産所への軽自動車に始まり、大府市あけび苑にワゴン車、新築された東浦町図書館に大地球儀、大府市教育委員会に天体望遠鏡とビデオプロジェクター、阿久比町にミュージックサイレ

ン、東浦中学校に楽器、東浦社会福祉協議会にリクライニング車椅子、阿久比町社会福祉協議会に軽自動車等の贈呈を行つて來た。その他市町の計画した530運動、緑化運動に積極的に参加した。又'95-'96年度より3年継続事業として、全小学校に「いじめ110番、4つのテスト」入りの下敷を配布している。'93-'94年度には創立25周年記念事業として、県立阿久比高校にインタークトクラブを設立した。

特記すべき活動

当クラブは、愛知県が健康と生きがいに満ちた長寿社会を実現するために設立する「あいち健康の森」に対し、積極的に協力するために'89-'90年度に“あいち健康の森委員会”を設置し活動を開始した。毎年諸関係者を卓話者として迎えたり、見学をしたりして新しい健康づくりに如何に参加すべきか勉強をして來た。健康ゾーン「あいち健康プラザ」が'97年10月完成するのを記念して、日時計を贈る予定である。



インタークトクラブ設立総会

半田南ロータリークラブ

〒475-0874

半田市銀座本町1-1-1

半田商工会議所内

TEL (0569) 21-0301

FAX (0569) 23-4546

- ・創立年月日／1980年2月12日
- ・承認年月日／1980年2月25日
- ・スポンサークラブ／半田ロータリークラブ
- ・現会長／山本清治
- ・現会員数／70名
- ・例会場・曜日／レストラン白山・火曜

地域やクラブの特色

気候温暖にして四季の調和のとれた良い環境に恵まれた知多半島の中心に位置する半田以南の武豊・美浜・南知多町を地域とするクラブである。

伝統工業としての醸造・織物をはじめ政治経済の中心としての半田市、近年港湾の拡充により臨海工業の街として栄える武豊、そして、観光を中心として一層の発展が期待される美浜・南知多町がある。また、中部国際空港の巨大プロジェクトが起き、多かれ、少なかれ時代の波を受けつつある知多半島の中核をなす地域のクラブである。

1980年(昭和55年)2月12日、半田RCをスponサークラブに、小栗利三郎氏を特別代表として、チャーターメンバー31名をもって創立された。以後、1997年末には71名のメンバーに発展してきている。

奉仕の歩み

'90年2月25日 知多中部広域事務組合へ救急車1台寄付。'91~'93年 半田市みなと公園に植樹。'92年~R財団留学生派遣。WCSに寄付。'94年 半田警察署へFAX寄付。'96年 パラオ共和国にソーラーシステム2台寄付。'95年 国際R環境保全事業資金、R財団寄付。図書充実資金(半田・武豊・美浜・南知多町)。'93年~ ロータリー大賞を設置 各種奉仕団体を表彰、奨励。

このように各種の寄付、表彰等を隨時行つ

ている。今後も各団体等への寄付、表彰、また、新世代育成のための事業を計画し、地域社会への奉仕を心がけていくつもりである。

特記すべき活動

10年史('90年)・15年史('95年)を発行。

'88年以降南佐久RCとの姉妹提携を通して海に近いクラブ、山に近いクラブとして毎年定期的に交流を図っている。

'95年4月2日にはI.M.を半田市福祉文化会館で開催。

出席率状況99.06%、平均年令56.09才。

'98年度中には72名ぐらいの会員になり、年令層もかなり若くなる可能性が高い。

会員相互の信頼と親睦に努め、楽しい例会を心がけている。また、会員増強を心がけることにより広く地域の有能な職業人の集まりとなることが、信頼と希望のあるRC活動が出来るものと考え、努力をしている。



5・3・0運動

知多ロータリークラブ

〒478-0017

知多市新知字下森11-1

TEL (0562) 55-0900

FAX (0562) 55-9999

- ・創立年月日／1987年12月14日
- ・承認年月日／1988年1月8日
- ・スponサークラブ／常滑ロータリークラブ
- ・現会長／早川佳教
- ・現会員数／48名
- ・例会場・曜日／じろきん本店・月曜

地域やクラブの特色

私たちの郷土は温暖な気候で知られる知多半島、その北西部にあたる緑園都市。知多西部は豊饒の海、伊勢湾に臨み、東部にはなだらかな丘陵が広がる。

この豊かな自然に抱かれ、知多市は古くから歴史のある風土を培い、特に梯子獅子、尾張万才は郷土を代表する芸能である。

最近では、230万都市名古屋のベッドタウンとして新興住宅地も形成され、伝統の中に新しい風が吹き込んでいる。

また、もう一つの顔は、中部圏のエネルギーと穀物供給の前進基地として、臨海工業地帯があり、躍動的である。

人口は現在8万人を超え、産業と暮らしのバランスのとれた、緑園都市・人間都市・産業都市の3つの顔をもつ街である。

奉仕の歩み

'92年12月 創立5周年記念として、知多市在宅ケアセンターに軽自動車2台を寄贈。国際ロータリー財団へ金一封を贈呈。

'97年11月 創立10周年記念として、知多市福祉協議会へ軽自動車2台を寄贈。国際ロータリー財団へ金一封を贈呈。職業奉仕、社会奉仕部門における個人・団体に感謝状と金一封を贈呈。

職業奉仕 毎年職場訪問と優良従業員表彰。

社会奉仕 每年知多市産業まつりに協賛。

市内小・中学校クリーン作戦に参加。市内

中学校吹奏楽を後援し、参加。ボランティアで活躍されている人を表彰。しめやま福祉センターの子ども達を訪問。

国際奉仕 每年タイ国を訪問し、後進地域の子ども達に必要な施設を作るために金一封を寄贈。

特記すべき活動

- '87年12月14日 設立総会を開催
- '88年1月8日 国際ロータリー加盟
- '90年11月28日 尾張第一分区I.M.のホストを初めて担当
テーマ：これからロータリー
- '92年12月14日 創立5周年記念例会
5年のあゆみ(会員職業紹介)を発行
- '97年2月16日 尾張第一分区I.M.のホストを担当
テーマ：新世代を考えた青少年活動
- '97年11月30日 創立10周年記念例会
10年のあゆみを発行



知多クラブ創立来ガバナー訪問には奥様方にも出て頂き、夫人同伴でガバナーをお迎えしています。

名古屋ロータリークラブ

〒460-0003

名古屋市中区錦1-19-30

名古屋観光ホテル内

TEL (052) 219-1361

FAX (052) 219-1362

- ・創立年月日／1924年12月17日
- ・承認年月日／1925年2月7日
- ・スポンサークラブ／東京ロータリークラブ
- ・現会長／須田 寛
- ・現会員数／235名
- ・例会場・曜日／名古屋観光ホテル・火曜

地域やクラブの特色

「中部圏の要である名古屋にロータリークラブを」という、米山梅吉初代スペシャルコミッショナーからの働きかけに応じて、東京、大阪、神戸に次いで日本で4番目のクラブとして、1924(大正13)年12月17日に発会式を行い、翌1925(大正14)年2月7日にR.I.本部より設立承認を受け、3月4日にチャーターメンバー25名で第1回の例会をスタート、4月26日にチャーターナイトを実現した伝統あるクラブである。設立後は、愛知県内のみならず、岐阜、三重、長野の各県にもスポンサークラブとして、ロータリーの普及に努めて今日に至っている。

奉仕の歩み

1989年 市制100周年記念事業に協力、世界デザイン博覧会の開催された白鳥センチュリープラザのエントランスホールに世界時計(1000万円)を寄贈。

1990年 中区制80周年記念事業に協力、新庁舎陶壁画制作費をライオンズクラブと合同で負担。

1995年 創立70周年記念事業の一つとして久屋大通公園(エンゼル広場)に石田武至作地球儀をもつ男性像、彫刻「友愛」一基寄贈、米山・ロータリー財團に各々70万円ずつ寄付。

1996年 中消防署複合庁舎電光表示装置を中、大須、栄クラブと分担して寄贈。

その他、中区で活躍されている警察官と消防職員・団員に毎年感謝状と記念品を贈呈し

平素の努力に報いている。

特記すべき活動

1986年3月2日 尾張第一分区I.G.F.ホスト 於名古屋観光ホテル

1989~90年 盛田和昭ガバナー就任。

1994年2月21日 名古屋第一分区I.M.ホスト 於名古屋観光ホテル

1995年2月7日 創立70周年を愛知県知事、名古屋市長、東京クラブ、R.I.2760地区ガバナー、パストガバナー及び子クラブ、市内R.C.の会長幹事等々のご参加を得て盛大に祝う。

この他、青少年活動には特に力を注いでおり、以下に列記する通りである。

名古屋インターラクトクラブの活動支援

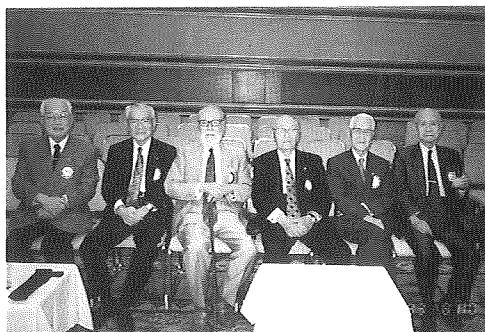
心身障害児キャンプ開催

小児糖尿病医療キャンプ支援

ロータリー杯争奪、名古屋市内中学校女子バスケットボール大会支援

チャリティランへの参加及び支援

新世代会議の開催



1993年8月10日名古屋・中・大須・栄4RC
合同例会に出席された90才以上の会員6名

名古屋西ロータリークラブ

〒450-0002

名古屋市中村区名駅 4 - 3 - 25

ホテルキャッスルプラザ内(2F)

TEL (052) 581-4715

FAX (052) 541-1502

- ・創立年月日／1953年12月10日
- ・承認年月日／1954年2月5日
- ・スポンサークラブ／名古屋ロータリークラブ
- ・現会長／伊藤泰弘
- ・現会員数／149名
- ・例会場・曜日／ホテルキャッスルプラザ・木曜

地域やクラブの特色

当クラブは1953年12月、特別代表、盛田秀平氏のもと名古屋市西区、中村区をテリトリーとして、18名で設立総会を開いた。初代会長に小室健夫氏が就任、翌年2月RIより承認され、27名で正式に発足した名古屋市内で2番目の歴史をもつ伝統あるクラブである。

奉仕の歩み

1987年より'96年まで、西区・中村区の警察署、消防署に対し、各種器材を寄贈。また両区の父子・母子家庭の中学生進学児童に、国語辞典を贈呈し、一昨年より図書券を贈った。

1990年より日本赤十字、愛知女子短大へ教育基金を寄贈、この事業は息の長い奉仕活動として実施している。更に、青少年健全育成を目標に、ボーイスカウト400名とともに各駅前、駅西の清掃奉仕を行い、市制100年記念事業として名古屋駅前にモニュメントを寄贈した。また、日本のスポーツ文化を知ってもらおうと、名古屋大学の留学生を大相撲王座決定戦に招待した。

1994年～'95年には毎月10日のノーカーテー運動に協賛、市内5ヶ所の電光掲示板で啓蒙キャンペーンを展開した。

1997年には県図書館に視覚障害者のためのデジタル音声情報システムとパソコン式を寄贈した。また地下鉄の乗車マナー向上啓蒙ステッカーを市交通局へ寄付、更に西区・中村区の小中学校に植樹した。

1998年3月には青少年のための21世紀創造会議を盛大に開催した。

特記すべき活動

- 1989年 創立35周年記念事業として、ボリオ撲滅キャンペーンに160万円、バングラデシュ水害救援に20万円寄付。
- 1990年 新クラブ拡大委員会設置。
- 1991年4月 名古屋名駅RCのスポンサーとなり、設立総会開催。同年6月RIより認証された。
- 1993年 名古屋第一分区IMをホスト、千宗室氏を講師に招き盛大に開催。
- 1994年 創立40周年記念でロータリー財団、米山奨学会へ特別寄付。
- 1997年 ガバナーノミニーに内藤明人氏が決定。事務所を開設した。



創立40周年記念式典

名古屋南ロータリークラブ

〒460-0008
名古屋市中区栄1-12-12
東洋ビル内
TEL (052) 221-6533
FAX (052) 222-3626

- ・創立年月日／1957年2月20日
- ・承認年月日／1957年4月1日
- ・スポンサークラブ／名古屋ロータリークラブ
- ・現会長／大島規仔志
- ・現会員数／134名
- ・例会場・曜日／名古屋観光ホテル・水曜

地域やクラブの特色

名古屋RCより、日本RC登録順位199番目のクラブとして、1957年(昭和32年)2月20日に、チャーターメンバー21名でスタートを切った。当初は名古屋市南・熱田・瑞穂の3区をテリトリーとしていたが、'67年に熱田・瑞穂の2区に改正された。'69年3月6日に名古屋東南RC(テリトリー名古屋市南・緑の両区)、また'80年1月10日には名古屋瑞穂RC(テリトリー当クラブと同じ)を、いずれも当クラブ岩田政也元会長を特別代表として創立させた。活気に溢れる産業地帯と閑静な住宅街を合わせもつ地域性からか、多岐に亘る、優れたクラブメンバーを擁し、近年益々ロータリー活動も盛んになってきた。

奉仕の歩み

'87年～'97年の10年の奉仕活動を振り返ると、まず国際奉仕においては、WCS活動の中心となり、フィリピン・タイに対する援助、'93年サンパウロ南RCとの姉妹提携を契機に、両クラブとのマッチングプロジェクトを推進中である。又、留学生の住居援助等多彩な活動を行なっている。

社会奉仕では、地域の警察署への種々の交通安全器材の寄付。熱田消防署へ「火災予防広報用設備」の贈呈。点字プリンターの寄贈等。又、創立35周年を記念して、熱田神宮東公園の植樹。40周年('97年)には、熱田神宮へ宮域総合案内モニュメントを贈呈した。

熱田RACを引き続き、東南・瑞穂・名南

RCと共に支援し、青少年活動を積極的に行なっている。ちょうど10年前、RAC地区大会を主管したが、今年'98年4月、再び熱田RACがホストすることとなった。この1、2年では、フィリピンセブ島へ青少年を派遣し、同時に地元の小学校へ学用品支援を行なっている。

特記すべき活動

30周年記念誌('87年)・40周年記念誌・ビデオ集の作成と発刊、特に5年に及ぶ長期ビジョン協議会による報告書の発刊は、多岐に亘り他クラブからの評価も高い。

地区役員には、この10年間に、名古屋第一分区代理('94～'95年)を始め、多くの人材を派遣し、地区協議会の発展に寄与しているものと確信している。

平均年令60.8才ではあるが、老壯青のバランスもとれ、活気に満ちたクラブ活動が展開されている。今後、会員拡大をしつつ、より一層の発展を目指す。



1993年4月7日サンパウロ南RC
姉妹提携関係調印式

名古屋港ロータリークラブ

〒450-0002

名古屋市中村区名駅1-2-4
名鉄グランドホテル13階308号室
TEL (052) 586-2955
FAX (052) 586-2956

- ・創立年月日／1966年4月21日
- ・承認年月日／1966年5月12日
- ・スポンサークラブ／名古屋西ロータリークラブ
- ・現会長／関口宗男
- ・現会員数／130名
- ・例会場・曜日／名鉄グランドホテル・金曜

地域やクラブの特色

名古屋市の南西部の港区、中川区をテリトリーとしている。当クラブでは本年32周年になる。この10年間で会員は108名から130名を擁するクラブとなり、36才から96才まで広い会員構成となっている。同好会としてゴルフ、釣、グルメ等の会があり会員相互の親睦を深めている。歴代会長が明るく楽しいクラブ運営を基本としているのでそのようなクラブとなっており、オアシスとして機能している。

奉仕の歩み

'76年名古屋港RACを提唱し、一貫して青少年の健全育成に積極的に取組んでいる。

'97年には当クラブが創立した名古屋西南RCも名古屋港RACの提唱クラブになり、'97年9月ローターアクターを中心とする新世代会議を開催した。

海洋少年団、ボーイスカウト、暴力追放区民会議組織、3ヶ所の精神薄弱者通所授産施設の各援助、授産施設である昭和作業所の餅つき大会参加、港、中川両警察署、消防署の優良署員の表彰、記念品の贈呈、'95年より毎年年末会員からの義援金を名古屋市福祉基金に寄付等を継続事業として行っている。創立25周年の'91年には名古屋国際会議場へブロンズ像寄贈及びロータリー財團への寄付、創立30周年の'96年には名古屋港管理組合へアメリカ製ベンチの寄贈、ロータリー財團及び米山記念奨学会への寄付を行った。このよう

に地域社会に密着した奉仕活動を行っている。ロータリー財團、米山記念奨学会への支援にも力をいれしており、この10年間でロータリー財團寄与率7500%から20000%、米山功労者21名から47名となっている。

ロータリーの金看板である職業奉仕についてクラブとして機会をとらえて啓蒙運動をしており、'98年2月は職業奉仕事例集を発行する。

特記すべき活動

'91年4月、創立25周年記念式典挙行、'92年5月地区大会ホストを務めた。クラブ拡大について'95年5月名古屋西南RCを、当クラブ綱島彰元会長を特別代表として創立した。'96年2月IMホスト、'96年4月寛仁親王殿下をお迎えして創立30周年記念式典を挙行し、併せて名古屋港RAC創立20周年記念式典を開催した。'97年より親睦とロータリーの理解を一層深めるため家庭集会委員会、適正、有効なロータリー活動を行うことを目的として基金委員会を設置した。



'97.12 名古屋市福祉基金へ寄贈

名古屋東南ロータリークラブ

〒450-0002

名古屋市中村区名駅1-2-4

名鉄グランドホテル13階311号室

TEL (052) 583-0010

FAX (052) 583-0009

- ・創立年月日／1969年3月6日
- ・承認年月日／1969年3月12日
- ・スポンサークラブ／名古屋東南ロータリークラブ
- ・現会長／久野博淳
- ・現会員数／92名
- ・例会場・曜日／名鉄グランドホテル・木曜

地域やクラブの特色

南区は遺跡や古墳、由緒ある神社仏閣が点在すると同時にわが国有数の屋内スポーツの拠点、名古屋総合体育館を有する「歴史・文化・スポーツのまち」。そして、絞り染めでその名をはした鳴海・有松を中心に守り抜いてきた伝統と新たに切り開いた街から人々が生み出す新しい文化をもつ「緑と風のまち」緑区。

この2区を地域とし、1969年3月12日名古屋東南ロータリークラブをスポンサーとし、岩田政也特別代表のご尽力により認証されたクラブである。

奉仕の歩み

1987年9月 緑区「障害者と区民の集い」に寄付金贈呈。11月 南、港、瑞穂、東南4クラブ合同事業とし名古屋市南養護学校へ寄付金贈呈。

1988年5月 大高緑地公園内に日本庭園「友愛の庭」贈呈。

1988年9月より地区国際奉仕事業としてフィリピンへ寄付金贈呈開始。

1990年12月 緑区役所、緑警察署の案内塔寄贈。

1992年4月 南図書館に寄付金贈呈。

1994年3月 第49回国民体育大会(わかしゃち国体)、南区社会福祉協議会、緑区社会福祉協議会へそれぞれ寄付金贈呈。等各種の寄付を継続中である。

特記すべき活動

- ・10年のあゆみ(1979年)、20年のあゆみ(1989年)を発刊。
- ・名古屋第一分区IGF(1988年11月27日)
於：名鉄グランドホテル
- ・創立25周年記念例会(1994年3月3日)
於：名鉄グランドホテル
- この日香港九龍東北RCと友好提携締結。
- ・地区協議会(1995年5月20日)
於：ホテルナゴヤキャッスル
- ・名古屋第一分区IM(1997年2月20日)
於：ホテルナゴヤキャッスル
- ・本年度ガバナーズクラブ
- ・次年度地区大会ホストクラブ
- ・平均出席率98.88%、平均年齢62.28歳

「奉仕」「親睦」「出席」の3つが重要な柱と考え、年間2回の合同委員会、4回の家族会を開催、会員相互の親睦はもちろん家族ぐるみの親睦の輪を広げている。次年度30周年をむかえるにあたり会員拡大はもちろんのこと、活力あるクラブへとさらに努力をしてゆく。



友好クラブ九龍東地RCを訪れて

名古屋中ロータリークラブ

〒460-0003

名古屋市中区錦1-19-30

名古屋観光ホテル内

TEL (052) 231-1687

FAX (052) 202-1703

- ・創立年月日／1969年10月6日
- ・承認年月日／1969年10月13日
- ・スポンサークラブ／名古屋ロータリークラブ
- ・現会長／杉浦正康
- ・現会員数／172名
- ・例会場・曜日／名古屋観光ホテル・月曜

地域やクラブの特色

名古屋市の中央に位置し、古くから大須観音、本願寺別院等の門前町として栄えた商業の中心である。近年では大型商業施設、情報通信機器・電気製品の専門小売店舗などが多く見受けられるようになった。

1969年10月6日、名古屋中ロータリークラブは、名古屋ロータリークラブより地域分割を受け設立された。発足当時のチャーターメンバーは24名、10年目90名、20年目147名、28年目('98.3.25)の本年は172名の会員を擁するまでに成長した。

当クラブの会員の職業分類が、極めて各種多様であることは特徴の一つでもある。また会員の平均年令が若く、会員相互の交流密度も深い。会員は、地域社会のリーダーを自負し、平素職業奉仕に精励し、職業に品位と道徳性を高めるべく努力をしている。

奉仕の歩み

5周年('74～'75)記念事業は、中区内の中学生及び小学校高学年生の作文募集を行い、入選者や参加校へは、賞状と賞品を贈り、また作品集を印刷して、会員をはじめ関係者に配布した。

10周年('79～'80)記念事業は、鶴舞公園内子どもの広場に高さ5.5㍍の太陽電池で動く時計塔の寄贈並びに楠3本を植樹した。

15周年('84～'85)記念事業は、区域内派出所の優良警察官7名を記念例会席上にて表彰、また地球儀を型どった友愛の箱を会員に配布

して、歳末助け合い募金に寄与した。

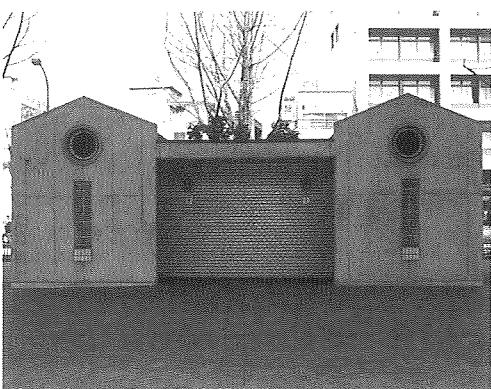
20周年('89～'90)記念事業は、市制100年を迎えるに際し、市が企画する事業の一環として、「若宮大通公園のイベント広場」に『公衆便所(デザイントイレ)』を寄贈した。

25周年('94～'95)記念事業は、『環境創造』をテーマに、国際レベルの事業として、①「アフリカ村おこし運動」への助成②地区事業「南の島にソーラーの灯」への助成。地域レベルの事業として、名古屋市へソーラーカーの寄贈をした。

特記すべき活動

'89.11.11 加納泉分区代理主催のIGFを当クラブがホストとして名古屋観光ホテルにて開催。'91～'92RI第2760地区ガバナーに加納泉君が就任。'98.2.16 堀田逞二分区代理主催のIMを当クラブがホストして名古屋観光ホテルにて開催。

1996～'97年度 会員出席率 83.70% 修正出席率99.60% 平均年令 58.52才



若宮大通公園イベント広場「デザイントイレ」

名古屋瑞穂ロータリークラブ

〒460-0008

名古屋市中区栄1-3-3

名古屋ヒルトン9F

TEL (052) 211-3803

FAX (052) 211-2623

- ・創立年月日／1980年1月10日
- ・承認年月日／1980年1月21日
- ・スponサークラブ／名古屋南ロータリークラブ
- ・現会長／三島 清
- ・現会員数／100名
- ・例会場・曜日／名古屋ヒルトン・木曜

地域やクラブの特色

当クラブの区域限界は、名古屋市瑞穂区・熱田区並びにその隣接区域として、1980年1月10日川瀬保PG 岩田政也特別代表等の指導のもと、鈴木俊雄初代会長として創立されたものである。

当クラブは「若さとバイタリティに富む行動力」をもってロータリー活動を展開しており、親睦と友愛の輪を広め、奉仕の道を前進している。

会員間の親睦をより深めるため、クラブ運営の中に夜間例会、家族会及び一泊例会等を多く組み込んでいる。スポーツにも関心が強く、中でもゴルフ大会では常に好成績をおさめている他、全国RC甲子園野球大会並びに地区親睦野球大会にも積極的に参加している。又国際交流を深める為、台北延平ロータリークラブと姉妹提携を結んで海外との友好の輪を広げている。1997年3月には延平ロータリークラブの創立20周年記念例会に、当クラブ会員が多数出席すると共に、記念行事の植樹にも参加した。

奉仕の歩み

1984年12月 八丁畷公園に三面時計塔を建立 1990年1月 ガールスカウト・ボーイスカウトヘテント寄贈 名古屋市が開催したデザイン博に休憩用ベンチ40脚寄贈 1995年1月 創立15周年記念として八丁畷公園にソーラー時計塔(再建)寄贈 パラオ共和国へソーラー

ライティングシステム2基寄贈 米山記念奨学会及びR財団へ特別寄付 地区ガールスカウト・ボーイスカウトヘマーキーテント一式寄贈 1991年11月 瑞穂・熱田警察署へ交通安全用品を寄贈 1992年12月 ニカラグア災害援助に寄付 1994年3月 北海道西南沖地震見舞金寄付 1995年1月 阪神大震災へ義援金寄付
この様に各方面へ各種の寄付を行っている。

特記すべき活動

名古屋瑞穂ロータリークラブ10年誌(1990年2月) 15年誌(1995年1月)を発行

IM 1995年1月 於名古屋ヒルトン ホストクラブとなる。1998~'99年度IMのホストクラブに指名を受けている。

当クラブは、近年の環境悪化を憂い環境保全に力を入れ、1992年より熱田神宮にホタルを呼び戻そうと神宮内に「せせらぎ」を造り、毎年ホタルの幼虫を放流している。

出席率状況 100% 平均年令 58.2才



ホタルの放流

名古屋大須ロータリークラブ

〒460-0008

名古屋市中区栄3-13-31

プリンセスガーデンホテル内

TEL (052) 251-0181

FAX (052) 251-0337

- ・創立年月日／1985年2月7日
- ・承認年月日／1985年2月15日
- ・スポンサークラブ／名古屋中ロータリークラブ
- ・現会長／平田節也
- ・現会員数／98名
- ・例会場・曜日／プリンセスガーデンホテル・木曜

地域やクラブの特色

名古屋市の中心部に位置し、古くから大須観音、本願寺別院の門前町として栄えた商業の中心である。地域内には堀川流域の材木商、本町通り周辺の仏壇仏具及家具商、名古屋を代表する和菓子舗が多くあり庶民の憩の地でもある。また近年は電気製品の店も増え、若人も多く集まり情報発信基地でもある。

1985年2月7日、大隈孝一特別代表、スponサークラブの名古屋中ロータリークラブにより創立、今年で14年目を迎えたクラブである。

奉仕の歩み

'88年 中部盲導犬協会にキャンペーンカーを贈呈。'89年 地元小学校に一輪車の寄贈。'90年 海外被災国へ義援金贈呈。'91年 地元小学校へ傘の寄贈と植樹。'92年 乳児院へすべり台等寄贈。'93年 10周年記念事業として大須観音境内に芭蕉句碑献呈。同年 身障者スポーツ大会に車椅子競技用品の寄贈。

特記すべき活動

国際奉仕委員会を中心にして、青少年交換学生活動や、財団奨学生の派遣、米山奨学生受け入れ等を行っている。又、国際大会へ積極的参加をしている。ここ数年は毎年20数名が参加し、国際交流を活発に行っている。

平均年令 55.08才

地域社会に貢献するよう努めると同時に、会員相互の親睦にも勤め、楽しい例会作りに心がけている。

クラブ活動も活発に行われており、ゴルフクラブは、年5回のコンペを。スキー＆マリンクラブは夏はウインドサーフィンやクルージング、冬はスキー。テニスクラブはオールシーズンコートを走り回り。又開碁クラブやグルメの会と会員間の親睦活動も活発である。



チャリティーランに留学生と共に



600回例会を記念してロータリー原点の寸劇

名古屋栄ロータリークラブ

〒460-0008

名古屋市中区栄3-29-1

名古屋クレストンホテル内

TEL (052) 242-6848

FAX (052) 242-6208

・創立年月日／1990年4月16日

・承認年月日／1990年5月1日

・スポンサークラブ／名古屋ロータリークラブ

・現会長／小林英雄

・現会員数／83名

・例会場・曜日／名古屋クレストンホテル・月曜

地域やクラブの特色

名古屋栄ロータリークラブは1990年4月16日、名古屋RCがスポンサー、名古屋中RCと名古屋大須RCがコ・ホストとなって創立。名古屋中RCも親は名古屋RCなので、名古屋栄RCとは兄弟関係。名古屋大須RCは名古屋中RCが親だからといってみれば、この四クラブは親戚関係といえる。名古屋の中核部をこの四つのクラブが占め、いわば名古屋地区の重要な存在。

チャーターメンバーは53名、会員の平均年令が大変若かったので都心の若々しい活気のあるクラブとして期待された。名古屋で初めての夜間例会ということでスタートしたわけだが、その後夜間例会を始めるクラブが出てきており、その期待された役割は、充分果たせたと思われる。会員の平均年令をみても53才～55才と若く若手の経営者や大企業のリーダー的な立場の人が多く商業ビジネス立地ということもあって、新しい感覚をもった前向きな会員が集まっている。これまでの会員の努力、活動実績が積み重なって実質的なロータリー活動が展開できるまでになったが、早くも明後年で創設10周年の節目を迎えるくなっている。

奉仕の歩み

これまでの主な事業は、特別養護老人ホーム「ゆうとぴあ つくも」へ図書券、車イスほか入居者が希望する品物を寄贈(92～93年

度から継続) 障害者が作った作品の購入(同)のほか、「いのちの電話」や県緑化推進委員会へ「緑の募金」寄付も行っている。また10周年記念事業(99～2000年度)の一つとして、92～93年度から環境保全事業を展望して資金を積み立てている。

特記すべき活動

明後年に10周年を迎える名古屋栄RC会員一丸で、この一年間、新しい伝統づくりのための基礎づくり活動と位置づけ、10周年記念事業実行委員会を発足。副会長をリーダーに歴代幹事経験者を中心に企画検討をはじめた。できるだけ次世代のクラブ活動の核となる若手リーダーらで新しい企画をしていくことが期待されている。新しいクラブの伝統づくりは、各委員会の活動をベースに若いエネルギーを結集し全員でスクラムを組んで今までの活動にない革新さを注入すべく鋭意展開はじめている。



ゆうとぴあつくもさんへ図書券を寄贈 '93～'94年度

名古屋名駅ロータリークラブ

〒453-0015

名古屋市中村区椿町6-9
名鉄ニューグランドホテル内
TEL (052) 453-0808
FAX (052) 453-0800

地域やクラブの特色

名古屋市の西部に位置するテリトリーの中村区、西区は共に古い街と新しい街を合わせ持つ地域である。古い街では年々人口が減少し高齢化が進んでいるが、住民に連帯意識があり、自治活動が地道に行われている。一方名古屋の玄関口名古屋駅がこの地域に在り、そこは近代的な高層ビルが立ち並ぶビジネス街であると同時に百貨店、地下街等高度な商業集積のある地域である。

名駅RCは1991年4月17日、チャーターメンバー66名で「名駅から世界へ」をスローガンに創立された。年々会員増強に努め1998年4月には112名と大きく成長した。メンバーには、地元経営者、専門職を始め大手企業の管理職が多く、スマートで洗練された人達の集まりである。創立時の緊張感を持続し何事も真面目に取り組んでいる。平均年齢は57.8才、出席率は97.19%となっている。

奉仕の歩み

1991年6月南米ペルーに小学校建設支援金を贈呈、1992年4月アリ・ガスバール・スマ君(ギニア)に奨学金を贈呈、1994年6月奉仕基金をONLY.ONE.WORLD(スリランカ)に贈呈、1995年1月阪神大震災に奉仕基金より義援金拠出、1996年4月奉仕基金を青山里会(小山田福祉施設)に寄贈、1997年1月、1998年1月海外医学医療振興会(名古屋第一赤十字病院内)へ基金を贈呈、又毎年愛知県

- ・創立年月日／1991年4月3日
- ・承認年月日／1991年4月17日
- ・スポンサークラブ／名古屋西ロータリークラブ
- ・現会長／清水定彦
- ・現会員数／111名
- ・例会場・曜日／名鉄ニューグランドホテル・水曜

鉄道警察隊員の表彰をし、1998年で7回を数えている。

特記すべき活動

独自の表彰制度をもっている。クラブ誕生の地である「椿町」の源をなす「椿神社」の由来から「椿賞」と名付け毎年創立記念日に表彰を行っている。その対象を既に成功した人にではなく、その試みが社会や人の為・より良い環境づくりに役立つよう努力しているプロジェクト、個人としている。今までに、CO₂の電気化学還元についての研究者、文化振興に努める女流バイオリニスト、白血病治療に貢献している骨髄移植グループ、豊かで夢あふれる社会の実現を共通の理想として活動する社会人の集まりTMC、視覚障害者のための点訳ボランティアグループを表彰している。1997年11月にはゲートウェイフォーラム21ナゴヤと題するパネルディスカッションを主催した。



「明日に向かってクラブのエネルギーを蓄えよう」と所信表明する清水会長

名古屋名南ロータリークラブ

〒450-0002

名古屋市中村区名駅1-2-4

名鉄グランドホテル13階314号室

TEL (052) 586-2043

FAX (052) 586-2054

- ・創立年月日／1991年2月19日
- ・承認年月日／1991年3月8日
- ・スポンサークラブ／名古屋東南ロータリーブ
- ・現会長／伊藤圭一
- ・現会員数／89名
- ・例会場・曜日／名鉄グランドホテル・火曜

地域やクラブの特色

当クラブの区域は名古屋市南区・緑区、人口は約35万人で、南区は自動車、造船等の工業地域と住居地域、緑区は醸造、陶磁器、絞り製品等が主産業の住居地域である。

1991年2月、スポンサークラブの名古屋東南RC創立20周年記念事業の一端として、故中村PGの要請もあり、故熊谷勝平氏が特別代表として奔走され、59名のチャーターメンバーをもって創立した。

当クラブの特徴としては、①女性会員の在籍で、市内クラブのうち女性会員入会の第1号クラブであり、4名の女性会員が創立会員であった。②全国的に見てもまだ少ない夜間例会クラブであることの2点である。

創立以来満7年を経過し8年目に入り、会是である「明るく、楽しく」をモットーとしたクラブ運営は定着している。今後は惰性的なクラブ活動ではなく、より積極的で、変化に富んだロータリー活動を目指している。

奉仕の歩み

社会奉仕として創立当初より「南区民まつり」「緑区民まつり歩け歩け運動」に協賛、年末助け合い運動への寄付、大高緑地公園児童園への植樹は継続事業である。また、5RC共同で「名古屋南養護学校への寄付」も行っている。更に、緑区の特別養護老人ホーム「なごやかハウス滝の水」を訪問し、車椅子を寄贈、名身連聴覚障害者情報文化センターと協力して手話入門等を予定している。

他に、青少年活動、環境保全の両委員会は愛知県警察本部と協力し、「高校生との対話集会－覚醒剤、性非行防止など」を開催している。

今年度は過去の奉仕事業を今一度見直し、奉仕部門の予算を増額してより密度の濃い奉仕活動を行っていく予定である。

国際奉仕では米山獎学生を2名世話し、特別寄付も毎年行っている。財団も本年初めて英国へ留学希望の学生が合格した。96~97年度は交換学生も受け入れている。

特記すべき活動

- ①平均年齢55.8才の若いクラブ。全員がPHF、準フェロー。創立以来5年間例会出席率100%。ホームクラブ80%。
- ②委員会を3つの合同委員会に分け、委員会活動・クラブ運営等を討議し、会是「明るく、楽しく」のクラブ運営に心がけ、親睦はもとより、実感する奉仕活動へと模索している。今期中にハワイホノルルサンセットRCと友好提携する予定。本年度は10周年に向け特別企画委員会を発足させた。我クラブは「活力あるロータリークラブ」である。



社会奉仕事業「なごやかハウス滝の水」慰問
<97年9月>

名古屋西南ロータリークラブ

〒460-0008

名古屋市中区栄3-29-1
名古屋クレストンホテル1007号
TEL (052) 263-1324
FAX (052) 263-0730

- ・創立年月日／1995年3月9日
- ・承認年月日／1995年3月28日
- ・スポンサークラブ／名古屋港ロータリークラブ
- ・現会長／川合勝義
- ・現会員数／59名
- ・例会場・曜日／名古屋クレストンホテル・木曜

地域やクラブの特色

名古屋市の西南(中川区、港区)にあり、その玄関である国際貿易港としての名古屋港の整備と伊勢湾岸道路の開通と相俟って、今後名古屋市で一番成長が期待され、又、近年港湾が拡充整備されて臨海工業地帯として鉄鋼、海運、自動車、木材関連の産業等の重要な拠点とされている地域である。

1994年(平成4年)7月22日、蜂谷ガバナー年度に新クラブ設立の要請を受け綱島彰特別代表を推薦、11月25日アディショナルクラブ設立、1995年3月9日創立総会を開催し、初代会長として篠田穎明君にする。同年3月28日に国際ロータリーより日本で2146番目に加盟承認を受け、チャーターメンバー41名でスタート、特に、女性会員を擁する、活力のある、又、近代社会に即応した事業活動を進めている。

奉仕の歩み

1995年7月熱傷フェニックスの会に資金援助、同11月老人福祉施設へ昼神温泉の湯を寄贈、1996年8月市消防局へ救急救命蘇生マスクを寄贈、1997年2月スマーリングマウンテン(比)の子供達の学習支援団体へ資金援助、就職指導に貢献する地域教師への感謝状贈呈、同3月名古屋西、港、名駅RCとの合同で新世代会議開催、同7月名古屋港RACを名古屋港RCと共同提唱、同9月名古屋港RCとの合同で新世代会議開催、同10月名古屋市港消防署に電子黒板を寄贈、熱傷フェニックスの

会に資金援助、同11月老人福祉施設への昼神温泉の湯寄贈、1998年1月スマーリングマウンテンの子供達の学習支援団体への資金援助、同2月就職指導教師への感謝状贈呈。

特記すべき活動

設立より年月も短いため特記事項は少ないが地域の社会福祉には積極的に参加し、支援活動を続けていくことに力を入れている。又、出席率状況を99.9%維持継続中であり、平均年齢53.5才、女性会員8名を含む会員相互の信頼と親睦を深め、楽しい和やかな例会を心がけている。



RAC活動の餅つき大会(昭和橋作業所にて)



老人福祉施設への昼神温泉の湯寄贈

名古屋北ロータリークラブ

〒460-0008
名古屋市中区栄4-6-5
丸越ビル6F
TEL (052) 262-7580
FAX (052) 242-1789

- ・創立年月日／1959年5月21日
- ・承認年月日／1959年6月17日
- ・スポンサークラブ／名古屋ロータリークラブ
- ・現会長／西尾博雄
- ・現会員数／110名
- ・例会場・曜日／名古屋東急ホテル・金曜

地域やクラブの特色

名古屋城、徳川園など歴史的・文化的遺産を擁する名古屋市の北・東区をテリトリーとし、1959年5月21日、名古屋ロータリークラブをスポンサークラブとして、チャーターメンバー23名で創立した。名古屋市内で4番目のクラブ。

“奉仕”と“親睦”的バランスのとれたクラブとして成長。「和やかな、そして風格あるクラブ」をめざしている。ちなみに“派手さはないが、いぶし銀の輝きを持ったクラブ”といったガバナーご講評をいただく。

奉仕の歩み

前記の特色のもと、四大奉仕部門をはじめ各分野にわたってバランスよく積極的に奉仕活動を行っている。

管内の東警察署・東消防署・名古屋拘置所の各公署の優良職員、会員事業所優良従業員など恒例の表彰行事のほか、姉妹提携の台北西北ロータリークラブとも毎年交流を欠かさない。

留学生の受け入れ・派遣も積極的で、この10年では、米山奨学生6名(7回)(韓国・イスラエル・インド・エジプト)、ロータリー財団奨学生2名(派遣)、青少年交換学生2名(受け入れ及び派遣)をお世話した。

その他、都心の栄公園にしだれ桜を寄贈・植樹。また、名古屋名城ローターアクトクラブの創立に際して、提唱主管クラブとしてそ

の育成に努めた。

なお、周年記念行事として、30周年('89年)には愛知県へ福祉基金、名古屋市へ福祉用自動車、35周年('94年)には名古屋市東消防署に消防広報車を寄贈、ロータリー財団・米山記念奨学会に特別寄付をした。

特記すべき活動

L.Mのホストを3回('87年、'92年、'96年)行っている。

'97年度から、親子孫の3代にわたる系譜を築く名古屋守山、名古屋名北、名古屋錦との4クラブ合同例会を開催。クラブ間の親睦をより深めている。

同じく'97年度からバングラディッシュ愛知母と子の病院へ医療器具(輸液ポンプ)を寄贈し援助するという「ボランティア活動コーディネーター」の活動は、他クラブにない特色あるものとの評価をいただいている。

「30周年誌」('89年)、「35周年誌」('94年)を発行。1999年に創立40周年を迎える準備に入っている。



米山奨学生と名古屋名城ローターアクトクラブの会員と共に参加したチャリティラン

名古屋東ロータリークラブ

〒460-0003

名古屋市中区錦3-14-25

アサヒビル6階

TEL (052) 971-8686

FAX (052) 971-8855

- ・創立年月日／1959年5月21日
- ・承認年月日／1959年6月30日
- ・スポンサークラブ／名古屋ロータリークラブ
- ・現会長／山田和夫
- ・現会員数／115名
- ・例会場・曜日／ホテルナゴヤキャッスル・月曜

地域やクラブの特色

名古屋東ロータリークラブは名古屋市千種区と昭和区をテリトリーとして、1959年(昭和34年)5月21日に創立、同年6月30日に加盟承認された。両区は国立及び私立大学、市立、私立中学、高校が多く、名古屋市の文教の中心となっている為、学校関係の会員が多数在籍している。

奉仕の歩み

創立30周年記念事業として、1989年6月、名古屋市鶴舞公園の菖蒲池に「八ツ橋」を、又、同35周年記念事業として、1994年6月、同地に四阿(あずまや)一基と石造りのベンチ四脚を寄贈し、市民の憩いの地として活用してもらっている。

特記すべき活動

尾関重雄会員1986～'87年度名古屋第二分区代理に。'87年2月第一分区と合同でI.G.F.(現在のI.M.)を開催。

'89年9月創立30周年記念誌発刊。

ロータリー財団、米山記念奨学会への多額の寄付に依り、1990～'91年度「ロータリー財団協力優秀クラブ賞」及び「米山功労優秀クラブ賞」受賞。

伊藤寛会員1991～'92年度名古屋第二分区代理に。'91年10月I.M.開催。

1992年5月、名古屋和合RC('72年)、名古屋千種RC('82年)に次ぐ三番目のアディショ

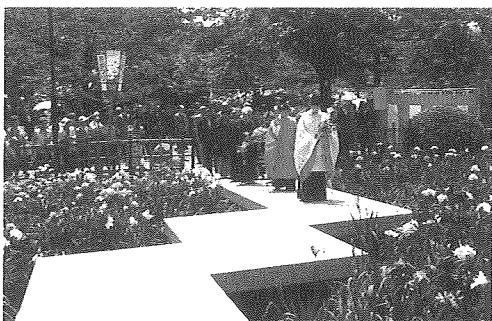
ナルクラブ名古屋昭和RC設立。(創立会員65名)

1995年6月、提唱主管クラブとして名古屋短期大学付属高等学校IAC設立(提唱クラブ：名古屋千種RC・名古屋昭和RC)、又、名古屋名城RACの提唱クラブとなる。

古川善次郎会員1996～'97年度名古屋第二分区代理に。'97年3月I.M.開催。

ロータリー財団への多額の寄付に依り、1996～'97年度「ロータリー財団寄与優秀クラブ賞」受賞。

1999年5月の創立40周年に向け、「創立40周年記念実行委員会」発足、現在着々と準備中である。(記念式典：6月21日(日))



市民の憩いの園、鶴舞公園菖蒲池。
上は創立30周年記念 下は35周年記念に各々
寄贈された「八ツ橋」と「四阿」(あずまや)。

名古屋守山ロータリークラブ

〒450-0002

名古屋市中村区名駅4-9-10

名古屋都ホテル内

TEL (052) 561-7559

FAX (052) 561-1590

- ・創立年月日／1964年2月29日
- ・承認年月日／1964年5月7日
- ・スポンサークラブ／名古屋北ロータリークラブ
- ・現会長／杉原真爾
- ・現会員数／84名
- ・例会場・曜日／名古屋都ホテル・木曜

地域やクラブの特色

守山区は、1963年(昭和38年)2月15日守山市が名古屋市と合併し、13番目の区として誕生。位置は本市の北東部にあたり、南は矢田川、北に庄内川を配した地形で、東端には標高が市内一の東谷山(198.3m)があり、南西に向って丘陵地帯が連なり、二つの河川に沿った地帶には数多くの古墳、遺跡がみられ、肥沃な農地が形成され地域の発展を促してきた。

このような環境は、清新な空気と豊かな緑をはぐくみ、住宅地としての発展と、多くの社会福祉施設の立地条件に適し、また文教施設としても生かされ、金城学院大学・県立看護短大・名古屋国際学園などがある。

区の西北部は、名古屋市北部の内陸型工業地帯の一部で、アサヒビール・雪印乳業・青柳ういろうなど食品工場がある。

庄内川、濃尾平野を見下ろす丘陵地にたたずむ龍泉寺は、伝教・弘法大師の開基と伝えられ、本尊は馬頭観音。熱田神宮の奥の院と称する名刹で、尾張四観音の一つ。その仁王門は国の重要文化財に指定されている。この龍泉寺のふもとから、約230haにおよぶ小幡緑地公園があり、スポーツやレクリエーションに四季を通じて多くの市民が訪れている。

志段味地区には東谷山フルーツパークがあり、新しい形の農業果樹公園として市民の憩いの場となっている。なお、当地区では、恵まれた自然環境を生かし、人間性豊かな活気と魅力に満ちた新しい街を目指す志段味ヒュ

ーマン・サイエンス・タウンの構想が打ち出されている。

◎創立の経緯

- ・守山市が名古屋市との合併を機に、当地域にロータリークラブを創立する機運が盛り上がり、名古屋北RCの5周年記念事業の一環として誕生した。
- ・創立年月としては1964年2月29日名古屋北RC山田義三郎氏(故人)を特別代表者として26名の会員でスタートした。

特記すべき活動

- ・1996年9月名古屋守山ロータリー地域共同隊(RCC)を設立。
- ・守山区ボランティアサークル(MVC)が28年前に当クラブの支援によって設立され、以来子供会育成のためのリーダー養成の実を挙げている。又21年前から区内一人暮らしの老人給食ボランティアグループへの支援を継続し、昨年度には給食車の4台目を寄贈した。
- ・1998年2月当クラブがホストとなり名古屋第二分区IMを開催、犬飼ガバナーを始め、570余名の参加を頂き盛会裡に終了。



守山区社会福祉協議会へ給食配達車「めばえ号」贈呈

名古屋空港ロータリークラブ

〒450-0002

名古屋市中村区名駅4-3-10

東海ビル606号

TEL (052) 561-2405

FAX (052) 571-2867

- ・創立年月日／1974年7月29日
- ・承認年月日／1974年8月31日
- ・スポンサークラブ／春日井ロータリークラブ
- ・現会長／三治 明
- ・現会員数／70名
- ・例会場・曜日／ホテルキャッスルプラザ・月曜

地域やクラブの特色

名鉄上飯田線以西の春日井市及び西春日井郡豊山町を当クラブのテリトリーとする。この地域は名古屋国際空港を中心に航空運輸関係の諸施設が多く、一方名古屋市を背景とした重・軽工業地帯もあり、中部地区の空の玄関として発展している。

1974年(昭和49年)7月29日に、当クラブはチャーターメンバー37名により春日井ロータリークラブをスポンサーとして創立された。以来23年余り奉仕活動を続けている。

奉仕の歩み

1978年より「航空記念日」に(現在は「空の日」と改称されている。)毎年、青少年活動・社会奉仕の活動の一環として、中部飛行協会及び愛知県民生部と協力して、心身障害児・者の招待飛行を実施している。招待した施設からは参加者より、飛行機に乗っての感想や楽しかった旨の礼状などが寄せられ、当方の想像以上の感激が文面より感じられる。

1994年11月28日、創立20周年を記念して、松本空港RCと姉妹クラブとして締結し、また豊山町新庁舎に絵画を贈呈、はばたきの会・空港警察署・海外姉妹クラブへそれぞれ基金を贈呈した。

特記すべき活動

1978年11月18日、香港九龍西RC、1981年11月19日、フィリピン マカティウエスト

RC、1990年11月17日、タイ チャンパーク チェンマイRCと海外姉妹クラブとして締結し、それぞれ、各クラブへ毎年親善訪問し、その際、母子家庭福祉基金、マカティカラージ奨学基金財団、精薄児の人間回復基金として寄付を続けている。

1996年4月8日に、国内の“空港”と名のつくロータリークラブ(旭川空港・松本空港・大阪豊中國際空港・広島空港・大分空港・名古屋空港)が一堂に揃い、「空港とロータリークラブを考える」と題して、第1回全国空港フォーラムを当クラブにて計画し開催、1996年10月19日に第2回(ホスト 松本空港RC)、1997年7月19日に第3回(ホスト 旭川空港RC)と、過去3回開催された。

1979年4月23日、クラブ創立5周年記念式典開催、1984年2月20日、10周年記念式典開催及び記念誌発行、1989年2月5日、15周年記念式典開催、1994年11月28日、20周年記念式典開催及び記念誌を発行した。

1989年12月2日に東尾張分区のIMを開催した。



第1回 全国空港ロータリークラブ空港フォーラム

尾張旭ロータリークラブ

〒488-0801

尾張旭市東大道町原田2570-3

尾張旭市商工会館内3F

TEL (0561) 54-1263

FAX (0561) 54-8945

- ・創立年月日／1971年1月22日
- ・承認年月日／1971年2月11日
- ・スポンサークラブ／瀬戸ロータリークラブ
- ・現会長／大竹 薫
- ・現会員数／67名
- ・例会場・曜日／尾張旭市商工会館内2F・金曜

地域やクラブの特色

当クラブは名古屋東北部に隣接する尾張旭市に所在する。

尾張旭市は、名古屋のベッドタウンであり、市の北部に広がる森林公園は、緑豊かで四季を通して広く県民に親しまれている。

市の人口は、現在7万余で、主な産業は窯業を中心であるが、最近は電子機器、機械等も進出、出荷額においては窯業を凌いでいる。現在、当クラブは67名で構成し、地域産業に偏らない職業でメンバーが構成され、会員各自が職業を通して自己研鑽できる土壤がつくられている。

また、近接の瀬戸、瀬戸北の両クラブと合同例会を開催し友好の輪を広げていることは勿論のこと、'85年5月から長野県の伊那クラブとも提携し、年2回の合同例会を開催し親睦、交流を深めている。

奉仕の歩み

最近10年間の奉仕のあゆみは、この期間に創設25周年を迎えたこともある、市の行事に積極的に参加し、市民祭の植木配布、青少年運動競技のメダル贈呈等実施している。

また、毎年、関係各位に交通安全に拘わる諸設備を寄付、これらに関する諸行事については地域住民と連携し積極的に参加している。

特記すべき活動

当クラブは、20周年の記念行事として、教

育、文化、福祉の国際的な振興を図るために、我が国と諸外国との架け橋となる青少年を育成する目的をもって、尾張旭ロータリークラブ国際青少年育成基金(略称OFDY)組織を発足させている。

具体的な行動については、現在までに、1~2件の行事にとどまっているが、本格的軌道にのせるため全員の叡智を絞って検討を重ねているところである。



毎年500人くらいの列が出来る



毎年(今年度8回目)尾張旭市民祭に苗木「西洋しゃくなげ」を市民に800本無料配布 於:スカイロードあさひ
左 大竹会長 左2人目 加藤社会奉仕委員長

春日井ロータリークラブ

〒486-0844

春日井市鳥居松町5-45

TEL (0568) 81-8498

FAX (0568) 82-0265

- ・創立年月日／1969年4月28日
- ・承認年月日／1969年5月1日
- ・スポンサークラブ／小牧ロータリークラブ
- ・現会長／奥村昭幸
- ・現会員数／83名
- ・例会場・曜日／春日井商工会議所・金曜

地域やクラブの特色、奉仕活動

当クラブは1969年5月1日、小牧RCの子クラブとして34名で発足、現在83名の落ち着きあるクラブである。シニア会員が53名、正会員が28名でこの10年で逆転した。平均年齢は61才である。

1989年の当クラブ20周年には記念事業として春日井市新庁舎に加藤鈔氏の陶壁を寄贈、市民に親しまれている。また山田太一先生の文化講演会には、1300人の市民が参加した。

毎年10月の愛知県コロニー祭には、近隣4クラブで共同事業を実施し好評である。

1994年にはロータリーの森を八田町の遊歩道に作り、緑化運動の一環として全国のRCに県木、市木の寄贈を1997年7月号のロータリーの友を通じて呼び掛けた。

継続事業としてガールスカウトの活動援助や、名大医学部磯村教授を通じてカラチ市の病院にポリオ患者のリハビリ器具を贈っている。また、地域の安全と治安に努める警察官や消防士を表彰したり、市の「ポイ捨て防止事業」や「福祉の集い」にも協力している。

市制50周年には、温水プールと警察に、テレビやビデオを贈呈した。

本年は地球環境浄化が呼ばれているので、自動車の無駄な「アイドリング・ストップ」の看板とステッカーを会員に配り、一般にも呼び掛けている。

次に財團留学生をこの10年の間に米国4名、英国、仏国へ各1名送り出し、交換留学生も

4名あった。

更に会員の親睦活動としては、ゴルフ、謡曲、旅行、囲碁部会があり、家族旅行や日帰り旅行を実施している。

歴代会長のテーマは「楽しい例会・進んで奉仕活動」をターゲットとしているが、25代増田会長のテーマ「よいロータリアン、より良いRC」に尽きると思う。

本年は創立30周年を迎え、式典の成功と新クラブの誕生をテーマとしている。

この10年間に多くの思い出を残した、今は亡き会員の皆様のご冥福を祈る。



アイドリング・ストップ



4RC 合同バザー

小牧ロータリークラブ

〒485-0041
小牧市小牧 5-253
TEL (0568) 72-7770
FAX (0568) 75-1870

- ・創立記念日／1968年1月24日
- ・承認年月日／1968年2月1日
- ・スポンサークラブ／名古屋守山・犬山ロータリークラブ
- ・現会長／服部智教
- ・現会員数／75名
- ・例会場・曜日／名鉄小牧ホテル・水曜

地域やクラブの特色

小牧市は、名神、東名、中央のハイウェイが接続する陸上交通の要衝である。更に名古屋空港を擁し海外への玄関口ともいえる中京圏の中堅都市である。又、織田信長が城を築いた小牧山を始め史跡も多い。

当クラブは、本年創立30周年を迎える、会員数75名でまとまりやすく落ち着いた雰囲気を特色とする。ローターアクトクラブの提唱を始め、青少年交換留学生の派遣及び受け入れ等、新世代の育成には特に力を入れて取り組んでいる。

奉仕の歩み

1. 1988~1989年度 ポリオプラスキャンペーンで、350万円の寄付。
2. 1992~1993年度 25周年記念事業として
 (イ) 宇宙特派員 秋山豊寛氏による記念講演会「宇宙よりメッセージ」を開催。
 (ロ) 米山奨学会へ30万円の寄付。
 (ハ) ロータリー財團へ3000\$ 寄付。
 (ニ) 愛知県立南高等学校へ書架、書棚を寄付。
 (ホ) 小牧社会福祉協議会へ点字器を寄付。
3. 30周年記念事業として以下を寄付
 (イ) 小牧警察署へ時計塔 一基。
 (ロ) 小牧市へ環境美化啓蒙看板 一基。
 (ハ) 県立小牧南高等学校へパソコン 一台。
 (ニ) 小牧市社会福祉協議会へ16ミリ映写機 一台。
 (ホ) ロータリー財團へ3000\$ 寄付。

～) 米山奨学会へ30万円寄付。

以上の他、各年度、各種の寄付を行っている。

特記すべき活動

1. 創立25周年記念式典 1993年1月23日
於：名鉄小牧ホテル
 2. 創立25周年記念誌「25年の時代をつくる」を発行
 3. 地区協議会 1996年5月12日
於：小牧市民会館 商工会議所
名鉄小牧ホテル
 4. IM 1997年3月16日
於：名鉄犬山ホテル
 5. 30周年記念式典 1998年1月25日
於：名鉄小牧ホテル
 6. 創立30周年記念誌「樹齢」を発行
- 地区協議会に始まり30周年記念式典までの3年間、ビッグイベントが続き、クラブの活性化と、会員相互の親睦の向上に非常に有効であった。



創立30周年を記念して、小牧警察署へ時計塔を贈る

江南ロータリークラブ

〒483-8205

江南市古知野町小金112

江南商工会館 5F

TEL (0587) 55-6554

FAX (0587) 59-7720

- ・創立年月日／1965年5月22日
- ・承認年月日／1965年6月25日
- ・スポンサークラブ／一宮ロータリークラブ
- ・現会長／伊藤鶴吉
- ・現会員数／77名
- ・例会場・曜日／江南商工会館・木曜

地域やクラブの特色

濃尾平野の北部に位置し、いわゆる尾北と称される地域である。名古屋の20km圏内に位置し、比較的交通にも恵まれている。「インテリア織物の江南」「ふじの街」として知られ、繊維産業はもとより機械金属工業・食品加工業も伸展著しく、地域社会発展に寄与している。

★一宮ロータリークラブから誕生。

1965年5月22日、当時一宮RC会員であった社本鉄郎氏・村瀬小右衛門氏が江南地区にクラブ設立の必要を痛感され、犬山RC会員の鈴木博氏・宮地良造氏に呼びかけられた。この4氏を中心となり、設立準備に奔走され27名のチャーターメンバーにて誕生したクラブである。

奉仕の歩み

年中行事として文化事業や身障者への支援、交通安全運動、防犯協力、曼陀羅寺のふじ育成、ゴミ0運動など多方面にわたっている。

'85年4月 江南市民文化会館大壁画寄贈。

'89年11月 市広報パトロールカー寄付。

'90年9月 市に車椅子寄付。30周年記念に地区内施設に植樹。'97年10月 市のスポーツ少年団に助成金贈呈。同年11月 江南警察に交通安全横断幕贈呈。'98年2月 職場例会を身障者施設の「ときわ作業所」で開き、体に障害のある方への理解を深める。

交通事故ゼロをめざして、街頭で警察や自治体と交通安全運動期間中の協力をする。

また、国内外の災害支援にも寄付を借しみなく拠出している。

特記すべき活動

10年(75年)、20年(85年)、30年(95年)の歩みを発行。'78年 ローターアクトクラブ創立。'79年 当クラブがスポンサーとなり岩倉ロータリークラブが誕生。

'72年3月 名鉄犬山ホテルにてIGF開催。'86年3月 江南市民文化会館にてIGF開催。'87~'88年度 RI地区分割で愛知は第276地区に改定され、新地区初の地区協議会を江南市民文化会館で開催。'96年3月 東尾張分区のIMを名鉄犬山ホテルで開催。

ローターアクトクラブ育成には、会員が分担して必ず例会に出席し、若い人の意見を聞き、奉仕活動にも参加し協力する。

(例えば バザー、清掃奉仕、老人ホーム慰問など)

子クラブ岩倉ロータリークラブとは、年2回の合同例会を持ち、互いに交流を密にしてロータリー活動を推進している。



1997年11月 江南警察署へ寄贈の横断幕取り付風景

犬山ロータリークラブ

〒484-0081

犬山市大字犬山字西畠22-5

TEL (0568) 61-5219

FAX (0568) 61-5523

- ・創立年月日／1961年8月1日
- ・承認年月日／1961年11月6日
- ・スポンサークラブ／一宮ロータリークラブ
- ・現会長／丹羽俊夫
- ・現会員数／88名
- ・例会場・曜日／名鉄犬山ホテル・火曜

地域やクラブの特色

犬山市は『あいち学術研究開発ゾーン』の一角に位置し、運輸省から『名古屋・犬山国際観光モデル都市』自治省から『国際交流のまち』に指定されている。

日本最古の犬山城を中心に日本ライン木曽川(飛驒木曽川国定公園)、明治村、入鹿池、成田山名古屋別院など観光資源が豊富な地域である。

高速道路網の拠点に位置する都市近郊工業地域で、近代工業の振興も目覚ましく同時に豊かな自然環境に恵まれた土地はリゾート、レクリエーションゾーンでもあり、農業は稲作、果樹などで各分野でバランスがとれている。隣接する扶桑町も、躍進著しく機械工業、化学、商業等が発展している。全国的に知られる守口大根など根菜類の栽培が盛んである。

400年の歴史をもつ端折傘は県無形文化財に指定されている。

奉仕のあゆみ

クラブ結成以来、次世代を担う青少年の健全育成に取組みボーイスカウト、ガールスカウトの結成に参画し、RC会員全員が賛助会員として支援をしている。児童の心身の鍛錬のために子供会連合会に協力して駅伝競争への支援、交通安全意識の高揚のために犬山警察へチビッコ警察官の制服の寄贈を行い交通安全運動に寄与している。冬の犬山名物となっている犬山シティマラソンの企画には当初より参加して大きく成長している。また教育フォーラムを開催して行政を巻き込んだ活動

も実施している。

特記すべき活動

'68年には小牧RCの設立スポンサーとなり尾張北部にロータリーの道を広げ、小牧RCから春日井RCへと拡大した。'75年には台湾の草屯RCと姉妹提携を結び国際親善の輪を作り、また'91年にはオーストラリアのアシュモアRCと友好提携を結び国際友好の実をあげている。なかでも草屯RCへ犬山、扶桑地域のボーイスカウト ガールスカウトを派遣しRC会員宅でのホームステイを行いました現地のボーイスカウト ガールスカウトとの交流をおこなっている。子供達に国際感覚を身に付けさせると同時にRCの心を植付けまた国際友好の輪を広げさせるのに役立っている。この事業にたいして'83年には『意義ある業績賞』を受賞している。

その他に'87年には草屯RCの会員の子弟を中心として先方より受け入れ犬山RC会員宅でホームステイ、また'97年にも受け入れを行い両国の親善の輪は益々拡大している。交換学生の受け入れ、送り出しも行って帰国後にも交流は継続している。



チビッコ警官

瀬戸ロータリークラブ

〒489-0808
瀬戸市見付町38-2
TEL (0561) 84-1160
FAX (0561) 84-0116

- ・創立年月日／1959年8月26日
- ・承認年月日／1959年9月11日
- ・スポンサークラブ／名古屋ロータリークラブ
- ・現会長／亀井 勝
- ・現会員数／85名
- ・例会場・曜日／瀬戸商工会議所・水曜

地域やクラブの特色

瀬戸市は陶磁器の町として広く知られ、これが経済発展の根源であり、今なお産業界に占める窯業関係の比率は極めて高い。従って窯業関係に携わる会員の割合も33%と高く、地域の特色がそのまま表れている。

1997年9月開催の東尾張分区会長幹事会で、当クラブがホストを務めた折り、参加者に陶器の湯呑・額皿等に描彩していただき、焼成してお配りしたところ好評であった。

奉仕の歩み

1987年・公立陶生病院へブロンズ像贈呈

1988年・消防団、自警団に国旗を寄贈

1989年・山口八幡池釣場にソーラー時計寄贈

1990年・地球環境保全3年継続事業で桜植樹

「友愛の小径」と命名、石碑を設置

1993年・乾電池回収箱30基を市に寄贈

1994年・廃食油リサイクル石鹼製造機を「しゃほん工房」と名付け公共施設に寄贈

1995年・空き缶回収機を「やすらぎ」会館のロビーに設置

1996年・太陽エネルギー街路灯を市に寄贈

特記すべき活動

① 創立以来最大の事業となった1992～1993年度地区大会を、「まことの幸福は人助けから」のテーマのもとホストし、ロータリアン多数が参加し親交を深めた。11月22日はナゴヤキャッスル、23日は瀬戸市体育館、24日は品野台カントリークラブで開催、充実した内容で盛会裡に意義ある大会を開催出来た。

② 1993～1994年度東尾張分区IMをホスト、

会員513名の参加を得てロータリーフォーラム「心ふれあう万博・行動するロータリアン」「新世紀をひらくEXPO」、そして高嶋氏の基調講演をもち、万博に対する意見発表など実り多いIMであった。

③ 1989年10月、創立30周年記念事業として荒川良徳氏の「こころの眼をひらく」と題する講演やエッセイトーク、コンサートを一般市民対象に開催。記念誌も発行した。

④ 國際奉仕委員会は1975年8月に米国第528地区インブルウッドRCと姉妹提携し、1975～76年、1989～90年に相互に夏季交換学生を送り友好親善に務めた。1990年から現在まで会長メッセージなどで情報交換を続けている。



1990～'92年まで地球環境保全で3年の継続事業として、桜を植樹し、「友愛の小径」と命名し石碑を設置



名古屋東山ロータリークラブ

〒464-0841

名古屋市千種区覚王山通8-24

覚王山グランド井筒401号

TEL (052) 762-3458

FAX (052) 762-3484

- ・創立年月日／1996年9月19日
- ・承認年月日／1996年10月9日
- ・スポンサークラブ／名古屋和合ロータリークラブ
- ・現会長／中井靖雄
- ・現会員数／57名
- ・例会場・曜日／ホテルルブラン山・木曜

地域やクラブの特色

名古屋市東部に位置し、昭和40年代以降にはベッドタウンとして、急速な人口増加があった。(平成9年7月1日現在309,446人)地域南部には、国道1号線及び名四国道、そして、伊勢湾岸道路及び第2東名高速道路が着工されている。名古屋環状線、そして、名古屋、豊田を結ぶ国道153号線が整備され、産業の発展には無くてはならない交通網の基点がこの地域に集中しており、今後更に経済発展が見込まれる。主要産業として自動車関連産業、各種施設としては中京競馬場、愛知用水、東山動植物園等がある。

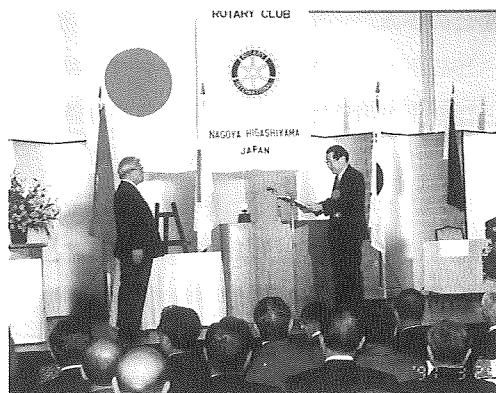
1996年名古屋和合RCがスポンサークラブとなり相羽錦一特別代表から古谷赳が作るよういわれロータリー経験者2名未経験者45名により1996年9月19日創立された出来立てのクラブである。

若いクラブであり会員は意欲があり、与えられた職務を全うするための努力を惜しまないが我々のクラブ内にロータリー経験者が少ないので苦労している。しかしながら新しい感覚のクラブを作ることの出来る可能性もあり今後、地区、親クラブはじめ各クラブのご指導を受けながら進んでゆきたい。

また会員の友情と和を深めるため、コミュニケーションの促進を図り、若さと活力にあふれた特色あるクラブ作りと地域に密着した奉仕活動を目指している。

特記すべき活動

創立1年目のまだまだ未熟なクラブであり、大きな活動はしていないがロータリー財團国際親善奨学生を1名もち、クラブ内では名古屋東山ロータリークラブの今後の方針性を見つめるべくクラブイメージアップの為のアンケート調査を実施中である。また会員増強にも力を入れ、今年度6名の増強を予定しており3名増強済み、現在3名の予定をもっている。出席率99.29% 平均年齢50歳。



松本ガバナーより古谷初代会長へ認証状の伝達



1997年3月25日 ホテルナゴヤキャッスル

名古屋錦ロータリークラブ

〒460-0003
名古屋市中区錦3-10-28
ニシベビル4階A号
TEL (052) 971-3005
FAX (052) 971-3006

- ・創立年月日／1996年4月16日
- ・承認年月日／1996年4月23日
- ・スポンサークラブ／名古屋名北ロータリークラブ
- ・現会長／長谷川正孝
- ・現会員数／68名
- ・例会場・曜日／名古屋ガーデンパレス・火曜

地域やクラブの特色

区域限界は名古屋市北区・東区で北区は住宅・軽工業地帯、東区は住宅・文教地帯である。また例会場のある名古屋市中区錦は繁華街として著名な地域もありクラブの名称はこれに由来している。

名古屋第二分区代理浦野三男君から名古屋名北ロータリークラブの15周年記念としてアディショナルクラブ設立の要請があり、吉村卯一郎君を特別代表として1996年4月16日創立された。キーメンバーは8名、チャーターメンバーは53名であった。認証状伝達式は同年6月18日名古屋ガーデンパレスにおいて開催された。

設立の初年度及び1996～'97年は梶川重久会長のもとクラブテーマ「和・手に手・心と心」に沿いクラブ会員の親睦、出席を主要目的に運営された。

1997～'98年度は長谷川正孝会長の「遊戲(ゆげ)」をクラブテーマとし、会員増強に努め75名のクラブを目指すとともに、全員が準ポールハリスフェローとなる、R I 会長賞にチャレンジするなど活発な活動を行っている。

当クラブはクラブが新しいこともある、平均年齢が51.05歳(1997年7月1日現在)と年齢構成が非常に若く、何事にも積極的に取り組む意欲があるがまだクラブとしても未熟であり当面は会員の研修啓発に力を注ぐ計画である。また、女性会員は発足時10名、現在は12名で17.6%を占め、女性会員が多いこと

も当クラブの特徴となっている。女性パワーの発揮を目標に1999～2000年度には女性会長の就任が決まっている。

奉仕の歩み

発足の前年神戸の震災が起り社会に衝撃を与え、災害時の救急活動に車両が全く用をなさなかったという現実からバイクの機動性に注目が集まった。'96～'97年度社会奉仕委員長林守雄君の発案でバイクを救急車両として寄贈する計画が立てられ、前例がないという関係当局へ度重なる折衝の上承認をうけ、名古屋市医師会に寄贈の運びとなった。'97～'98年度も2台目を寄贈し、同年東山で起こったガス爆発事故には救急バイクがいち早く現場に駆けつけ活躍をし社会の注目を集めた。



1996年4.16創立総会



寄贈された救急バイク

名古屋昭和ロータリークラブ

〒460-0008

名古屋市中区栄4-6-5

丸越ビル6F

TEL (052) 241-7522

FAX (052) 241-7521

- ・創立年月日／1992年5月14日
- ・承認年月日／1992年5月29日
- ・スポンサークラブ／名古屋東ロータリークラブ
- ・現会長／成田 収
- ・現会員数／73名
- ・例会場・曜日／名古屋東急ホテル・月曜

地域やクラブの特色

名古屋の東部丘陵地帯、千種区、昭和区が主たる地域で、緑が多く、閑静な住宅地と大学、大病院が集中している文教地域であるため、医学、教育、法律、税務などのメンバーが多い。メンバーの8割以上が40~50歳代、平均年齢54歳の活気ある、そしてアットホームなクラブである。名古屋東ロータリークラブから生まれて満5年となった1997年5月には盛大に記念式典を行った。毎週の例会の他に新年会、親・兄弟クラブとの合同例会、ローターアクトとの会、家族会、夜間例会、忘年会と家庭的な雰囲気を持ってメンバー相互の親睦が図られ、メンバーが家族共々“楽しめる”例会を心掛けている。

奉仕の歩み

今年は創立6年目である。毎年、中京テレビを通して、チャリティ募金を行っている。地域内の区役所・警察署・消防署とも交流を持ち、職業奉仕月間には、例会に署長をはじめ署員の方々をお招きし、講演を聴いてメンバーが地域の行政活動をよく理解し、地域社会の期待に応える奉仕を実践することを目指している。

特記すべき活動

1994~'95年度、名古屋市内RC社会奉仕委員長会議のホストを務め、現在も行っている戸田川緑地への植樹事業を始めた。1994年度

区役所と協力し、「昭和区ポケットガイド」を発行。昭和区青少年育成区民会議に協力し、地域の青少年育成の活動を行っている。

親・兄弟クラブが多く、毎年一回、合同例会(6 RC)で親睦を図ると共に、共同でインターネットクラブ、ローターアクトクラブのホストクラブとなっている。青少年問題に力を入れ、海外との交流に留学生の推薦、受入を積極的に行うと共に、地域の行政との連絡を密にして、メンバー全員の合意に基づく奉仕とクラブ活動を目指している。これから成長していくアクティブでエネルギーにあふれた若いクラブである。RIの方針、地区ガバナーとクラブの目標をバッグボーンとして、会員の増強に務め、委員会の定めた方針に従い、活動を推進している。

創立5周年の記念事業として1997年2月、新築された昭和消防署へ「無災害の時を刻む時計塔」を寄贈した。



'97.2 創立5周年記念事業昭和消防署へ時計塔寄贈

名古屋千種ロータリークラブ

〒464-0067

名古屋市千種区池下1-4-15

泰明ビル3A

TEL (052) 763-5110

FAX (052) 763-5121

- ・創立年月日／1982年8月16日
- ・承認年月日／1982年8月24日
- ・スポンサークラブ／名古屋東ロータリークラブ
- ・現会長／松居敬二
- ・現会員数／71名
- ・例会場・曜日／愛知厚生年金会館・火曜

地域やクラブの特色

名古屋市内有数の大きな区で、小学校27校、中学19校、高校15校と13の大学が区内に位置し、文教地区として、又優れた住宅地域としてその環境の良さを誇っております。

1982年(昭和57年)6月11日の名古屋13RC会長幹事会にて「名古屋東RCがスポンサーとなって新クラブを設立して欲しい」と懇請があり、当初代会長の水野民也が頼まれ2760地区(当時260地区)で88番目、市内14番目のクラブとしてチャーターメンバー26名にて8月16日創立総会となり、8月24日RIより承認、10月19日認証状伝達式を開催、大変短い期間に誕生したクラブであるが、若いメンバーも増え、会員も家族もクラブ行事・同好会等多数の参加が有り楽しくまとまりのあるアットホームな雰囲気のクラブである。

奉仕の歩み

'87年8月創立5周年記念として千種区制施行50周年記念事業に寄付。'88年8月千種消防署へ防災指導用大型画面ビデオセット寄贈。'89年8月千種警察署へテレビカメラビデオ寄贈。'89年8月「日韓親善バレーボール大会」支援。'90年12月千種警察署16ミリフィルム「第二次交通戦争と防衛運転」寄贈。'91年1月障害児施設バザー商品寄付。'92年10月創立10周年記念として山本眞輔会員作ブロンズ像を名古屋市へ寄贈。'92年9月名古屋千種聾学校「ボランティア活動」支援。'93年9月名古屋刑務所へ運動用

品寄付。'95年3月区内公園ヒラツツジ植樹。'95年1月兵庫県南部地震の救援金を中京テレビへ寄付。他に継続として、歳末募金会員事業所の優良従業員表彰。「小学生バスケットボール大会」共催。千種警察・消防への年末慰問及び優良署員表彰等。また今年度キャンヘルプタイランド援助として奨学金・給食支援・里親制度等の活動参加をしている。

特記すべき活動

'92年10月15日創立10周年記念誌「10年のあゆみ」を発行。'94年7月1日より分区代理大谷和雄が就任し、'95年3月28日IMをホテルナゴヤキャッスルにて開催(講演者 日本赤十字社近衛忠輝副社長)

今年で15年を迎えたが、この一年は今迄以上に基礎を築く年にしたいと考え、会員だけでなく各家庭に奉仕貯金箱を配布し御協力頂いたり、ローターアクト・インター アクトの方々を例会に招き若い方の考えを聞いたり、会員増強では女性会員3名の入会でクラブの活性化につながっている。



名古屋第二分区IM式典会場風景 '94年3月28日

名古屋名北ロータリークラブ

〒460-0003

名古屋市中区錦3-15-30
名古屋不二パークホテル560号室
TEL (052) 961-2399
FAX (052) 961-2391

- ・創立年月日／1981年3月4日
- ・承認年月日／1981年3月26日
- ・スポンサークラブ／名古屋北ロータリークラブ
- ・現会長／藤原研一
- ・現会員数／78名
- ・例会場・曜日／名古屋不二パークホテル・水曜

地域やクラブの特色

名古屋市中心部より東北部にかけ位置する北・東区が区域限界である。この地域は市の主要幹線道路及び主要交通機関が集中し、産業・教育・住居地区としてバランスのとれた地域であり、名古屋市東北部の玄関口及び拠点商業地としての機能がますます期待されている。

'81年3月4日、名古屋北RCをスポンサーとして岩田嘉七特別代表の指導のもと34名のチャーターメンバーで創立、市内13番目のクラブとして誕生した。創立15周年の'96年4月に記念事業の一環としてアディショナルクラブ名古屋錦RCを設立した。

奉仕の歩み

'91年3月創立10周年記念事業としてフィリピン・インタラムロスRCを通して冠奨学金基金を設立。山吹ワーキングセンターへガスコンペック一式、北警察署へテレビ・ビデオ一式及び北消防署へワイヤレス拡声器一式を贈呈。'95年1月中日新聞社会事業団に阪神大震災義援金を寄託。'95年3月北社会教育センターに高規格液晶ビデオ機器一式を贈呈。'96年3月創立15周年記念事業として官公署等へ金一封を贈呈。また、海外への奉仕としてフィリピン・インタラムロスRCへの奨学金基金への追加支援及びフィリピン・バラニャケRCの三ッ口・口蓋裂患者救済活動に対して継続的な支援を地区WCSを通して行っている。'87年以降4名の米山記念奨学

生(韓国3名・中国1名)を受入、青少年交換学生の派遣・受入を行っている。

特記すべき活動

5年の歩み('86年6月)、10年の歩み「手に手つないで」('91年6月)、15年の歩み「めぐる歯車輝きて」('96年12月)の記念誌を発行。'93~'94年度名古屋第二分区分代理(吉村卯一郎)を選出。'93年10月16日名古屋第二分区IM於ホテルナゴヤキャッスル。

出席率状況99.96% 平均年齢57歳10ヶ月 会員相互の親睦を深め、楽しい例会づくりに励み、女性会員もよくクラブに同化し、家庭的な和気あいあいのクラブである。会員家族のロータリーに対する理解度も高く、ロータリー行事への参加意欲も高く、健康に留意し、笑顔で接し、互いに一致団結し活動している。ニコボックスへの協力も旺盛。来るべき21世紀に向け、我がクラブのあるべきカタチづくりのために「ビジョン21」委員会を設立。中長期的視点に立って3年計画で検討に入る。海外との友情 シンガポール・ラッフルズティ RC('84年5月)、韓国・大邱東瑞RC('87年6月)と友好提携を行っている。



フィリピン・インタラムロスRC並びに韓国・大邱東瑞RCを迎えての創立10周年記念式典(1991.3.4)

名古屋名東ロータリークラブ

〒460-0003

名古屋市中区錦3-23-3

名古屋国際ホテル1214号室

TEL (052) 962-9216

FAX (052) 962-9207

- ・創立年月日／1978年6月20日
- ・承認年月日／1978年6月30日
- ・スponサークラブ／名古屋和合ロータリークラブ
- ・現会長／須賀康夫
- ・現会員数／84名
- ・例会場・曜日／名古屋国際ホテル・火曜

地域やクラブの特色

テリトリーである名東区および愛知郡長久手町は名古屋市東部に位置し、名古屋の東玄関として、近年急速に開けてきた人口急増地域である。

1978年(昭和53年)6月20日、名古屋和合クラブの相羽錆一特別代表の指導と助言により、チャーターメンバー30名で創立され、現在会員83名の所属する名古屋では中位の伝統をもつて至ったクラブである。

奉仕の歩み

青少年健全育成の奉仕活動として、継続的に対話集会をもったり、スポーツ大会を支援したりした。名東区猪高緑地に桜やサツキを、長久手、杣ヶ池公園には桜を寄贈し、後者は現在まで11年間継続している。'87年(昭和62年)10月に創立10周年記念事業として、名東区小中学校連合音楽会を協賛し、その後、現在まで毎年継続し、合唱や演奏を通じて小中学生の健全な育成の一助としている。

特記すべき活動

'88年12月、10年の歩みを発行。'90年7月、岡本縷二会員が名古屋第二分区代理に就任。'90年10月、名古屋第二分区IMをホスト。'91年11月、シドニーコーブ訪問。'93年4月、斗南RC10周年記念に訪問。'95年6月、千種IAC創立の提唱クラブに。'95年6月、名古屋名城RAC創立の他8クラブとともに提唱クラブに。'95~'96年、小川辰男会長年度に会員数が一挙に18名純増。'96年1月、初の

女性会員津川聖子さんら入会。'97年5月、ナゴヤキャッスルホテルにて地区協のホストクラブ担当。

創立20周年記念事業として、'97年9月、新設された名東区スポーツセンターに日展彫刻委嘱会友工藤潔氏の作品「爽やか」を寄贈し、'98年5月、新設される長久手町「文化の家」に会員佐光亜紀子画伯の作品「よろこびの詩」(F100号)を、その他、時計塔などを寄贈する予定である。

出席状況98.24%、平均年令56.2才、(正会員率73.49%)。

'97年11月、韓国ソウル・普信閣ロータリークラブとの友好交流も始まり、幅広く、より豊かなクラブ活動が展開されつつある。

'98年1月から例会会場のヒナ段を廃止し、円卓を囲んで会員相互の信頼を深め、風通しのよい楽しい例会を心がけている。



バナーの由来

白ゆりは純潔の象徴である。色や形は、ともにゆかしいもので、名古屋市の「市の花」として選定されている。朝日に輝くかれんな「ゆり」は、躍進と若さをさながら象徴したものである。

私どものクラブは、名古屋市で11番目にできたもので、11本のゆりをあしらい、これを表現し、ロータリーの精神を受け継ごうとしたものである。

名古屋和合ロータリークラブ

〒451-8551

名古屋市西区樋の口町3-19

ホテルナゴヤキャッスル内

TEL (052) 521-2121㈹

FAX (052) 531-0727

- ・創立年月日／1972年3月15日
- ・承認年月日／1972年4月2日
- ・スポンサークラブ／名古屋東ロータリークラブ
- ・現会長／富島照男
- ・現会員数／115名
- ・例会場・曜日／ホテルナゴヤキャッスル・水曜

地域やクラブの特色

1972年3月15日、相羽初代会長以下29名のチャーターメンバーにより、名古屋東RCの長男として産声をあげて以来、27年目を迎えた当クラブは、今最も充実した青年期を越えている。

和合は「和—Go」に通じ、協調性(和)と先取の精神に溢れた積極性(Go)を旗印に一步一歩前進する事を確認し合っている。

創設当時から当クラブを盛り立ててきたベテラン会員の「輪」と、現在を推進する若い会員の「輪」、そして事務局の「輪」が一体となり、「輪合」と表現するにふさわしいバランスを保っている。誰でも何処でも常に自由闊達に意見を述べることが出来る会風と、様々な分野でユニークにして質の高い能力を合わせ持つ会員が極めて多いことも当クラブの大きな特色である。

囲碁・麻雀・陶芸・グルメ・ゴルフ・音楽など各同好会活動も活発で、年令を越えた「心の融合」が、名古屋和合クラブの「和」を心地良く伴っている。

奉仕の歩み、特記すべき活動

☆ガバナーの輩出

'94~'95年度第2760地区ガバナーに、当クラブから蜂谷弘道君が就任した。その活動は、ガバナー方針として「環境保全と青少年奉仕活動の推進」に要約される。

環境保全の推進は、パラオ共和国へのソ-

ラーシステム100基の寄贈という形で、又青少年奉仕活動については二つのインターラクトクラブと、一つのローターアクトクラブの設立といった形で具現化された。任期中に勃発した阪神淡路大震災に対する迅速な対応も記憶に新しい。

☆21世紀万博シンポジュームの開催

20周年記念事業として、1991年9月に21世紀万博を考える「こころのLive」シンポジュームを開催した。愛知県へ21世紀万博を誘致すべく、知事、市長を巻き込んだこのとてつもない企画は、パネラーとして国際博覧会協会の役員2名の招聘に成功し、質の高い内容となり、愛知万博決定への大きなサポートイングパワーとなったものと自負している。

☆名古屋東山ロータリークラブの設立

25周年記念事業の一環として、名古屋名東クラブに続く第2子として、名古屋東山クラブの誕生を見た。'98年3月25日のチャーターナイトは盛大に開催されその輝かしい門出を祝った。



「こころのLIVE」シンポジューム

豊川ロータリークラブ

〒442-8540

豊川市豊川町辺通4-4

豊川商工会議所会館内

TEL (0533) 86-2100

FAX (0533) 86-8889

・創立年月日／1959年2月9日

・承認年月日／1959年3月12日

・スポンサークラブ／豊橋北ロータリークラブ

・現会長／石黒坦史

・現会員数／79名

・例会場・曜日／豊川商工会議所・水曜

(第2例会のみ東海カントリークラブ)

地域やクラブの特色

豊川市は1943年県下8番目の市として誕生、旧豊川海軍工廠跡地を中心に自動車、鉄道車両、電機、精密機器等の企業を誘致、商業では再開発により商店街の近代化を促進、また日本三大稻荷の一つ豊川稻荷の街として栄えてきたバランスのとれた市である。

当クラブは1957～'58年度の豊橋北RCへのガバナー訪問の際、新クラブをとの声があり、佐藤利雄氏を特別代表に、20名の会員をもつて設立された。豊川市は戦時中軍の要請で四町村が合併した市のため各地区の独立性が強く、この融和を図るというのも設立の目的の一つであった。

奉仕の歩み

1987～'88年度、姉妹クラブの台湾岡山RC、韓国大邱達西RC訪問、毎年WCSで現金を贈っている。

1988～'89年度は創立30周年に当り、昭和から平成への改元の年で華美な行事の自粛のため、認証状伝達式と同じ豊川閣での記念式典は、意義深い事であった。豊川市体育館へ、青銅製青年の像を寄贈。

1989～'90年度より豊川高校IAC生徒の海外派遣を実施。

1990～'91年度地区大会をホスト、記念事業として県、市、宝飯四町に現金を寄付。

1991～'92年度豊川高校IACのホスト、当クラブ後援でIAC協議会を開催した。

1992～'93年度ガールスカウトにテント寄贈。

1993～'94年度創立35周年記念として、豊川市と宝飯四町に社会奉仕基金、豊川警察署に交通安全基金を寄付。

1995～'96年度カムバック仁王様市民の会(豊川宝飯RC創立10周年記念事業の一つとして発足)への協力を積極的に行う。

1996～'97年度ボーイスカウト豊川第7團にテント寄贈。

1997～'98年度豊川高校に演台寄贈。

特記すべき活動

10周年以後節目毎に年史を、また「国際奉仕33年の歩み」を発行。地区協議会、地区大会をホスト、豊川宝飯RCを創設した。1993～'94年度には宮地ガバナー就任。



豊川高校 IAC・光輝寮との交流会
1997年8月4日(月) 於：新城市 桜淵公園



1997～'98年度卒寿・金婚祝賀例会
1998年1月28日(水) 於：豊川市 伊勢屋本店

豊橋北ロータリークラブ

〒440-0075
豊橋市花田町石塚42-1
豊橋商工会議所内
TEL (0532) 53-1000
FAX (0532) 53-6447

- ・創立年月日／1957年5月7日
- ・承認年月日／1957年5月20日
- ・スポンサークラブ／豊橋ロータリークラブ
- ・現会長／早川憲幸
- ・現会員数／114名
- ・例会場・曜日／豊橋グランドホテル・火曜

地域やクラブの特色

豊橋北ロータリークラブは、1957年(昭和32年)5月7日に創立総会を開き、同年5月20日に加盟承認され、豊橋市内に2番目のクラブとして誕生した。以来40年を迎える。この間に豊川ロータリークラブ、新城ロータリークラブ、奥三河ロータリークラブの三クラブを設立し、1979年には地区大会のホストを務める。スポンサークラブに豊橋ロータリークラブ、特別代表に河合孜郎氏、チャーターメンバーは22名、現在例会場は豊橋グランドホテル、会員数は114名(平成10年1月1日現在)、最近3年間の平均出席率は99.60%平均年令は59.33才である。クラブの特徴としては、明るく楽しい例会づくりを基本として常に会員相互の理解を深め、親睦と友情を計ることを心掛けている。

奉仕の歩み

奉仕活動の主としたものは、クラブの柱でもある530運動への推進、都市緑化運動の推進として、市内、国道1号線及び主要道路の街路樹及び学校内等への植樹、豊橋少年軟式野球選手権大会への協賛、CBC年末募金、米山奨学生への援助等…

特記すべき活動

①1988~1989年度刈谷における地区大会で530運動が評価され、高沢ガバナーより「意義ある業績賞」を受賞する。同年5月22日、

530運動生みの親である当クラブの野沢東三郎氏(530運動総連合代表)が他界。(享年71才)
 ②1992年5月19日、創立35周年記念例会を行う。記念事業として、クラブ米山奨学生制度委員会を創設。又、530運動推進連絡会に35万円、ロータリー財団に35万円、米山記念奨学会に35万円、豊橋善意銀行に10万円を贈呈。
 ③1992~1993年度、ホストクラブとして地区協議会を開催する。実行委員長 山内彌氏於：ホリデイ・インクラウンプラザ豊橋
 ④1993~1994年度、当クラブ石川顕次氏、東三河分区代理に就任。IMは豊川宝飯RCホストとして豊川陸上自衛隊にて行う。
 ⑤1995~1996年度、クラブ初の女性会員2名入会する。
 ⑥1996~1997年度、(平成9年5月7日)40周年記念式典を行い、記念事業として米山記念奨学会に40万円寄付、豊橋駅周辺整備として豊橋市へ400万円贈呈する。



530例会

蒲郡ロータリークラブ

〒443-0034

蒲郡市港町13-1

蒲郡商工会議所内

TEL (0533) 69-1020

FAX (0533) 69-2160

・創立年月日／1954年3月31日

・承認年月日／1954年4月22日

・スポンサークラブ／豊橋ロータリークラブ

・現会長／竹本泰一

・現会員数／77名

・例会場・曜日／蒲郡プリンスホテル・金曜

地域やクラブの特色

蒲郡市は愛知県の東南部に位置し、名古屋から約55km、東三河の中心都市豊橋から西へ約17kmの地点にあり、東三河の中核都市の1つである。三河湾に面し、三河湾国定公園の要として県下屈指の観光地であり、また織物、麻綢等の繊維産業の町として早くから発展している。

当クラブも創立44年を迎え、歴史的にも古くクラブ会員は個々に職域、職場を通して、地域社会に貢献、活動をしている。

奉仕の歩み

'87年度中 形原温泉周辺に紫陽花1000本、西浦温泉万葉の小道(桜、楓等2000本)植樹。塩津小学校に国旗掲揚塔寄贈。'88年 伊勢湾台風浸水潮位の石版を市内5ヶ所に設置。蒲郡善意銀行を通してモロッコへ車椅子寄贈。'89年 西浦小学校へ国旗掲揚塔寄贈。タイのラブレイRCを通して、地域20の小学校に手押消火設備を寄贈。'90年 バングラディッシュのダッカRCを通して、ダッカ社会福祉基金へ17万円寄付。'91年 マレーシアのペナンRCを通して、身体障害援助団体に16万円を寄付。市内中学校体育大会開会式に優勝旗15本を贈呈。'92年 市内7中学校に「4つのテスト」の額寄贈。'94年 海浜公園に三河湾浄化PR案内板設置。'95年 メモリアルハウスの鐘贈呈。'97年 ポイ捨て防止立看板3カ所設置。

通年事業 敬老の日に市内最高齢者数名の

方を訪問し祝金、記念品の贈呈。市内小中学校に皆出席者及び体育成績優良児童生徒に表彰状と記念品の贈呈。5月最終例会日に530運動を通じて環境保全に努める。

特記すべき活動

'87年 姉妹クラブ基隆南RC創立25周年記念式典に24名参加。岩瀬正雄会員が当クラブ3人目の分区代理に就任。'88年姉妹クラブ小松RC会員、家族の一行 67名潮干狩に来訪。'89年 基隆南RC21名来訪。例会中の禁煙タイムがスタート、現在も継続中。'90年小松RCより11トン車2台分の雪のプレゼント。'92年 「エイズはどこまで解明されたか'93」と題して会員が公開講演。'93年3月25日創立40周年記念式典。'96年 蒲郡高校生徒とOBによる就職懇談会。'97年 鈴木省三会員が当クラブ4人目の東三河分区代理に就任。東三河分区IMをホストクラブとして開催。基隆南RC 8名来訪、例会に出席。基隆南RC創立35周年記念式典に21名参加。



東三河分区IM講師磯村尚徳氏
テーマ「激動する世界情勢世界の中の日本」

豊橋ロータリークラブ

〒440-0075

豊橋市花田町石塚42-1

豊橋商工会議所内

TEL (0532) 53-3774

FAX (0532) 56-6006

- ・創立年月日／1950年8月10日
- ・承認年月日／1950年8月26日
- ・スポンサークラブ／名古屋ロータリークラブ
- ・現会長／磯村直英
- ・現会員数／131名
- ・例会場・曜日／豊橋グランドホテル・木曜

地域やクラブの特色

豊橋市は、愛知県の東南端部にあって、東は静岡県に接し、東京と大阪のほぼ真ん中にあたり、東三河の中心都市として歴史の古い都市である。21世紀を目指した地域ビジョンとして『界を越えて』を発表し、広域構想『穂の国連合』の創設、三遠南信伊勢・中央新都の建設、都市機能の高度化、ウォーター・フロント地域の開発、高度技術応用都市の形成、生活・文化都市の確立を目指している。

豊橋RCは、1950年8月10日名古屋RCをスponサーとして承認登録番号7599番、チャーチメンバーメンバー22名で誕生した。

10年誌、20年誌、30年誌、40年誌を懐古する時、親・子そして孫三代に亘る当クラブの厚みを感じ、ロータリーの深さと絶えない友情があったことに、今更胸を熱くする思いである。この間、4人のガバナーを送り出し、当クラブのスponサーにより、曾孫クラブまで含み、24クラブが誕生した。

クラブの歩み

(1987~'88)・新クラブ設立選考委員会、新クラブ設立準備委員会を設置。

(1988~'89)・高沢隆ガバナー就任。・豊橋ゴールデンRCのスponサー・地区R情報セミナーのホスト。

(1989~'90)・豊橋RAC15周年記念式典。

(1990~'91)・豊橋RC創立40周年記念式典。・チャリティー記念絵画展。・IAC地区協

議会。・RAC地区年次大会。・環境保全委員会設置。

(1991~'92)・RIアジア第1・第3ゾーン第20回ロータリー研究会のホスト。・環境の木の植樹とゾーン研究会のホストにより『意義ある業績賞』RI会長賞受賞。

(1992~'93)・デンバーオーロラRCとの姉妹締結。・RCC(TEC豊橋教育サークル)の認証状伝達式。

(1993~'94)・地域発展委員会設置。・RCC委員会設置。・オーロラ友好特別委員会設置。

(1994~'95)・豊橋RAC20周年記念式典。

(1995~'96)・石川和昌ガバナー就任。・豊橋RC創立45周年記念例会。・豊橋IAC30周年記念式典。

(1996~'97)・東三河分区IMのホスト。

特記すべき活動

(1965~)・豊橋IAC設立。

(1975~)・豊橋RAC設立。

(1987~)・松本南RCとの友好交流。

(1994~)・オーロラRCとの交換留学生による交流。



1997.8.28 ガバナー公式訪問

一宮中央ロータリークラブ

〒491-0858

一宮市栄4-2-1

一宮商工会議所内

TEL (0586) 24-1959

FAX (0586) 71-4390

- ・創立年月日／1990年10月31日
- ・承認年月日／1990年11月16日
- ・スポンサークラブ／一宮北ロータリークラブ
- ・現会長／加藤康治
- ・現会員数／74名
- ・例会場・曜日／一宮商工会議所(3階)・水曜

地域やクラブの特色

地区10年史編纂にあたり、いまだ月日を満たしていない「一宮中央ロータリークラブ」ではあるが、故中村パストガバナーをはじめとし多くの諸先輩方の並々なぬご尽力、一宮・尾西・一宮北RCの多大なるご支援の賜ものとして、1990年10月31日一宮北RCをスポンサークラブとし地区内初の女性会員3名を擁してナイトロータリークラブにて発足した。

奉仕の歩み

'90年8月22日 39名にて仮例会がスタートし伴正保特別代表(一宮北)のアドバイスを得て松前初代会長のリーダーシップにより先ず「奉仕の仲間」を増やすことをテーマに「創立総会」には61名と増強した。その若き力を結集し'91年5月19日「認証状伝達式」に挑戦し、地球環境をメインテーマに参加諸先輩に視覚(AV等)で訴えるセレモニーを企画し、会員(全員新会員)として、RCの奉仕の緒について汗して体験したことからスタートした。そして今、一丸となった奉仕の仲間は74名となった。

'91年より「環境保全」が地区にても採用されたことにより当クラブの奉仕活動の目標の一つに取り入れ毎年(継続事業として)木曽三川公園三派川地区内に「ロータリーの桜並木」を合言葉に微力ながら植樹をしている。

特記すべき活動

チャーターナイト以後、より一層の会員交流を御旗に会員の和を求めるロータリーの何たるかの勉強会・親睦交流を最優先に取上げ各例会事業を「楽しく出席できる」活動(対内的)に重きをおいた創成期。

5年の歳月を費やし'95年には我がクラブも諸先輩クラブの仲間入りをして、初代松前会長が西尾張分区代理に推挙されメンバー全員で分区事業を企画遂行し得た事は、会員一同、一步対外的にも成長したものである。又、節目の年でもあり5周年記念事業も並行して立案し、一宮市・木曽川町・ロータリー財団・米山記念奨学会・WCS・市民団体等に多くの奉仕活動を実施するまでにクラブもメンバーも大きく成長してきた。

未来永劫つづくであろう「一宮中央ロータリークラブ」をより一層飛躍させる為、全会員が2760地区はもとより世界の先輩クラブにアドバイスを得て、力強く前進していきたい。



5周年記念事業の一コマ

尾張中央ロータリークラブ

〒481-0004

西春日井郡師勝町鹿田若宮3926-10

名鉄パレ百貨店内 5F

TEL (0568) 23-4015

FAX (0568) 23-3352

- ・創立年月日／1983年12月22日
- ・承認年月日／1984年1月30日
- ・スポンサークラブ／西春日井ロータリークラブ
- ・現会長／鈴木二三雄
- ・現会員数／54名
- ・例会場・曜日／名鉄パレ百貨店(師勝・西春店)
5F・水曜

地域やクラブの特色

テリトリーの師勝・西春町は名古屋市の北部に隣接、尾張平野の中央に位置し、緑と太陽の町として両町併せて人口74,000人、名古屋市経済圏の影響で産業が発達し、ベッドタウンとして急速に発展した。

創立に当たっては、旧260地区奥沢俊一ガバナーの要請を受け野田眞一特別代表により1983年(S.58年)12月創立され、今年で15周年を迎えることとなる。

奉仕の歩み

1985年8月、西春日井RCと合同で、交通広報車を所轄の西枇杷島警察署へ寄贈。

1986年5月、530運動を提唱(行政を初め地域の各種団体へ参加を呼びかけ)、現在両町挙げての一大年中行事として定着の基盤を確立した。

1987年6月、テリトリー内の伝統工芸継承者(染色技能・造園技術・人形製造等)の顕彰と助成を行う。

1988年10~12月、創立5周年の記念事業として、「青少年健全育成をめざして」、「高齢者のための交通安全」、「日本経済の今日と未来について」の講演会を開催。

1990年3月、緑化推進運動の一環として、五条川堤に桜の苗木を地域の小学生と合同で植樹し、記念の立札を設置。 1994年10~12月、創立10周年を記念して、名芸大ホールにてレクチャーコンサートと天神太鼓を公演。 西春町文化勤労会館にてチャリティーバザー

と文化講演会を開催。

1997年10月、「覚せい剤・シンナー等薬物乱用防止大会」をRC主催、地域の行政・各種団体と共に開催して行う。

クラブの歴史を記すものとして、1周年記念誌、5周年誌、10周年誌を発行済。

毎月2回発行されるタウン紙(尾張中央タイムズ)に「ロータリーのコーナー」を設け、毎号RCの広報を実施している。



桜の苗木の植樹



覚せい剤乱用防止大会

西春日井ロータリークラブ

〒452-0008

西春日井郡西枇杷島町大黒町69

だいこくマンション イーC

TEL (052) 503-4127

FAX (052) 503-6941

- ・創立年月日／1975年10月14日
- ・承認年月日／1975年11月3日
- ・スポンサークラブ／稻沢ロータリークラブ
- ・現会長／犬飼 肇
- ・現会員数／66名
- ・例会場・曜日／東海銀行枇杷島支店2F・火曜

地域やクラブの特色

名古屋市とは市内の西北を流れる庄内川で境をなし西春日井郡の4ヶ町で構成され、産業は市の延長生活経済圏の色彩が強い。なお、産業としては機械工業が盛んであり、中小企業の特異性が發揮され、古来より農業など全般に混在している地域である。

年度を増すごとに成熟したクラブになってきている。

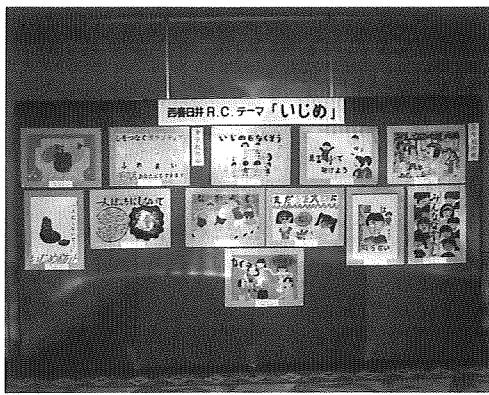
例会では会員相互の親睦交流もうまく行われ穏やかなクラブである。

金を贈呈している。

特記すべき活動

15周年記念誌'90年10月。20周年記念誌'95年10月を発行。15周年には財団留学生の集い開催。20周年には『いじめ問題』シンポジウム開催地区内12校の児童生徒に『いじめ問題』をテーマの標語、ポスター募集、作品の審査、特選作品をイラストレーションした下敷きを作成し4ヶ町の小中学校全生徒に贈呈。域内の社会福祉協議会を通じて資金援助を行うと共に身体障害者団体と協力してチャリティバザーを行いその売上金を寄贈する。毎年予算を組入れ西枇杷島町、新川町、清洲町、春日町4ヶ町の諸団体へ援助活動を行っている。出席状況98.11% 平均年齢63.88才

楽しい例会を心がけ出席率の良い例会にしたい。



4町小中学校の生徒代表者を招きいじめ問題をテーマに新川町庁舎にて'95年9月8日例会を開催した。

あまロータリークラブ

〒453-0015
名古屋市中村区椿町17-16
丸元ビル 5F
TEL (052) 451-6617
FAX (052) 451-6710

- ・創立年月日／1969年6月16日
- ・承認年月日／1969年6月23日
- ・スポンサークラブ／津島ロータリークラブ
- ・現会長／熊沢 登
- ・現会員数／105名
- ・例会場・曜日／名鉄グランドホテル・月曜

地域やクラブの特色

濃尾平野の西南部に位置し、名古屋市西部に隣接する海部郡の8ヶ町村をテリトリーとしている。

有名特産物は七宝焼及び金魚・白文鳥などがある。また、湯量の豊富さ、泉質の優秀さを認められた尾張温泉があり、名所には古来由緒のある甚目寺観音がある。

次年度、創立30周年を迎えるクラブとしては会員の平均年齢も若く、例会は活気にあふれている。

奉仕のあゆみ

青少年活動奉仕として、創立以来ボーイスカウト・ガールスカウトの助成をしている。

社会奉仕活動ではテリトリー内の弥富野鳥園に観察のための視聴覚機器を寄贈したり、植樹を行っている。愛知子供の国にも備品を贈り、会員による清掃活動を行っている。また、心身障害児者の施設建設基金に積極的に協賛すると共に手作りの奉仕活動を推進。

阪神大震災の時は神戸RCに義援金を送金した第1号のクラブとして、会長さんがお礼に来訪された。

国際奉仕では台湾の姉妹クラブと協賛して知的障害児特殊学級へのWCS活動を行っている。

特記すべき活動

他のクラブには例を見ない保健委員会があ

って、会員・家族の健康維持ばかりでなく、ボーイ・ガールスカウトの健康診断などの奉仕活動を行っている。

1992年には神戸政治ガバナーが誕生。その後多くの会員が地区委員として委嘱をされており、会員全体の意識が一段と高揚して、クラブ内外の奉仕活動が活性化している。

創立以来、3名のロータリー財団奨学生を推挙し、8名の米山奨学生を受け入れた。また、クラブ独自の奨学生を1名支援している。青少年交換学生は、現在1名を派遣し、1名を受け入れている。

近年は国際大会への参加も積極的で、毎年会員及び家族の参加者が十数名を数え、最高50名と言う年度もあった。

来年、創立30周年を迎えるにあたり、大竹和美初代会長を記念行事実行委員長として、全員参加によるスマートな手作りの行事を計画している。

当クラブ選出の分区代理は、1975～'76年度大竹和美、1989～'90年度横井永忠と次年度には田中清隆がノミネートされている。



台湾の知的障害児を囲んで

稻沢ロータリークラブ

〒492-8208

稲沢市松下1-6-1

東海銀行稲沢支店

TEL (0587) 24-0740

FAX (0587) 24-0740

- ・創立年月日／1963年7月11日
- ・承認年月日／1963年12月6日
- ・スponサークラブ／一宮ロータリークラブ
- ・現会長／山田 武
- ・現会員数／70名
- ・例会場・曜日／東海銀行稲沢支店・水曜

地域やクラブの特色

稲沢市は名古屋から車で20分、鉄道で15分という交通の便がよいベッドタウン的性格と共に、昔より尾張国分寺・国分尼寺が置かれ、又尾張大国霊神社(国府宮)が祀られ、日本三大はだか祭りの一つが行われるなど、政治文化の中心地として栄えてきた。近年植木・苗木・盆栽の生産地として高い評価を受けていることの外に、機械金属工業、電気工業など内陸工業都市としてバランスのとれた発展を遂げ、又21世紀に向けて、稲沢操車場跡地を中心としたビッグプロジェクトが動き始めた。

1963年5月2日、渡辺治彦特別代表から田島仲康らがつくるようにいわれ、28名でチャーターまで漕ぎ着けたのが創立のいきさつであり、以来35年、「ロータリーの森」への植樹「国府宮桜並木」「オーストラリア、カウラRC姉妹クラブ提携」など先輩の数々の奉仕は枚挙にいとまのない伝統あるクラブである。本年、会員数が70名を越え、更なる多方面にわたる奉仕活動を目指している。

奉仕の歩み

5年毎の記念大会に稲沢市、祖父江町、平和町に記念品を寄贈している。

'88年7月16日；稲沢市ヘロータリー文庫、祖父江、平和町へ図書券贈呈。

'93年7月10日；稲沢市民会館ブロンズ像、祖父江、平和町へ図書券贈呈。

'95年2月18日；阪神・淡路大震災への義援金

'96年10月12日；国府宮駅前に稲沢市案内

電光掲示板、祖父江、平和町に絵画を贈呈。

毎年の継続した奉仕は、「ロータリーの森」への植樹、清掃、管理、ゴミ0運動カウラRC姉妹クラブの関係でカウラ高校留学生の招待、優良従業員表彰、ボイスカウト・ガールスカウト援助、ボランティア活動の援助・表彰などである。

特記すべき活動

10年毎に「この十年の歩み」の記念誌を発行している。'73年、'83年に継いで、'93年7月10日に30周年の記念誌が発行された。

'88年7月16日、25周年記念大会、於稻沢ロイヤル

'93年7月10日、30周年記念大会、於ホテルナゴヤキャッスル

'95年2月18日、西尾張分区IMホスト、於名古屋キャッスルプラザ

'96年10月12日、13日、2760地区大会ホスト、於稲沢市民会館、ホテルナゴヤキャッスル

「高校生と共に考える交通安全シンポジウム」をテリトリー内の6高等学校の生徒と稲沢警察署で毎年開催している。



'97年5月31日、第10回「高校生と共に考える交通安全シンポ」稲沢警察署にて

一宮北ロータリークラブ

〒491-8686

一宮市栄4-2-1

一宮商工会議所内

TEL (0586) 24-1961

FAX (0586) 71-4390

- ・創立年月日／1963年3月15日
- ・承認年月日／1963年6月30日
- ・スポンサークラブ／一宮ロータリークラブ
- ・現会長／大森克孝
- ・現会員数／82名
- ・例会場・曜日／一宮商工会議所3階ホール・金曜

地域やクラブの特色

尾張の西北、一宮市北部と木曽川町を含む毛織物の生産と繊維産業が基盤の地域で、当クラブのRCメンバーは構成されている。1963年(昭和38年)3月、一宮RCがスポンサーとなって、森常保特別代表のもとに30名のチャーターメンバーで、誕生した。

現在は、繊維関係以外の職業も多岐にわたっている。当クラブは、歴代、和をもって処すを信条としていることが、例会の運営等全ての面に引き継がれている。

奉仕の歩み

本年で創立35周年を迎えるが、各周年毎に記念事業を行ってきた。創立15周年(1978年10月・地区大会をホスト)20周年(野村狂言鑑賞、一宮市、木曽川町、R財団、米山記念奨学会へ寄付)25周年(1988年・一宮市立市民病院へ絵画、木曽川町民運動場に屋外時計塔、ボリオ・プラス、ロータリー財団・米山記念奨学会に寄付。)30周年(1993年、R財団、米山記念奨学会、一宮市国際交流協会、ペナン、ダイヤリシス医療センター立ち上げの為、ロータリー財団の特別同額補助金制度の共同提唱資金として6,000米ドル寄付、ペナン救急車指令本部コンピューター資金として1,200米ドル寄付)。R財団奨学生に、石井妙子さん、久納康嗣君に次いで、則武礼美さん(メキシコ)合格。米山奨学生、蘇淑慧さん(マレーシア・中部大学生)をカウンセラー。

1988年より、照光愛育園の園児を招待し毎

年12月に一宮女子高等学校IAC会員と共にクリスマス会を開催。

特記すべき活動

10年、20年、25年、30年、35年の歩みの記念誌を発行。

地区大会、尾張第二分区IGF、1988年IAC協議会ホスト。

1990年2月にマレーシア・ペナンRCと海外姉妹提携、その後各種の提携事業を行った。1991年10月に一宮中央RC設立。スポンサークラブになる。(4名移籍) 特別代表伴正保、チャーターメンバー61名で発足した。当クラブは、IAC・RACの提唱クラブ(一宮、尾西、一宮中央、共同)、IACの主管クラブである。

クラブの最も誇りとするところは、美術同好会があり、親睦活動委員会と共同企画にて、春夏の親睦家族旅行等、会員相互の信頼の深い絆を作っている事である。



照光愛育園 クリスマスパーティー

尾西ロータリークラブ

〒494-8611
尾西市籠屋1-4-3
TEL (0586) 45-1152
FAX (0586) 46-1711

- ・創立年月日／1955年11月18日
- ・承認年月日／1955年12月17日
- ・スポンサークラブ／名古屋・一宮ロータリークラブ
- ・現会長／吉田民雄
- ・現会員数／64名
- ・例会場・曜日／尾西信用金庫・月曜

地域やクラブの特色

尾西市は木曽川の清流沿いに全国有数の毛織物生産地にて尾西ウールとして喧伝されている。従って会員も半数が繊維に関連があり職業分類には苦労している。クラブ内の親密感が強くどちらかと言えば社交、親睦クラブ的な雰囲気が濃くロータリーライフを楽しむ経験に富んだメンバーと中堅の若い会員がよく融和しており、例会に来客の多いのも特色の一つで気楽なところが他クラブに愛され訪れやすい感じをもたれていると思う。

奉仕の歩み

クラブ創立43年地域密着のきめ細かい奉仕に徹している。地元警察、消防署、福祉関係にパトカー、車の寄贈、老人、身体障害者福祉施設への物心両面にわたる慰問、ボイスカウトに毎年寄付、近隣4クラブ共同提唱としてRAC、IACの支援育成に協力、クラブ創立以来の継続事業として優良社員を会員企業と一般市民より募集し表彰の実施、文化活動として楽器、図書館に図書の寄贈、小学校の530運動に協賛等、尾西まつりに職業奉仕の一環として会員の歯科医の協力にて無料歯科検診を毎年実施、市民の好評を得ている。地元のための奉仕は枚挙にいとまない。人口5万有余の小都市でもありどうしても継続奉仕が多くなりこのあたりで奉仕のありかたについて見直しの時期が来ているものと思勘案中。とにかく今後共地道で息の長い地味な

がら着実にロータリー奉仕に努力してゆきたい。

特記すべき活動

毎年連続して優秀クラブとしてRI会長賞受賞の栄誉を受けている。国際奉仕として'79年に台湾第3460地区水里扶輪社と姉妹クラブを締結し5年毎に締結更新し'99年には4回目の更新の予定、毎年相互に訪問実施、国際親善と友好の輪をひろげておる。'92年～'93年度には地区協議会・'97年～'98年度にはIMのホストクラブをつとめ'98年～'99年にはライラセミナーのホストを委嘱され着々と準備に入っている。会員数60有余の小クラブだが創立43年の歴史と伝統のもと一致団結ロータリー奉仕活動を指向して地域へのかかわりを深めていきたい。



社会福祉の一環として広報車の寄贈



'92～'93年度のための地区協議会ホストを担当

津島ロータリークラブ

〒496-0801
津島市藤浪町1-24
TEL (0567) 26-1600
FAX (0567) 26-1661

- ・創立年月日／1953年6月5日
- ・承認年月日／1953年6月22日
- ・スポンサークラブ／一宮ロータリークラブ
- ・現会長／岡田和彦
- ・現会員数／91名
- ・例会場・曜日／東海銀行津島支店・金曜

地域やクラブの特色

当地域は、県西部に位置し名古屋駅より西15km毛織物の生産都市として知られ名古屋西部地区の中心としての役割を担っている。

また、織田信長の父、信秀の城下で信長の生誕地であり、津島湊・津島神社の門前町として栄えてきたが、明治中期に毛織物生産が導入され、織維の町として発展してきた。

伊勢湾台風被災以来表面化した海拔0米地域に加えて年々進む地盤沈下が大きな課題であったが木曽川からの工業用水導入により地盤沈下は大幅に減少をみた。

今後は名古屋市の近郊地域としての地の利と、歴史的な文化を生かした個性ある街づくりによる発展が期待されている。

奉仕の歩み

'87年 35周年記念式典・記念事業で天王川公園野外ステージの増設 '88年 ポリオ・チャリティーバザー開催、県立佐織養護学校へボール付太陽電池時計贈呈 '89年 2760地区年次大会ホスト。'90年 HAMAクラシック・チャリティーコンサート '91年 地元公募奏者によるチャリティーコンサートで文化基金創設 '92年 40周年記念式典及び記念事業、西尾張分区I.Mホスト '93年 「530運動IN天王川」ボイ、ガールスカウト IAC500名によるキャンプ大会での障害者との触れ合い '94年 津島警察署へ麻薬乱用防止垂れ幕贈呈 阪神淡路災害義援金160万円 '95年 チャリティー開基大会を開

催し社会福祉基金を創設 '96年 グアムトラック島パメラの先生・生徒を招待し市民と交流会、スキルメーターレサシアン2体救助用品贈呈

特記すべき活動

津島市と隣接4ヶ町村を区域に1953年一宮RCのスポンサーで創立し今年45周年を迎えた。この間一貫して取り組んできた継続事業は次の通りである。

地域社会への貢献をめざした社会奉仕 '81年創立以来津島女子高校IACへの援助、津島市図書館の常設ロータリー文庫充実、530運動の展開、職業奉仕。RVIAへの登録拡大、区域四高校への就職情報活動、職場訪問例会、国際奉仕、WCS活動、第3480地区台湾 淡水RCとの姉妹提携、米山奨学生の受け入れ及びR財団奨学生募集と派遣 会員相互の親睦を深め楽しい例会をめざしたクラブ奉仕 クラブ記念誌の発行、趣味の会運営(囲碁・ボーリング・麻雀・グルメ旅行・ゴルフ会)現在'95年7月以来連続120回100%出席を継続中である。



「530」運動 IN 天王川

一宮ロータリークラブ

〒491-8686

一宮市栄 4-2-1

一宮商工会議所内

TEL (0586) 24-1931

FAX (0586) 71-4390

- ・創立年月日／1949年11月7日
- ・承認年月日／1949年12月31日
- ・スポンサークラブ／名古屋ロータリークラブ
- ・現会長／小早川泰三
- ・現会員数／96名
- ・例会場・曜日／一宮商工会議所 3Fホール・木曜

地域やクラブの特色

一宮市は尾張平野のほぼ中心に位置する人口約27万人の繊維産業都市である。

1949年戦前の日本のRCがRI復帰を果たした。一宮RCはその11月戦後日本に新しく誕生した第1番目のクラブとして創立された。

「ロータリーは長い竿で空の星を搔き回すようなことをするものではなく、足下の小石を拾うようなものである」とPDG安野譲次初代会長創立の言である。以来この言葉を心として一宮RCはその伝統を受け継いでいる。

奉仕の歩み

'87年9月IGFをホスト。「今貴方はロータリーに何を期待するか」を主題に一宮RC元会長3名をパネリストとして討論を展開。

'89年クラブ創立40周年・海外姉妹RC提携10周年・例会2000回を記念して各委員会による記念事業を繰り広げる。

'91年2月姉妹クラブ新竹RC(台湾)と協力、新竹建華中学校の先生生徒が一宮市立南部中学校を親善訪問、両RCの友好の輪が地域の子供達にまで広がった。

'92年7月安野記念奨学金を創設、2名の留学生(中国)をお世話する。

'92年10月「地域環境問題」をテーマに3週間連続した例会プログラムを実施。

'94年3月「私の職業奉仕」第6集を発行(第1集は創立30周年を記念して'79年に発行、会員の職場、職業奉仕活動を紹介した)

'94年8月「環境保全シンポジウム」開催、会員18名が3名1組となり6週に亘り集団討議。その集成を「われら子孫のために」と題して、この年創立45周年を期して発行。

'97年3月IMをホスト。「いま来日留学生は…」を主題に「アジアの親善平和 21世紀への展望」を副題とする。4月多数の在日留学生をお花見、茶席に招待して交歓会開催。

'97年12月新竹建華中学校と一宮市立南部中学校生徒による国際交流書画作品展第10回記念展を開催。

特記すべき活動

RCの四大奉仕を軸にこの10年間、530運動四つのテスト普及、災害地・文化財支援、苗木・植樹運動、そして米山奨学生のお世話、財團活動への参加等々について諸活動を実施。

「ロータリーの奉仕は春雨の如く、静かに明るく人知れず大地を潤し、この世を美しく、そして住みよくするものである…」という安野初代会長の言葉は今日も一宮RCに脈々と息づいている。



1997年4月 在日留学生交歓会

豊山・城北ロータリークラブ

〒460-0008

名古屋市中区栄 2-4-11
チサンマンション広小路305号
TEL (052) 201-1141
FAX (052) 201-5679

- ・創立年月日／1986年3月11日
- ・承認年月日／1986年3月24日
- ・スポンサークラブ／名古屋空港ロータリークラブ
- ・現会長／安藤克己
- ・現会員数／57名
- ・例会場・曜日／名古屋栄東急イン・火曜

地域やクラブの特色

当クラブのテリトリーは名古屋市の北部に隣接する豊山町と名鉄上飯田線以西の春日井市である。豊山町には名古屋国際空港があり、名古屋市の表玄関となっている。またこれに関連して航空関連施設が集中している。ほかに家庭の台所をになう名古屋中央卸売市場北部市場がある。

1986年3月11日、当クラブは名古屋空港RCの子クラブとして誕生した。この年度は名古屋空港RCから福田ガバナーが出ておられ、その肝いりで設立された。チャーターメンバーは27名、特別代表に小牧RCの片山復四郎氏をいただいて、6月29日にはホテルナゴヤキャッスルにおいて認証状伝達式を行った。

奉仕の歩み

1987年、台北の仁愛扶輪社と姉妹提携、同年長野県飯田東RCとも姉妹提携の調印をした。以降、両RCと相互に訪問し、交流をはかっている。1996年3月16日には仁愛扶輪社から当クラブの創立10周年を記念して23人の会員及び家族の方々が祝福に来賓された。翌年には仁愛扶輪社の10周年記念式典に、当クラブから30数人の会員及び関係者が訪台した。仁愛扶輪社との関係で1990年に台北と豊山町の児童交流会が行われた。

豊山町で毎年行われる商工祭には会員の持ち寄る物品のバザーを行い、売上金の全額を

豊山町社会福祉協議会へ寄付をして喜ばれている。又同日に開かれている春日井市の春日井コロニー祭にも参加し、バザーや寄付金活動に参加している。

1997年に青少年プログラムにおいて豊山町の教育委員会と協力して「思いやりの心」をテーマに小・中学生とPTAの三者で、ペネルディスカッションを行った。本年もひきつき青少年のためのプログラムを実施し、長野県の清内寺子供会と豊山町子供会の交流に協力している。又11月には環境問題を取りあげ、豊山町ボイスカウトと名古屋空港周辺道路のゴミ收拾などのボランティア活動を行った。

職業奉仕の関係では毎年会員または地域の会社訪問をしている。

特記すべき活動

創立10周年記念式典を1996年3月16日、ホテルナゴヤキャッスルで行った。同時に「10年のあゆみ」を発刊。

1993年3月7日に東尾張分区のIMを主催した。この年度には初代会長の長谷川二郎君が分区代理をつとめた。



1997年11月3日 環境保全集会

岩倉ロークリークラブ

〒485-0074

小牧市新小木2-33

小牧ロイヤルホテル601号

TEL (0568) 71-4116

FAX (0568) 71-4120

- ・創立年月日／1979年4月18日
- ・承認年月日／1979年5月18日
- ・スポンサークラブ／江南ロークリークラブ
- ・現会長／中村賢三
- ・現会員数／39名
- ・例会場・曜日／小牧ロイヤルホテル・火曜

地域やクラブの特色

岩倉市は、名古屋市の北部に位置し、名鉄新名古屋駅から15分、地下鉄も相互乗り入れされている。さらに名神高速道路、一宮IC、小牧IC、いずれからでも10分以内で到着出来る。最近では、沢山の分譲マンションや、賃貸マンションが立ち並び、町の風景が大きく変化したが、市を縦断して流れる五条川の清流と、その堤の桜並木の美しさをはじめ自然のなごみを沢山残している。

1979年4月18日、創立総会、創立会員は25名、5月18日 国際ロークリーに加盟承認され、11月17日 名古屋観光ホテルにて 国際ロークリー加盟認証状伝達式を開催。スポンサークラブ 江南 特別代表は中村熙君である。

奉仕の歩み

創立10周年記念事業として 岩倉市身障者共同作業所へ、ワゴン車を寄付したが、現在も大切に利用されている。

ボーイスカウト・ガールスカウトには毎年援助し、そしてクリーンチェック作業等には一緒になって街並の清掃活動に奉仕している。次年度はクラブ創立20周年になるので、記念事業の具体化を急いでいるところである。

特記すべき活動

会員40名弱の小さいクラブの強みを、十分発揮し、楽しく明るい例会が出来るように、つとめている。

海外提携クラブの台湾北斗扶輪社とは、本年が更新年度にあたり、10月20日に来訪を受けて再調印式を行った。

毎年会員と家族が相互訪問をして、お互いの友情を深めている。

長野県佐久クラブとは鯉が取り持つ縁で、友好提携をしている。

次年度は創立20周年。会員増強も大切だが会員相互のより一層の充実した活動を推進したい。



友好クラブの佐久クラブとの合同例会



ボーイスカウト、ガールスカウトと一緒に街並の清掃作業

瀬戸北ロータリークラブ

〒489-8511

瀬戸市見付町38-2

瀬戸商工会議所内

TEL (0561) 84-1170

FAX (0561) 84-1170

- ・創立年月日／1978年10月31日
- ・承認年月日／1978年12月7日
- ・スポンサークラブ／瀬戸ロータリークラブ
- ・現会長／野田英男
- ・現会員数／71名
- ・例会場・曜日／瀬戸商工会議所・火曜

地域やクラブの特色

瀬戸市は、1300年にわたるやきものの歴史とともに歩んできたまちである。長い年月その炎をたやすことなく窯を焼き、多くのすぐれたやきものを世に送り続けている。

会員も窯業関係者が相当の割合を占めている。2005年国際博覧会が瀬戸の地において開催されることが決定し、瀬戸市は産業に支えられたまちとして、その国際化の中で地球上に向けてのやきものの発信基地として発展していくことが期待される。

奉仕の歩み

1988年瀬戸警察署に広報車を、瀬戸市に時計塔を寄贈。1989年高齢化社会に備え瀬戸市立図書館に大型活字本（それまでは点字本）を寄贈し、1997年まで継続。1990年愛知環状鉄道瀬戸口駅広場への植樹を行い、瀬戸市に緑化整備資金を寄贈。1993年チャリティーピアノデュオコンサートを開催し、その収益金で瀬戸市社会福祉協議会に車椅子6台を寄贈。1994年河川浄化事業として市民参加のもと瀬戸市内の水野川に鯉を放流し、1997年まで継続。

その他継続事業として、瀬戸児童合唱団、瀬戸スカウト協議会、障害者スポーツ大会、青少年スポーツ大会、各種社会奉仕団体の活動への協賛寄付を行っている。

特記すべき活動

1989年8月 10年の歩みを発行。

地区分割にあたり長野県あづみ野RCと友好提携を結び、以後毎年相互訪問等を行って

いる。

1993年地元産業の発展を願い、染付に関する「やきもの染付コンペティション」、ノベリティーを支える原型師の今後を考える「瀬戸原型展」に瀬戸北RC会長賞を贈呈し、以後今日まで継続。

1993年5月特に新会員等にロータリーを理解してもらうべく、その歴史、規模、活動等を簡略にまとめた小冊子を発行し、全会員に配布するとともに以後新会員の研修資料として活用。

1997年9月瀬戸RCとの合同社会福祉事業として、国際博覧会のPRと環境、交通安全標語入りの横断幕を瀬戸市の玄関口や主要道路各所に設置。1998年5月には、同じく共同事業として、ゴミ0運動を開催、「ゴミ0フェアセと'98」の名称でイベントを開催し、環境保全機器等を瀬戸市に寄贈する。

今後は、国際博覧会に向けた各種事業も積極的に推進していくことになる。



1996年 水野川 鯉の放流

田原ロータリークラブ

〒441-3421

渥美郡田原町大字田原字巴江12-1

華山会館3F

TEL (05312) 2-0831

FAX (05312) 3-1216

- ・創立年月日／1961年3月24日
- ・承認年月日／1961年4月20日
- ・スポンサークラブ／豊橋ロータリークラブ
- ・現会長／能勢寛道
- ・現会員数／72名
- ・例会場・曜日／蒲郡信用金庫田原支店3F・金曜

地域やクラブの特色

太平洋に面し、東西に横たわる渥美半島の中央に位置する田原町、赤羽根町をテリトリーとする。温暖な気候で「常春の地」とよばれる。田原町は城下町で、江戸後期藩の家老の渡辺華山が蟄居、自刃した地であり、彼は郷土の偉人として慕われている。トヨタ自動車の進出以降工場立地も進み農工商の調和ある発展をめざしている。赤羽根町は施設園芸を中心とした農業が盛んで、観光開発にも力を入れ、サーフィンの地として有名である。

森泰樹特別代表のもと、当初のメンバーは22名で発足し、田原町、赤羽根町、渥美町をテリトリーとする。創立10周年に当り、テリトリーを分け、スポンサークラブとして渥美町に渥美RCを設立する。創立15周年には、田原RACを設立する。田原RC5年史、10年史、20年史、30年史を刊行する。

奉仕のあゆみ

1988～'89年度に田原RC創立30周年に向けて、新クラブ設立のため拡大調査委員会が発足し、委員会は答申書を発表。'89～'90年度に新クラブ設立が決定される。'90～'91年度に新クラブとして田原パシフィックRCが設立され、'91年3月田原RC創立30周年記念式典と田原パシフィックRCの国際ロータリー加盟認証状伝達式が行われた。田原町福祉センターに田原RC創立30周年記念植樹をした。

'91～'92年度田原町在宅介護支援センターへ介護ベッド等を寄贈した。この年度以降毎

年田原パシフィックRCと合同で「権現の森」の清掃奉仕作業を行う。'93～'94年度空缶リサイクル運動を行う。'94～'95年度職業活動表彰で警察官等の表彰を行う。'95～'96年度田原RC創立35周年記念例会を行い、記念事業として、田原町立田原福祉専門学校へ絵画を寄贈また図書も寄贈した。さらに交通少年団に団服を寄贈した。'96～'97年度田原福祉専門学校へ図書を寄贈した。

特記すべき活動

1987～'88年度にIGFのホストクラブを務める。'92～'93年度には月一回、'93～'94年度よりは毎例会禁煙となった。

'95～'96年度に、'97～'98年度の地区大会のホストクラブを務めることが決定される。'97年11月8～9日、トヨタ自動車田原工場田原バースの豪華客船「飛鳥」船上と大会テント村を会場として、地区大会が盛大に開催された。

新入会員のため、「田原ロータリークラブの手引」を発行し、現在改訂第4版である。



1997～'98年度地区大会('97年11月8～9日)
トヨタ大駐車場より“飛鳥”を望む

豊橋南ロータリークラブ

〒440-0075

豊橋市花田町石塚42-1

豊橋商工会議所内

TEL (0532) 55-9329

FAX (0532) 53-6447

- ・創立年月日／1966年4月4日
- ・承認年月日／1966年5月12日
- ・スポンサークラブ／豊橋ロータリークラブ
- ・現会長／白井邦明
- ・現会員数／74名
- ・例会場・曜日／豊橋グランドホテル・月曜

地域やクラブの特色

バナーが象徴している「南」の文字は、1963年(昭和38年)に「工業整備特別地域」に指定された当クラブのテリトリーである豊橋市南部地域の発展と、当クラブの繁栄を願ってデザインされたものである。特に、神野埠頭の拡充整備は目覚ましく、欧米の自動車メーカーから、流通基地として注目されている。

1966年(昭和41年)4月4日、第360地区神野太郎ガバナーの「豊橋にもうひとつRCがあることが望ましい。」とのご発言を受けて、山口唯次特別代表のもと、21名のメンバーで創立。1996年(平成8年)4月8日に、石川和昌ガバナーをお迎えして創立30周年記念例会を開催した。1966年(昭和41年)創立以来、1971年(昭和46年)1月まで4年9ヶ月間出席率100%の無欠席記録を残した。

奉仕の歩み

1976年(昭和51年)創立10周年を記念して、フィリピン サンファンRCと交流を開始し、1980年(昭和55年)姉妹提携。以後クラブ及び会員がデンタルフィルム・レントゲン、血圧計、電子体温計、携帯用アンプ、スピーカー、マイクなどを寄贈。1986年(昭和61年)20周年にあたり、台湾 台北城北RCと姉妹提携。以降、台湾BSに無線機購入資金援助、城北RCと共同して、中国文盲撲滅運動に資金援助などをしている。又、韓国釜山直轄市にある慶星大学校に対しては、日本語学科、民俗

資料館を中心に15年にわたり、図書、資料、資料購入資金を寄贈。一方国内向けには、豊橋少年柔道大会などのスポンサーを長く努めている。

特記すべき活動

1989年(平成元年)5月28日地区協議会主催。1989年(平成元年)と1994年(平成6年)ソウルと台北で開催された国際年次大会に、24名と29名が登録。1996年(平成8年)4月8日創立30周年記念行事の一環として、中村英彦特別代表を中心に、豊橋東ロータリークラブを設立。特に、韓国晋州市とのBS相互訪問支援、少年国際サッカー戦、民族音楽(サムルノリ)はNHKと民放各社が放映)民族舞踊の招待公演、初等学校・中学校教育関係者交流の橋渡し、大学生の短期語学研修などの業績に対して、1996年(平成8年)6月17日に石川和昌ガバナーから“特別業績賞”を受けた。この交流の特色はRCと提携せず、独自に直接関係者と協議して行っている点である。



“特別業績賞”受賞式で祝辞を述べる
駐名古屋大韓民国総領事館 姜信武 総領事

新城ロータリークラブ

〒441-1326
新城市字中野15-10
新城市商工会館
TEL (05362) 3-2354
FAX (05362) 3-4844

- ・創立年月日／1967年4月28日
- ・承認年月日／1967年5月24日
- ・スポンサークラブ／豊橋北ロータリークラブ
- ・現会長／神本敏治
- ・現会員数／66名
- ・例会場・曜日／新城商工会館3F・金曜

地域やクラブの特色

伊那街道の宿場として栄えた(豊川下流の舟運と馬の背との中継地であることから山湊馬浪と言われた)新城市とその北側の高原地帶作手村、そして鳳来寺山・湯谷温泉・長篠城趾を擁する鳳来町とをテリトリーとする。地域の中心である新城市は工場団地もあり大学誘致の計画も進んでいるが区域全体としては過疎化傾向は免れず住民の平均年齢も高い。(管内人口約55,000人)

創立はライオンズに遅れること7年、親クラブから勧誘を受けた発起メンバーは大変な苦労をしたがチャーターメンバー22名で創立総会を行い、以後ライオンズクラブとの協調を保ちつつ着実に歩みを続けている。

奉仕の歩み

新城市桜渕公園内に花壇を寄付(認証状伝達式記念1968)、新城東高校庭に植込を寄付(5周年記念1972)、新城ガールスカウト発團を援助(10周年記念1977)、桜渕公園内に日時計を寄付(15周年記念1981)、中学生訪問団を韓国大邱市に派遣(1986、'89年以来大邱嶺南RCと協力して毎年中学生の相互訪問を実施)、新城市文化会館入口に市民憲章碑を寄付(20周年記念1987)、長篠城趾にアラモ砦のライブオークを植樹・建碑(25周年記念1992)、フィリピン・ミンドロ州に井戸掘資金を寄付(1994)、アメリカ・テキサス州アラモ砦ほかに桜を植樹(1995)、ロータリー杯少年サッカ

ー大会を開催・中国青島市城陽区にパソコン等を贈呈・桜渕公園ほかにしだれ桜を植樹・新城市民病院玄関前に石玉回転噴水を寄付(30周年記念1997)等。

特記すべき活動

豊川RCの勧誘を契機として1985年10月韓國の大邱嶺南RCと姉妹クラブ協約を締結、その後4回協約を更新し、毎年中学生の相互訪問の支援を兼ねて会員・夫人が往来し親善を深めている。

1914年に志賀重昂博士がアメリカ・テキサス州アラモ砦に建てた石碑に関して、知日家のマルギット・ネイジー博士(アワ・レディ・オブ・ザ・レイク大学教授)が1988年5月長篠城趾に来訪、籠城戦と決死の使者という似通った史実と75年前の日米友好親善の歴史を改めて認識し、以来急速にサンアントニオRC及びサンアントニオ日米協会との交流が深まった。現在長篠城趾ほかにアラモ砦のライブオークが、またアラモ砦には桜樹が植えられて生育中である。



韓国大邱市の中学生たちを新城へ迎える

渥美ロータリークラブ

〒441-3617

渥美郡渥美町大字福江字堂前50-6

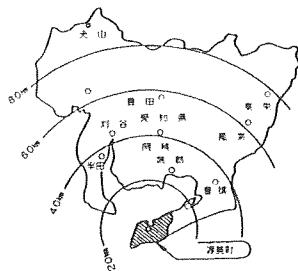
蒲郡信用金庫渥美支店内

TEL (05313) 3-0511

FAX (05313) 2-1251

- ・創立年月日／1969年4月21日
- ・承認年月日／1969年4月26日
- ・スポンサークラブ／田原ロータリークラブ
- ・現会長／小塚 篤
- ・現会員数／63名
- ・例会場・曜日／蒲郡信用金庫渥美支店2F・水曜
伊良湖ガーデンホテル(第2例会)

地域やクラブの特色



・人口・世帯数

人口：23,656人

世帯：5,796人

・会員の状況

正会員 47名

シニア会員 16名

名誉会員 1名

平均年齢 55才

('97年12月31日現在)

渥美町は愛知県の最南端、渥美半島の先端に位置し、平均気温15.7°Cで雪を見るのは稀である。恵まれた自然条件と豊川用水の水利、消費都市との立地条件にも恵まれ、農業は、高い営農意欲により、用水型畑作と施設園芸の推進を計り、電照菊・キャベツ・トマト・観葉鉢物等を主要産物として発展をしている。漁業はアサリ・のり養殖等、浅海漁業を中心として、捕る漁業から育てる漁業へと近代化を進め、鮮魚と共に水揚げも安定し、味の良さと質は消費地より高い評価を得ている。紺碧の大平原と緑豊かな大地、降り注ぐ太陽の光…この豊かな自然、そして先人の築いた歴史と遺産を背景にした観光も産業の柱となっている。

小田切がバナーの時、田原RCをスポンサークラブとして、特別代表故広中実之介君、蒲信渥美支店長河辺文治氏の尽力により、1969年4月21日創立総会。4月26日RI加盟承認。27名のチャーターメンバーで初代会長故木村

隼君。1999年には創立30周年を迎える。

奉仕の歩み

・寄付：交通安全反射バンド(老人会)、自転車反射ステッカー(中高生)、優勝旗・ドッジボール(子供会)、米山梅吉物語・教育テープ(小・中学校)。

・協賛、贊助、後援：環境美化・アツミまつり・トライアスロン(渥美町)、青年団、PTA、青研、福江高校ボランティア活動、チャリティーコンサート、老人ホーム慰問、子供会。

・その他：町内駐在所夫人・留学生慰問、記念植樹、町内花いっぱい運動、4つのテスト碑建立。標高標識盤設置、交通安全塔設置。

特記すべき活動

農村結婚対策委員会設立。福江高校全校生参加ボランティア活動設立促進と援助。奥三河RCと姉妹提携・親睦活動。親睦グループ19人会結成。

町行政活動・文化活動・地域活動には、組織或は会員が積極的に奉仕する広報活動の実践。



5月の例会にて 会員全員による530運動実施

奥三河ロータリークラブ

〒441-2301

北設楽郡設楽町大字田口字井戸入 6

TEL (05366) 2-1221

FAX (05366) 2-1221

- ・創立年月日／1970年5月16日
- ・承認年月日／1970年6月15日
- ・スポンサークラブ／豊橋北ロータリークラブ
- ・現会長／新木 守
- ・現会員数／43名
- ・例会場・曜日／奥三河総合センター・月曜

地域やクラブの特色

北設全域にわたっており、極めて広い地域で名古屋市の約2倍の面積である。極端に老令化が進んでいる。近年寒さを利用して、ハウス花栽培、トマト、愛知県下唯一の茶臼山スキー場、オートキャンプ場等いろいろな施設も増えて来ている。創立28年目、会員43名の小さなクラブである。

奉仕の歩み

1987~1991年の間毎年南山大学留学生を招待。1989年6月郡老人クラブへゲートボール優勝旗贈呈。1990年20周年記念行事で設楽警察署へ四輪駆動車贈る。1990年8月アメリカ、ラスキン小学校児童招待。1991年2月福祉功労者表彰。1992年2月設楽警察署6駐在所表彰。1994年から毎年郡中学校6校へ海外研修費援助。

特記すべき活動

1990年5月20日創立20周年記念例会。

20年のあゆみ(平成2年)発行。

1991年10月13日 三河第一分区・IM。於奥三河総合センター。

1992年5月11日 三河第一分区代理杯ゴルフコンペ。於名倉カントリークラブ。

1997年5月8日 スリランカに奥三河幼稚園寄贈。場所 スリランカ・ガンガラ・マハ・ビハラヤ。

未来を担う若い世代に貴重な体験をしこからの重要な教育活動の一環となるよう郡内6中学校へ海外旅行の援助を毎年行っている。



設楽町、町長へ海外援助金を渡す



スリランカ奥三河幼稚園完成



同上 開園式

豊川宝飯ロータリークラブ

〒442-8540

豊川市豊川町辺通4-4

豊川商工会議所会館内

TEL (0533) 86-2535

FAX (0533) 86-8889

・創立年月日／1985年12月24日

・承認年月日／1986年1月21日

・スポンサークラブ／豊川ロータリークラブ

・現会長／内藤泰通

・現会員数／66名

・例会場・曜日／豊川商工会議所・火曜

地域やクラブの特色

豊川宝飯は、豊川市と宝飯郡(小坂井・御津・音羽・一宮町)人口約17万人の地域である。その昔より「瑞穂の国」で知られ、なかでも御油・赤坂は東海道五十三次の宿場町として栄え現在も「御油の松並木」が保存され、市民の心の古里として親しまれている。

地域の中心には東名高速道路の豊川ICがあつて東三河の窓口となっており、旧豊川海軍工廠跡地に自動車・鉄道車両・電機・精密機器等多岐にわたる企業を誘致し、内陸工業都市として大きく変貌発展を遂げている。

また、日本三大稻荷の一つ豊川稻荷が観光の中心として栄えている。

当クラブは、1985年12月24日、福田浩三ガバナー、宮地信尚特別代表、スポンサークラブ豊川RCの皆様のお力添えで、チャーチメンバー39名にて創立、多くの方々の祝福と期待のなか、1986年5月10日にRI加盟認証状伝達式を挙行、豊川RCから移籍した小野光男初代会長は「皆で仲の良いクラブに」と提唱した。これは現在、会員の合言葉となり、掛け値ない友情の塙のような素晴らしいクラブとなっている。

奉仕の歩み

'87~'92年 一市四町へ歳末募金寄付 '88年
・市へゴミ籠と桜トンネルへ舗石、'89年・四町へゴミ籠・豊川地区BBS会への助成(継続事業)、'90年・市総合体育館へゴミ箱・ボーカスカウトヘント('92年も)、'91~'93

年・河川浄化のバイオコードの設置費用、'93年・社会福祉法人若竹荘へワープロ、養護施設へ自転車 '94年・保健所へ視聴覚備品、重度障害者センターへ洗濯機 '95年「COME BACK 仁王様市民の会」設立基金、警察署へビデオカメラ、距離測定器 '97年・音羽町教委へディスクゴルフゴルル、市社協へワープロ、授産所へ倉庫 '96年養護学校サッカー大会開催費用・授産所へ毛織機をそれぞれ寄付・寄贈した。

特記すべき活動

'89~'90年度青少年交換事業開始。'90~'91年度創立5周年、地区大会コホスト。'93~'94年度東三河IMホスト。'95~'96年度創立10周年・記念誌発行・記念事業「COME BACK 仁王様市民の会」設立、継続事業とする。

会員同士の親睦を重んじ、ロータリーの奉仕の理想に沿って各方面にわたり奉仕活動を行っている。特に環境問題、青少年交換活動に力を入れている。

また、地域に合った奉仕活動も行い、'98年秋頃には仁王様をお迎えする予定である。

我が豊川宝飯ロータリークラブの素晴らしい友情に、深い感動と喜びをもっている。



河川浄化の為に川にバイオコードを設置する会員

豊橋ゴールデンロータリークラブ

〒440-0075
豊橋市花田町石塚42-1
豊橋商工会議所内
TEL (0532) 53-3775
FAX (0532) 56-6006

- ・創立年月日／1988年10月28日
- ・承認年月日／1988年11月17日
- ・スポンサークラブ／豊橋ロータリークラブ
- ・現会長／山本六朗
- ・現会員数／82名
- ・例会場・曜日／ホリディ・インクラウンプラザ豊橋
金曜

地域やクラブの特色

豊橋市は、古くは東海道五十三次の宿場町として知られ、近年は、国道1号線、東名高速道路、東海道新幹線の通る東三河地方の中心都市として発展を続ける。将来には、渥美縦貫道、伊勢湾岸道路、三遠南信自動車道、第二東名高速道路と縦横に通じる道路が計画され、豊橋港の拡充と相まってさらなる発展が期待される。一方、気候が温暖で農業生産額は全国一位である。又、400年の歴史を誇るこの地域独特の手筒花火が有名である。

1988年(昭和63年)10月28日、高沢バストガバナーの要請により豊橋RCをスポンサークラブに河合圭吉氏を特別代表として、45名(平均年令45.8才)のチャーターメンバーで「黄金にかがやく、活力に満ちた仲間の集い」をスローガンに創立された。

奉仕の歩み

'90年5月 市民公開“環境シンポジウム”'93年マニラRCを通じ、フィリピン各自治体へ救急車・消防車を寄贈、'93年創立5周年記念事業として8月26日「東三河青少年環境サミット」開催、中学生250名一般150名が参加、'94年東三河全中学校へ、NHK制作の環境ビデオを寄贈、市内10校の公私立高校のボランティア・サークルを中心とした「ボランティア・ハート・ネットワーク」を結成、'95年「我らの天体、我らの地球、21世紀の子どもたちのために」シンポジウム開催、'96年市内小中学校へ「四つのテスト」

を記したカレンダーを配布、'97年環境保全の意識高揚に野依小学校へ環境図書を寄贈又、浜田川へ鯉を放流、青年海外協力隊員の要請により、ケニア・コモザイ地区の学校へ英語専門教室建設のための資金を援助、'98年環境保全活動の一環として、二川小学校へホタル飼育用器具を寄贈。

特記すべき活動

'89年3月19日、チャーターナイト 於ホリディイン豊橋、'93年10月、創立5周年記念例会、'95年2月インターミーティングホスト 於ホリディイン豊橋、'96年6月、RCC認証状伝達式 於ホリディイン豊橋、'96年12月、新世代のためのロータリー会議開催 於ホリディイン豊橋、'98年4月、第6回RYLAセミナーhoszt 於ホリディイン豊橋。

出席率状況 99.96% (過去10年間平均)

平均年齢 51.25才 ('97年6月現在)



'94~'95年度 当クラブがホストクラブとして行ったインターミーティング

田原パシフィックロータリークラブ

〒441-3421

渥美郡田原町大字田原字巴江12-1

TEL (05312) 2-5955

FAX (05312) 2-7120

・創立年月日／1990年7月24日

・承認年月日／1990年8月20日

・スポンサークラブ／田原ロータリークラブ

・現会長／河合正幸

・現会員数／76名

・例会場・曜日／華山会館・火曜

地域やクラブの特色

渥美半島の中東部を占める田原町赤羽根町を区域とし、この地域二番目のロータリークラブとして 1990年7月24日設立、RI加盟承認同年8月20日、認証状伝達式1991年3月23日、チャーターメンバー41名 創立時第276地区ガバナー 中村繁男君 特別代表柴田敏之君 スポンサークラブ 田原RC 例会日 毎週火曜日 例会時間 18時30分～19時30分 区域人口は43,113人である。

田原町は渥美半島の東部に位置し、城下町として栄えました。幕末の先覚者、渡辺隼山自刃の地としても知られている。近年臨海工業団地の埋立てによりトヨタ自動車をはじめ、多くの工場が進出し、大きな変貌を遂げつつあり、現在農、工、商の調和のとれた町づくりを進めている。赤羽根町は田原町の南西太平洋岸に位置し、気候温暖、温室園芸を中心とした農業、畜産業が盛んで、一戸当たり農業収入は全国でもトップクラスである。また太平洋の景観は素晴らしい観光にも力を入れている。この様な地域と区域人口のなかで地域2番目の若いクラブであり、初代会長より継承されている、楽しく、若々しく、積極的、活力あるクラブである。

奉仕の歩み

1990年 日本の松の緑を守る会 寄付

1992年 鯉の放流、1000匹 1993年 汐川干涸の野鳥図作成 地域贈呈 1994～'95年

海ガメの寄る海岸 看板贈呈等地域と密接な関係を保ちながら各種贈呈、寄付を行っている。

特記すべき活動

'95～'96 東三河IM開催 1996年3月

'97～'98 地区大会 COクラブとして親睦ゴルフ大会、企画、運営、伊良湖SSC。

現在の会員の状況

正会員 71名 シニアアクティブ会員 5名

名誉会員 1名 合計77名 出席率状況

98.10% 平均年令 50.92才

会員相互の親睦を深め、会員自身にはきびしく、他人にはやさしく、地域の人達、行政等密接な関係を保ちつつ、楽しい例会運営を目指し、活力あるロータリークラブを目標としている。



I.M風景 '97.3

豊橋東ロータリークラブ

〒440-0075
豊橋市花田町石塚42-1
豊橋商工会議所内
TEL (0532) 56-8566
FAX (0532) 53-6447

- ・創立年月日／1996年1月24日
- ・承認年月日／1996年2月6日
- ・スポンサークラブ／豊橋南ロータリークラブ
- ・現会長／西 義雄
- ・現会員数／40名
- ・例会場・曜日／豊橋グランドホテル・水曜

地域やクラブの特色

愛知県東部に位置する豊橋市はかつて発達した蚕糸業はすっかり影をひそめ、豊橋港や三河湾に造成された臨海工業地域では自動車、木材加工などを中心に工業化が進んでいる。特に自動車の輸入は、現在わが国で最大の輸入港としてランクされている。

1996年(平成8年)2月14日、豊橋南RC創立30周年記念事業として、RIや石川和昌ガバナーの拡大の指導のもとに22名の移籍を含め30名の創立会員でスタートした。地区内74番目のクラブであり、地域に密着した若々しい躍動感に溢れたクラブである。

奉仕の歩み

クラブ創立の精神として「青少年を対象として教育・スポーツ活動を通して国際交流を計り世界平和に貢献する」を目標に掲げ、一歩一歩努力を積み重ね、現在第二期を経過している。変わり行くロータリーとして、青年活動・国際交流を柱として地域社会に密着した奉仕活動を行っている。

また、ロータリーの理想と友情、団結をモットーに人間性豊かなクラブをめざし、奉仕の理想に向かって着実に進んでいる。

創造期であるため、親睦と出席を重点目標としてクラブ運営を行い、現在出席率は100%を維持し継続している。これを半永久的に維持すべく全員で努力している。また、平均年令が52才と若く、会員増強も活発に行

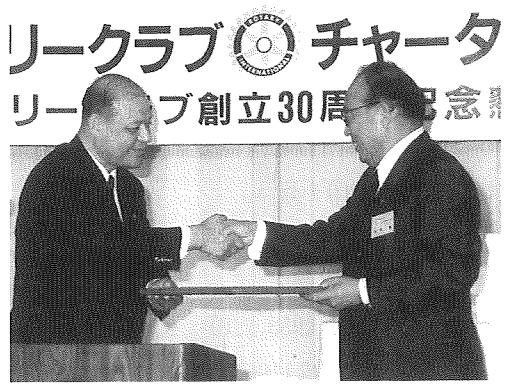
っている。

特記すべき活動

クラブ創立の精神としての青少年を対象とした教育・スポーツ活動は次の三事業を中心に行なっている。

- (1)韓国中央大学校の教授・学生を夏期に招聘し、ホームステイにより日本やこの地域の文化、歴史、風俗などを理解してもらい、愛知大学との交流を行なっている。
- (2)豊橋市小学生サッカー大会に優勝旗を寄贈し、少年の健全育成と体位向上やサッカertechniqueの発展のために援助している。
- (3)韓国晋州市のボーイスカウトと豊橋市のボーイスカウトの隔年の相互遠征活動に協力し、日韓青少年活動を通して国際交流を行い、両国の理解を深めるよう協力している。

今後は更に地域の青少年の健全育成と国際交流の輪を広げ、活発な奉仕活動を展開すべく努力する。



1996年4月8日 チャーターナイト 石川和昌ガバナーより、鈴木薰初代会長へ認証状を伝達。

岡崎ロークリークラブ

〒444-0059

岡崎市康生通西3-15-7

西三河総合ビル6階

TEL (0564) 23-3630

FAX (0564) 21-4524

- ・創立年月日／1951年6月8日
- ・承認年月日／1951年6月18日
- ・スポンサークラブ／名古屋・豊橋ロークリークラブ
- ・現会長／伊藤公正
- ・現会員数／125名
- ・例会場・曜日／名鉄岡崎ホテル・水曜

地域やクラブの特色

徳川家康公の生誕地、三河武士発祥の地として歴史と伝統に育まれ、古くから東西交通の要衝として栄え、伝統工業の織維、石製品等の地場産業と輸送用機械器具関連を中心とした、近代工業が商業と調和を保ちながら発展を続けている。

1951年(昭和26年)6月8日、豊橋・名古屋両スポンサークラブの指導により、チャーチメンバーメンバー25名で発足、創立当時、深田三太夫会長の掲げた「和やかにして風格のあるクラブ」を理想に今年47を迎えた伝統あるクラブである。

奉仕の歩み

当クラブの歴史の中で三度に渡り「意義ある業績賞」を受賞。市制60周年に当たる'76年には創立25周年を迎え、岡崎公園に岡崎市民憲章碑を建立寄贈。市制70周年に当たる、'86年には当クラブの35周年の記念事業の一環として「おかざき世界子供美術館」へ田島征三画伯の「子供の絵本原画」16点を寄贈。'96年には当クラブ45周年記念として米国カリフォルニア州のエルカミノ・リアルRCと姉妹提携の調印を行う。

特記すべき活動

安城RC結成(1958.2.6) ICGF(1958.11.

16) 豊田RC結成(1961.1.24) 岡崎南RC結成(1965.5.8) 地区協議会(1968.6.23) 岡

崎RAC認証状伝達式(1970.11.30) 岡崎IAC認証状伝達式(1972.2.19) 年次大会(1972.10.20~10.22) 岡崎東RC結成(1974.5.3) 三河第二分区ICG(1975.2.16) 三河第二分区IM(1993.2.27)

出席率状況 99.86% 平均年齢 59.54才
ロークリー財團・米山寄付状況

ロークリー財團

ポールハリス・準フェロー数 56名 ポールハリス・フェロー数 46名 マルチブル・ポールハリスフェロー数 24名 ベネファクター数 5名

米山記念奨学金

米山功労者数 23名 米山ファンドエロー数 26名 準米山功労者数 51名

岡崎RC奨学基金制度(1979年)当クラブ独自の制度である。本年度は福祉専門学校介護福祉士養成の為、奨学生3名の奨学金助成を行う。



1995.7.13 エルカミノ・リアルRCと姉妹提携調印式

豊田ロータリークラブ

〒471-0034
豊田市小坂本町1-4-12
TEL (0565) 32-5555
FAX (0565) 32-5559

- ・創立年月日／1960年10月28日
- ・承認年月日／1961年1月24日
- ・スポンサークラブ／岡崎ロータリークラブ
- ・現会長／永野邦夫
- ・現会員数／98名
- ・例会場・曜日／ホテル豊田キャッスル・木曜

地域やクラブの特色

現在の豊田市は古くは繭、絹の生産地として栄えた舉母(衣)の地であった。1938年、トヨタ自動車株進出により一大自動車産業の町となり、共に発展し、1959年1月1日、町の名称も豊田市となり、典型的な企業城下町に変貌した地域である。

豊田ロータリークラブは本年38年目を迎え現在95名のメンバーで37年の歴史と伝統を尊重し、老、壯、青と年齢をこえて、様々な奉仕活動を展開している。

奉仕の歩み

1990年、創立30周年式典を開催する。
30周年記念事業として、下記の団体に寄付を行った。

- ・豊田市並びに国際交流協会経由で、ロンドン国際留学生会館に 200万円寄付。
- ・豊田市土橋公園に植樹寄付 90万円。
- ・ロータリー財団 30万円寄付。
- ・米山奨学生基金 30万円寄付。
- ・社会福祉法人愛知玉葉会 梅ヶ丘学園 150万円寄付。
- ・社会福祉法人豊田光の里 50万円寄付。
- ・財団法人世界自然保護基金 50万円寄付。

現在は継続事業として、下記の支援活動を開催している。

- ・社会奉仕委員会

精神障害者施設、豊田市こども発達センター“ひまわり”に年2回慰問(七夕・クリ

スマス)。

- ・国際奉仕委員会
米山奨学生の受け入れ。
- ・青少年活動委員会
インターネットクラブ支援。

特記すべき活動

1980年、創立20周年記念事業として、提案主催をした豊田マラソン大会。

上記マラソン大会は、17年間の長期に亘り、継承され、現在クラブとして、財政支援活動を行っている。ロータリー活動の原点の一つである親睦活動も積極的に展開している。

- ・定例例会を変更し、家族例会や、観光を兼ねての出張例会、又、各種同好会活動も支援。(野球、ゴルフ、囲碁等)

年齢のギャップを越えた活動を重視し、明るく楽しいクラブ運営を目指している。

当クラブは西暦2000年に40周年を迎える。今後地域からより一層信頼されるクラブとして、精進努力する所存である。



豊田市こども発達センター“ひまわり”慰問

岡崎南ロータリークラブ

〒444-0059

岡崎市康生通西3-15-7

西三河総合ビル3階

TEL (0564) 25-4437

FAX (0564) 25-0008

地域やクラブの特色

愛知県のほぼ中心に位置し、市の東部と北部には緑豊かな山々が連なり、南部と西部は矢作川流域の平野部となっており地名の由来の一説になっている「丘の先」に相応しい変化に富んだ地域であり、奈良時代以降の名所・旧跡を大切にし、伝統産業である繊維、石工、味噌等を守りながら、近年は自動車、化学、電機関連の工業と古くからの商業の中心地として西三河発展の中核となる地域である。

1964年(昭和39年)5月8日、岡崎RCの提唱により特別代表を早川久右衛門君としてチャーターメンバー36名で誕生した。

以来、地域へは約6千本の樹木の寄贈、岡崎国立共同研究機構(国研)との交流、青少年へは「体育振興基金」の設置、国際的にはニューポート・バルボアRC(米国)との姉妹クラブ提携をきっかけにした両市の姉妹都市提携とユニークな活動を活発に展開してきており、さらに当クラブから故加藤Gと故中村Gが選出されていることも会員の誇りである。

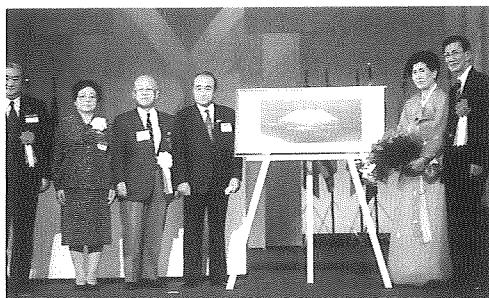
奉仕の歩み 特記すべき活動

・'87~'88 青少年体育振興基金に対し、内閣総理大臣より紺綏褒賞を受賞。

・'88~'89 創立25周年記念として、国研他の外国人のための「岡崎で暮らすためのガイドブック<KEY>のNO2」贈呈。ニューポートビーチ市へ雪見灯籠贈呈。岡崎城南RCの提唱。

- ・創立年月日／1964年5月8日
- ・承認年月日／1964年11月12日
- ・スポンサークラブ／岡崎ロータリークラブ
- ・現会長／都築 齊
- ・現会員数／115名
- ・例会場・曜日／名鉄岡崎ホテル12F・金曜

- ・'89~'90 岡崎城南RCの認証状伝達式。
 - ・'90~'91 中村繁男ガバナー。
 - ・'91~'92 日本で初めての光活性固体国際会議(於岡崎)への協力。
 - ・'93~'94 地区大会のホスト。創立30周年記念で、各分野へ約六百万円を寄付。
 - ・'94~'95 国研の分子科学研究所20周年記念式典。
 - ・'95~'96 加藤正男分区代理。IMの主管。
 - ・'96~'97 WCS活動として韓国の「ナザレ園」への親善訪問。
- 等々と、他に例のない体育振興委員会、海外交流委員会、国研交流委員会の三特別委員会の歴史ある活動を誇りにしながら、いわゆるロータリーの四大奉仕活動についても積極的に、また継続的に取り組んできている。
- また、ロータリーは単年制であるがクラブの運営方針・奉仕活動方針がその都度変わつてはならないので会長経験者と幹事経験者の各数名づつで構成される「長期ビジョン協議会」があり、常に中長期的にクラブの方向・指針を議論する場として確認してきている。



'93~'94地区大会 RI会長代理金一ご夫妻に山内一生氏(豊田RC)の「赤富士」を宮地ガバナーから贈呈

豊田西ロータリークラブ

〒471-0856

豊田市衣ヶ原3-1

豊田市鉄工団地協同組合内

TEL (0565) 33-1717

FAX (0565) 33-6331

- ・創立年月日／1970年8月24日
- ・承認年月日／1970年9月1日
- ・スポンサークラブ／豊田ロータリークラブ
- ・現会長／稻熊昭彦
- ・現会員数／104名
- ・例会場・曜日／ホテル豊田キャッスル・月曜

地域やクラブの特色

豊田市は古くは“藪”の集散地として繁栄したが、'37年のトヨタ自動車の企業進出による自動車を中心とした工業都市として大きく変容した。平野部から山間部に至るまで変化に富んだ地形を有し、矢作川などの豊かな水や多くの緑に恵まれ、歴史的な面影を残しながらも“くるまのまち”としていまや世界のトヨタ市でもある。このような背景のもとで当クラブも“産業文化都市”としての特性を日夜発展向上させるべく懸命の努力をしている。当クラブは豊田RCをスポンサーとして'70年に29名もって発足以来既に4半世紀以上の歴史を持つに至った。近年の会員数は常に100余名を擁している。

奉仕の歩み

当期間中地域に寄与するクラブの奉仕活動としては、'87年のオイスカ研修センターに記念植樹をしたのをはじめ'88年老人ホームへの劇団公演慰問を、'89年にはクラブ創立20周年記念事業として猿投公園への植樹など、青少年の健全育成や社会福祉事業への協力は毎年実施されている。中でも豊田市、三好町の図書館への青少年向けの図書の寄贈は10年来続いている。

一方、国際都市としてのクラブ活動としては、'87年にフィリピン・マニラ市へ消防車を、'91年には救急車を寄贈した。又'89年をスタートとして爾来今日に至るまで毎年スリランカ・コロンボミッドシティRCを通じて

多数の医療器具の寄贈を行ない、現地医療機関から大いに感謝されている。更には'96年にはスリランカに親善訪問団を派遣、救急車1台と医療器具を寄贈、あわせてこれまでに贈った医療器具の活用状況をつぶさに視察し今後に対応するとともに、新たにコロンボ市に豊田西RC奨学基金を創設するなど多彩な活動を展開している。

特記すべき活動

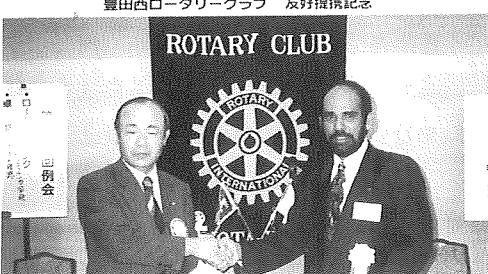
三好に新クラブ創立

最近のクラブ10年の歩みの中で特筆すべき出来事は豊田三好RCの創設である。'90年我が西RCの20周年を記念し、テリトリーを豊田西RCと共有する新クラブとして三好地区を基盤に創設を図った。三好RCは26名ながら調和のとれた職業分類と48才余という新進気鋭のメンバーもって発足した。この時西RCからは5名の移籍者を力強く送り出した。

“奉仕の理想を実現するためへの限りなき拡大”の意図が充分に果たされた。三好RCの活動発展に心からのエールを贈りたい。

コロンボミッドシティ ロータリークラブ

友好歓迎例会



コロンボRCとの親善例会

岡崎東ロータリークラブ

〒444-0059

岡崎市康生通西3-15-7

西三河総合ビル6階611号室

TEL (0564) 23-3065

FAX (0564) 26-2085

- ・創立年月日／1973年4月20日
- ・承認年月日／1973年5月2日
- ・スポンサークラブ／岡崎ロータリークラブ
- ・現会長／足立汎和
- ・現会員数／101名
- ・例会場・曜日／名鉄岡崎ホテル12F・木曜

地域やクラブの特色

当クラブは、1973年(昭和48年)4月20日岡崎RCの20周年記念行事の一つとして、岡崎RCがスポンサークラブとなり故中西正雄特別代表のもと、親クラブからの移籍者もなく、全員が新会員のみ26名のチャーターメンバーにより岡崎第三のクラブとして創立した。

会員相互が同列同等としてスタートしたこともあり、クラブ内の親密感が強く、社交、親睦の雰囲気が濃く、気楽なところから、当クラブへのメキキャップ者が格別多い。

なお、例会開催前のBGMやロータリーソングの伴奏は会員のアコーディオンによる生演奏で盛り上げている。

奉仕の歩み

福祉の村へ身体障害者用木製遊具の寄贈('88年)、岡崎少年野球秋季大会に優勝旗贈呈('87年)、岡崎城大手門に三河黒松植樹('93年)、光ヶ丘女子高IACへ骨髄バンク紹介冊子「凍った炎」5000冊贈呈('93年)、岡崎中央総合公園へ冬桜植樹('97年)なお、環境保全の継続事業として、額田町立形埜小学校河川水質検査に対する助成、岡崎市立河合中学校岡崎ゲンジボタル育成に対する助成を1977年以来行い、「96~'97年からRCC設立とその活動として岡崎軟式野球協会少年野球部育成に対する助成を行っている。

特記すべき活動

クラブ創立15周年記念式典('88年)、WCS協力('87~'88年)、姉妹クラブ松本東クラブと合同親睦例会('91年)、地区協議会ホスト('91年)、韓国橋門RC表敬訪問・友好クラブ仮調印('91年)、青少年交換学生(アンディ)受入('91~'92年)、クラブ創立20周年記念式典('93年)、「20年の歩み」発行('93年)、光ヶ丘女子高校インターラクトクラブ設立('93年)、地区第1回RYLA開催ホスト('93年)、三河第一分区IMホスト('94年)、西三河第一分区代理(成田敏園)就任('93~'94年)、西三河第一分区懇親ゴルフ大会ホスト('95年)、青少年交換学生(河合舞)派遣('94~'95年)、青少年交換学生(大汐剛、河野峰荷)派遣・(サッサキトカ)受入('95~'96年)、R財団奨学生(伊津野知多)派遣('95~'96年)、米山奨学生(周兆良)世話クラブ('96~'98年)、新世代のためのロータリー会議ホスト('96年)、RCC設立・認証状伝達式('97年)



岡崎少年野球秋季大会 ロータリー旗授与

豊田東ロータリークラブ

〒470-0024

豊田市元城町1-61

日東ビル3F1号室

TEL (0565) 34-4333

FAX (0565) 34-4381

- ・創立年月日／1980年5月7日
- ・承認年月日／1980年6月1日
- ・スポンサークラブ／豊田ロータリークラブ
- ・現会長／林 恒夫
- ・現会員数／99名
- ・例会場・曜日／ホテル豊田キャッスル・水曜

地域やクラブの特色

当クラブは西三河第一分区内にあって、地理的にはその最北端に位置する。靈山猿投山・六所・炮烙山を背にし、清流矢作・巴川の一級河川の上流部にあって山紫水明。田園都市の中の世界に冠たる業界の雄、トヨタ自動車の本社に隣接する。産業分野を見れば、確かに輸送機器に代表される第二次産業が突出しているが、第一次の農林業、鉱業、観光業を含む第三次産業もそれなりに、その存在をアピールしている。これら事業や専門職を代表するメンバー99名の平均年令は56才。クラブ内同好会の活動も活発で、ゴルフ、野球の実績はすでに周知の事実。川瀬保ガバナー年度に創立総会を豊田RCのスポンサーで、寺田勝一特別代表のご指導のもとに挙行。

奉仕の歩み

先述した地勢学上、下流域住民に対する責務として、'88~'89年度当クラブ主管のIGFで、水質浄化等の環境問題を取り上げて以来毎年何らかの形で取り組んでいる。創立10周年記念事業として、地域の交通安全等の啓蒙活動に資するために豊田・足助両警察署に広報車を寄贈。更に15周年は阪神淡路大震災に100万円を義援金にあて記念事業は記念誌発行にとどめた。心身に障害のある年少者には、彼等の奥深くにある喜怒哀楽の琴線を奏るために小動物と戯れて貰い、また年長者にはかつてのメンバーである塙田画伯にお願いし

て絵画教室を連年開催すること十数余年。「新世代」に対しては豊田東RC杯争奪軟式少年野球大会を主催。4回目の今年は名古屋、安城、高浜市等からも参加があって31チームが競った。私論ではあるが、地区事業にして「ナゴヤドームで彼等にプレーをさせてやれたら」と思う。毎年5月、新緑まばゆい足助村に地区内でホームスティしている高校生を招待して、山林の古き佳き時代を地元の中高生と共に体験して貰う交歓会も久しく続いている。米山奨学生については、二人目の王絹さんを現在お預りしている。

特記すべき活動

過去、IGF及びIMを2回主管。昨年のIMは、NHK名古屋の看板番組「中学生の日記」のチーフプロデューサー大久保晋作氏の“映像とトーク”。参加者に多大な感銘を与えて、懇親会の最後まで数多の会員を足留めさせた当クラブのヤングパワーの発想・企画・演出力に、他のメンバーが積極的に協力して成功に導いた“核融合反応”に明日が…



足助町で交換学生の集い

岡崎城南ロータリークラブ

〒444-0052

岡崎市康生町515-33

岡崎ニューグランドホテル内

TEL (0564) 26-2666

FAX (0564) 26-2667

- ・創立年月日／1989年3月7日
- ・承認年月日／1989年3月22日
- ・スポンサークラブ／岡崎城南ロータリークラブ
- ・現会長／宮島好弘
- ・現会員数／79名
- ・例会場・曜日／岡崎ニューグランドホテル・火曜

地域やクラブの特色

岡崎市は近年、西三河の中核都市としての町作りが官財民一体となり活発に推進され、情報センターの建設を柱にマルチメディアに先進的に取組み又美術博物館においては各種の文化芸術の展示会が常催されている。

さらに市内各所に大型ショッピングセンターが開業し近隣市町村の方々が訪れやすい町となっている。

当クラブは名の如く徳川家康ゆかりの岡崎城の南に例会場を持つ市内4番目に創立されたRCで、岡崎南RCを親クラブとして1989年3月に設立された。故中村繁男特別代表のもと移籍ロータリアンの無い総て新人ばかりの当地区最初の夜間例会のクラブとして、当初平均年齢46.2才の51名の若い会員でクラブの運営を始めた。全会員が同じスタートラインからロータリーを学び実践するという真に得難き環境を与えられ、「楽しく規律ある例会づくり」を目標に会員全員が同じ意識で、クラブとしてのあらゆる面での向上を目指して努力している。

奉仕の歩み

〔クラブ奉仕〕'94～'95年度より毎年度一泊例会を実施し多数の会員の参加により親睦を深めている。〔職業奉仕〕毎年度職場例会開催の折、各事業所の優良従業員に対し表彰を行っている。〔社会奉仕〕毎年度岡崎市の主催する早朝草刈りに全会員が参加し、地域

の美化運動に参加している。'91～'92年度に幸田町北部中学校に緑化木寄贈。'93～'94年度に岡崎盲学校記念事業寄付。〔国際奉仕〕'91～'92年度から5年間、青少年交換学生の派遣受け入れを行った。'94～'95年度から米山奨学生を受け入れている。〔青少年活動〕'93～'94年度から岡崎RACの共同提唱クラブとなる。

特記すべき活動

1989～'90年度に同じクラブ名を持つ福島県の会津若松城南RCと姉妹提携を行い、互いのクラブの周年記念には相互に訪問をし合い友好を深めている。'93～'94年度には2760地区地区大会が岡崎で開催され、親クラブの岡崎南RCのコ・ホストクラブとして参画した。'94～'95年度に開催された愛知国体の折に、岡崎地区実施競技の運営の協力を行った。'97～'98年度に青少年の健全育成を願い、岡崎軟式野球大会の優勝旗を寄贈した。又、同年度において西三河第一分区代理を輩出し、当分区IMのホストクラブとして開催を準備中である。



1997.10 岡崎軟式野球協会へ優勝旗寄贈

豊田三好ロータリークラブ

〒470-0224

西加茂郡三好町大字三好字大慈山2-11

保田ヶ池センター内

TEL (05613) 4-2251

FAX (05613) 4-5477

- ・創立年月日／1990年5月28日
- ・承認年月日／1990年6月19日
- ・スponサークラブ／豊田西ロータリークラブ
- ・現会長／田岡鉄郎
- ・現会員数／35名
- ・例会場・曜日／三好町保田ヶ池センター・月曜

地域やクラブの特色

三好町は、愛知県のほぼ中央にあって、恵まれた自然環境と名古屋市の近郊という立地条件の中で「豊かで調和のとれたかおり高い文化のまち」をめざして町創りがおこなわれている青年都市である。

1958年町制施行以来、純農村から積極的な工場誘致政策と都市基盤の整備、そして生活環境、健康と福祉、教育と文化の向上に取組み21世紀に向けて大きく羽ばたこうとしている町である。

当クラブは1990年5月28日、豊田西RCをスponサークラブ、野々山鍾治氏を特別代表として26名で発足し、本年で8年目を迎える若いクラブである。クラブの特色は何といっても「和」である。少人数でもまとまりが良く会員の絆が強いことは、訪れたビジターからよく聞かされる。この伝統は今後も大切に受け継がれてゆくであろう。

奉仕の歩み

設立当初は、数人のキーメンバーとロータリー用語も知らない新会員が右往左往しながら「何を為すのか？」と戸惑いながらの活動であった。しかしながら、アメリカ・コロンバスRCとの姉妹提携や同クラブとの青少年交換、フィリピン・タイへの合計7台の消防自動車の寄贈、友好関係にある南米ウルグアイ・パレルモRCへの消防車・救急車の寄贈等グローバルな活動が地道に続けられてきた。

また、ロータリー財団活動には特に力を注ぎ、ベネファクター2名、マルチブルフェロー4名、ポールハリスフェロー25名、準フェロー25名を数えるに至っている。

一方、地域社会への奉仕にも力を入れ、町立図書館への書籍の寄贈や環境問題への取組み、福祉施設への備品の寄贈、町制40周年記念事業への参加等多岐にわたる活動が展開されている。

特記すべき活動

1995年5月29日、創立5周年記念例会を開催、同時に「5周年記念誌」(400ページ)を発行。例会出席率は年間平均して常に98%以上を確保。

昨年ウルグアイ・パレルモRCに寄贈した救急車は、同クラブを通じて国家消防庁に贈られ、インターネットで全世界に発信された。(参考)<http://www.netgate.com.uy/rotary/palermo>

なお、創立以来2760地区野球大会の幹事クラブとして毎年お世話をさせていただいていることも付記しておきたい。



例会風景

刈谷ロータリークラブ

〒448-0843

刈谷市新栄町3-26

刈谷商工会議所内

TEL (0566) 22-2111

FAX (0566) 25-2111

- ・創立年月日／1954年3月8日
- ・承認年月日／1954年3月30日
- ・スポンサークラブ／名古屋ロータリークラブ
- ・現会長／竹内一正
- ・現会員数／94名
- ・例会場・曜日／刈谷商工会議所・月曜

地域やクラブの特色

刈谷市は愛知県のほぼ中央に位置し、南北に細長い地形で、市の歴史は縄文時代より始まったと言われ、多くの貝塚遺跡が発掘されている。松平竹千代(後の徳川家康)の生母「於大の方」の地としても有名である。自動車関連産業の目ざましい発展に伴い、西三河内陸工業地帯の中核都市となり、豊田自動織機・デンソー・アイシン・トヨタ車体・豊田工機などの本社がある。この地で刈谷RCは「人にやさしい快適産業都市」の実現をめざし、ロータリー活動を展開している。

創立は1954年(昭和29年)名古屋RCのスポンサーのもと、24名のチャーターメンバーにて設立され、本年度44年を迎えている。“明るく楽しいクラブ”が刈谷RCのモットーで、夕食例会、Xマス家族例会、観劇家族例会、花見例会などをおこない、会員相互の親睦を深めている。又各委員会の運営マニュアルが整備され、委員会の引継が大変うまくおこなわれているのも特長である。

奉仕の歩み

《毎年実施の奉仕活動》

- ・刈谷駅周辺の530実施活動を年2回全会員にて実施、又刈谷市530推進連に協力。
- ・優秀職業人の表彰事業、本年度は警察官。
- ・赤い羽根、歳末たすけあい募金に協力。
- ・緑化推進のため、市教育委員会と連携して、市内小中学校への植樹を実施。
- ・刈谷市図書館にロータリー文庫を設置し毎

年、写真集を主とした図書を寄贈。

- ・重度心身障害者施設「光の家」主催のバザーに対して全面協力。
- ・WCS活動として、フィリピン・ダバオRCの緑化ニームツリー・プロジェクトに協力、本年度までに45,000本を植樹。
- ・刈谷市「わんさか祭り」ロータリーイベント開催。
- ・商工会議所、観光協会、ボイスカウト、文化協会など各種団体に協賛。

特記すべき活動

- ・5周年毎に記念誌発行
- ・1988~'89年度第2760地区大会をホスト。大会記録誌発行。
- ・1990~'91年度第2760地区三河第二分区IMホスト。
- ・40周年記念事業として、鎌倉街道・曙庵の2つの石碑建立。
- ・1996~'97年度第5回ロータリー青少年指導者養成セミナー(ライラ)をホスト。出席率4年連続100%。平均年令59.6才。



530実践運動

安城ロータリークラブ

〒446-0032

安城市御幸本町15-1

碧海信用金庫本店 3F

TEL (0566) 75-8866

FAX (0566) 74-5678

- ・創立年月日／1958年1月10日
- ・承認年月日／1958年2月6日
- ・スポンサークラブ／岡崎ロータリークラブ
- ・現会長／杉浦 實
- ・現会員数／95名
- ・例会場・曜日／碧海信用金庫本店3F・金曜

地域やクラブの特色

安城市は愛知県のほぼ中央に位置し、早くから明治用水の恵みを受け、先進的な農業地帯として発展、その後も自動車関連企業などの誘致による工業の振興、新しい街づくりと共に商業の進展が図られ、近年では新幹線三河安城駅が開業し、又、産業文化公園デンパークが開園されるなど西三河の中核都市として発展している。

クラブの沿革

1957年10月、岡崎ロータリークラブ田口代表より安城にロータリークラブをのお話があり、23名の同志を得、田口宗平特別代表、石原勝一会長のもと、1958年2月6日国際ロータリークラブ加盟の承認を受けスタートした。

奉仕の歩み

市内小中学校への教育施設・器具の寄贈。福祉施設の慰問・寄贈はクラブ設立当初から続けてきている。緑化事業、ロータリー文庫の設置充実など数多くの社会奉仕に貢献し、地域からも評価を得ている。10周年にはブロンズ像を市へ寄贈。15周年にも「超我の奉仕」石碑を、20周年は市内の公園に四阿(あづまや)を寄贈。25周年ではスポーツ少年団へ優勝旗を、30周年は市民憲章碑をJR安城駅前に設置した。35周年には富永一朗氏の絵を市と福祉施設へ寄贈。本年40周年、デンパークへ木製人形を贈り見学者の目を楽しませてくれている。

特記すべき活動

油ヶ淵浄化活動は環境保全活動の先取りとして永く取り組んでいる。

30周年を記念してアメリカ・ハンチントンビーチRCと姉妹クラブ結縁。

40周年では安城ロータリー地域共同隊を設立(少年野球指導者を対象)。

1977~'78年度安城学園インターラクトクラブの認証状伝達を得て活発な活動をスタートした。

1978~'79年度IGFを主管

1994~'95年度IMを主管

1984~'85年度IAC協議会を主管

1996~'97年度IAC協議会を主管

40周年の歴史の中で分区代理を3名輩出している。

出席率(過去3年)96.3%

平均年令 59.7才



'97年10月創立40周年記念事業としてRCC設立

西尾ロータリークラブ

〒445-0854
西尾市永楽町3-52
東海銀行西尾支店内
TEL (0563) 54-7770
FAX (0563) 54-7050

地域やクラブの特色

西尾市は西三河南部の中心に位置し、江戸時代には6万石の城下町として豊橋、岡崎と並び栄えてきた。その後、明治から昭和にかけ伝統産業としての繊維、铸物業が盛んとなり、また碾茶(抹茶)の生産は全国1位を占めている。さらに近年では自動車関連産業が順調な発展をとげている。

1958年(昭和33年)2月24日、蒲郡RC清水特別代表、他4名が来西し西尾RC設立の準備に入った。同年5月6日創立総会が開催されチャーターメンバー34名で西尾RCが発足した。現在その34名の内在籍者は杉浦義夫氏、高木昌一氏のわずか2名のみとなった。

奉仕の歩み

'86年西尾市中学生海外派遣の助成、'87年老人ホーム西尾寮に搬送車贈呈、'88年西尾幡豆安全協議会へパソコン贈呈、'91年寝たきり頭髪洗浄ができる器具贈呈、'93年環境保全事業として住吉公園に楠ノ木植林、'96年西尾歴史公園へ大規模な藤棚を贈呈した。以上の他、年々各方面に各種の多額の寄附を行い積極的に奉仕活動をしている。

特記すべき活動

5周年('64年8月)、10周年(作文集私の将来)、15周年('73年10月9日)、20周年('78年8月13日)、25周年('83年6月30日)、30周年('88年8月30日)、35周年('93年6月30日)を

- ・創立年月日／1958年5月6日
- ・承認年月日／1958年6月13日
- ・スポンサークラブ／蒲郡ロータリークラブ
- ・現会長／岡田四郎
- ・現会員数／75名
- ・例会場・曜日／東海銀行西尾支店2F・火曜

発行した。

'61年第1回奨学金を交付した。'73年第1回教育文化賞、教育文化奨励賞を授与した。'81年4月IGF西尾RCホストにより開催した。'94年3月26日IM西尾RCホストにより開催した。中瀬南ロータリークラブ(台湾)と友好提携している。

'95年11月7日教育文化賞を永谷由美さんに授与した。由美さんは筋肉性の難病のために幼い頃から寝たきりだったが、困難を乗り越え英検準1級に合格。多くの人々に学ぶ喜びと生きる素晴らしさを教えてくれたが、'97年1月14日29才の若さで他界された。

出席状況 97.99% 平均年齢 59.3才
会員相互の親睦を深め、出席するのが楽しみになるような例会を心掛けている。本年創立40周年になるが伝統ある当クラブの会員は一企業の事業主にとどまらず、地域の代表として尊敬され信頼され各方面で活躍している。



中瀬南ロータリークラブの歓迎会
'91.2.6 西尾スター・ボウルに於て

碧南ロータリークラブ

〒447-8501

碧南市音羽町1-1

碧南商工会議所内

TEL (0566) 41-1100

FAX (0566) 48-1100

- ・創立年月日／1959年3月5日
- ・承認年月日／1959年4月8日
- ・スポンサークラブ／刈谷ロータリークラブ
- ・現会長／都築忠知
- ・現会員数／82名
- ・例会場・曜日／碧南商工会議所・水曜

地域やクラブの特色

「健康で緑豊かな港湾都市」碧南。

北は油ヶ淵、東は矢作川、西・南は衣浦湾と周囲を水に囲まれ、農業をはじめ地場産業の窯業、鋳物、醸造などに加えて、臨海工業地帯には自動車、鉄鋼、食品、ガス、火力発電等々が進出発展をしている。

1959年(昭和34年)に刈谷RC(林虎雄特別代表)をスポンサーとして設立し、9月27日、あの伊勢湾台風の翌日に認証状伝達式を挙行、平岩慶一初代会長をはじめ24名のチャーターメンバーでスタートした。

以来、先人の足跡を大切に温厚な地域社会に根づいた活動を展開し、会員相互に思いやりと気配りがあり和気藹々の雰囲気で推移し早や次年度は創立40周年。

奉仕の歩み

1989年4月、創立30周年式典挙行。記念事業として①市民病院へ「壁画」寄贈、②市役所玄関へ「モニュメントポール時計」寄贈、③碧南市へ「交通安全教育用映写機」寄贈、④ロータリー財團へ寄付、⑤ボリオプラスへ寄付を行う。1994年4月、創立35周年式典挙行。記念事業として①芸術文化ホールへ彫像「晴朗の日」寄贈、②碧南市文化財・山車保存会へ助成金贈呈、③碧南警察署へ石版画「Memory」寄贈、④ロータリー財團へ寄付を行う。又、創立以来緑化事業に尽力し、市内公園・学校にとりわけロータリーの森への

植樹も継続している。その他、社会福祉活動への参加、交通安全協会への「のぼり旗」寄贈、ボーイスカウト・サッカー少年団・碧南BBS・軟式野球連盟への助成などを行っている。

創立後順調に拡大してきた会員数も80余名となり、近年若い会員の増加もあり今後の奉仕活動の活性化が楽しみである。

特記すべき活動

1996年3月23日、西三河第二分区のIMを石川八郎右衛門分区代理のもと碧南クラブがホストをし、青山俊董師(愛知専門尼僧堂堂長)の「そこでどう生きる」の講演、碧南RC国際親善奨学生4名中3人をパネラーとして「国際親善について」のフォーラムを実施。『心』・『国際親善』・『友愛』のテーマでRC会員の理解を深めることができた。

1998年1月現在会員82名中、ポール・ハリス・フェロー65名、マルチブル2名、ベネフアクター12名、米山功労者23名とRC寄付にも積極的に貢献している。



IMフォーラム「国際親善について」の風景

一色ロータリークラブ

〒444-0407

幡豆郡一色町大字前野字新田34

一色町商工会内

TEL (0563) 72-8276

FAX (0563) 73-6633

・創立年月日／1962年10月25日

・承認年月日／1962年12月3日

・スポンサークラブ／西尾ロータリークラブ

・現会長／長田 治

・現会員数／50名

・例会場・曜日／東海銀行一色支店2階・木曜

地域やクラブの特色

風光明媚な三河湾国定公園に面した一色・吉良・幡豆の3町をテリトリーとする豊かな産業と人情のある土地柄で、産業は3町とも海苔の産地であり、特に一色町はうなぎの養殖、海老煎餅、干物魚など全国的マーケットがあり、温暖な気候と風土に恵まれ、ばら、カーネーション等の園芸農業も盛んである。

観光面では、三河湾上に浮かぶ佐久島、日本一を誇る大提灯祭、「人生劇場」の著者尾崎士郎の出生地、忠臣蔵の吉良上野介、義理と人情の吉良の仁吉などの菩提寺がある。

1962年(昭和37年)10月25日、田中正太氏の特別代表、西尾RCをホストして、30名のチャーターメンバーのもとに創立し、家族的な雰囲気のうちに楽しい例会をモットーとする歴史と伝統のあるロータリークラブである。

奉仕の歩み

1992年3月一色町へ櫻を植樹して寄贈。

1992年10月22日創立30周年を、1997年10月23日創立35周年を記念して、ロータリー財團へ各1,000ドル、米山記念奨学会へ各30万円を寄付。一色町へフラワーポット、床擦れ防止用エアーマットほか5点、吉良町へ尾崎士郎文学碑、車椅子7台、肩揉み機2台を、幡豆町図書館へロータリーコーナー文庫、大型スライド映写機1式を、それぞれ寄贈した。

1993年4月浜ノ山グランドヘシラカシ、大島桜を植樹、一色町へトウシュロ、吉良町の

小中学6校へそれぞれソメイヨシノを植樹。

1997年3月22日西三河第二分区IMのホストを担当し、日本沙漠緑化実践協会へ緑化基金として50万円を寄付。

毎年7月に開催されるクール一色夏祭りに協賛し、チャリティオークションを行う。

特記すべき活動

1988年4月10日及び1997年3月22日の2回分区のIMをホストとして開催。

創立30周年及び創立35周年を記念して当該年度に記念例会を開催し、それぞれの5年間の歩みを集約した記念誌を発行した。

1989年7月～8月サンリアンドロRC(姉妹クラブ)との間で、各2週間のホームステイによる子弟の交換交流、更に、1993年9月にわがクラブ会員15名が往訪し、翌年6月には同クラブ会員6名が夫人同伴で来訪し又、1996年6月わがクラブ会員夫人を含む11名が往訪するなど、いづれもホームステイによる国際親善交流を盛んに行った。



1996.6.21～7.1 往來
姉妹クラブ サンリアンドロRCの歓迎会風景

高浜ロータリークラブ

〒447-0867

碧南市田尻町1-1-9
衣浦グランドホテル内401号室
TEL (0566) 46-3364
FAX (0566) 46-3371

地域やクラブの特色

西は衣浦湾に面し南に碧南市、北に刈谷市、東は安城市と隣接し、江戸時代より窯業のまちとして発展し瓦、土管、コンロ、植木鉢など焼き物の生産がさかんであった、特殊なものに菊人形師がある。現在はこれに加え輸送機器、一般機械、養鶏、農業と産業は多様になってきている。

1969年(昭和44年)2月18日創立。特別代表、林虎雄氏で刈谷RCをスポンサークラブとして初代会長 加藤正平、幹事 神谷昭司で刈谷南RCの名称でスタート、3年後1972年より現在の『高浜RC』の名称に変更した。インフォーマルディスカッションミーティングを会員宅で行っている。

奉仕の歩み

特記すべき活動は、創立まもなく、1970年より『国際ロータリー青少年交換プログラム』を実行し続けていることで、現在までの海外受け入れ学生34名、派遣学生37名である。創立20周年記念では、『青少年交換の手引き』を発行。中学生に国際的視野をもって育ててほしいと願い、市へ国際交流基金を寄贈し毎年オーストラリアへ、中学生が派遣されている。継続して市内での協賛もしくは、支援活動としては以下のとおり。

少年サッカー大会、少年剣道大会、身障者運動会、福祉まつり、親子ふれあいフェスティバルがある。'88年市立図書館へ美術全集1セット寄贈、'89年交通安全塔建立、'96年

- ・創立年月日／1969年2月18日
- ・承認年月日／1969年2月26日
- ・スポンサークラブ／刈谷ロータリークラブ
- ・現会長／松井勝彦
- ・現会員数／55名
- ・例会場・曜日／衣浦グランドホテル・火曜

家庭生ゴミの有効処理普及活動、「95年市内の中部公園の池、浄化及び掃除用ポンプ1台寄贈、「96年、「97年福祉協議会へ車イス各年2台寄贈、「97年消防指令車1台寄贈、小・中学生へ(いじめ相談カード)配布。

特記すべき活動

'89年「ロータリー国際交換学生」を発行、「90年「国際交流基金」をクラブ並びに神谷昭司会員が市に寄付。

'97年12月例会場を衣浦グランドホテルに移す。

'98年3月西三河第二分区IMホストクラブ。



'97年消防指令車 寄贈



あなたは悩んでましたか?
ひとつとして、まだかな。
いちばん相談したい電話番号

'97年市内小・中学生へ配布のいじめ相談カード

知立ロータリークラブ

〒472-0033

知立市中町中128

知立セントピアホテル510号室

TEL (0566) 84-2760

FAX (0566) 84-2761

- ・創立年月日／1991年1月16日
- ・承認年月日／1991年2月1日
- ・スponサークラブ／刈谷ロータリークラブ
- ・現会長／永井 浩
- ・現会員数／58名
- ・例会場・曜日／知立セントピアホテル・水曜

地域やクラブの特色

1991年(平成3年)1月16日、横井初代会長以下31名の会員を以て刈谷知立RCとして創立された。特別代表は鈴木孝平氏、スponサークラブは刈谷RCである。

同年4月27日、認証状伝達式を挙行した。1992年(平成4年)4月、名称を知立RCに変更し、1996年(平成8年)2月28日に創立5周年記念式典を行ったばかりの若いクラブである。

区域限界は2市にわたる。すなわち、往時は、東海道五十三次の「池鯉府」宿として栄え、現在は商業・住宅都市として発展している知立市、及び明治・大正時代より県下有数の工業都市として栄え、現在「自然と工業の優しい調和」を大切に発展を続けている刈谷市である。

奉仕の歩み

1991年4月、創立記念事業として、知立市、刈谷市、ロータリー財団、米山記念奨学会に寄付金を贈呈。1992年、初めて交換留学生を米国に派遣、同国より留学生を迎える。1994年6月、社会福祉協議会に車椅子を贈呈。同年7月、知立市に酸性雨測定器を贈呈。1995年、米山奨学生の鄭君を迎える。1996年4月、創立5周年を記念し、ロータリー財団、米山記念奨学会に寄付金を贈呈。同じく知立市に当クラブの永井浩会員作ブロンズ像「よあけ」を贈呈。1997年、会員増強目標の60名を

達成。ポール・ハリス没後50周年を記念して社会福祉協議会に視覚障害者用テープ作成機器を寄贈。メモリアルコントリビューター2名を含む財団寄付の目標額達成等により、RI会長賞を受賞した。また、同年2月、米山功労クラブ賞を受賞した。

特記すべき活動

1996年、創立5周年記念式典を行い、記念誌を発行した。1996年10月、アジア地域大会(タイ・バンコク)に5名の会員が出席。

過去3年間の平均出席率は99.79%で、会員の平均年齢は54.9歳である。

今後とも奉仕と会員相互の親睦との調和を大切に活動したい。

なお、1998年(平成10年)5月より、事務局ならびに例会場を知立セントピアホテルに移転する事が決定している。



創立5周年記念式典・1996年

西尾KIRARAロータリークラブ

〒445-0854
西尾市永楽町3-45
西尾信用金庫中央支店内
TEL (0563) 54-0123
FAX (0563) 54-0800

地域やクラブの特色

かつて、六万石の城下町として栄えた西尾市は、三河三都の一つとして古くから産業・文化の中心地として、農業、工業、商業が調和しながら、発展を続けてきた。

農業においては、全国一の生産量を誇る抹茶をはじめとして、植木や園芸が盛んである。

工業では、自動車産業を中心に、鋳物等が順調な発展を遂げている。

商業の面では、西尾駅周辺を中心とした都市再開発や交通網の整備によって近代的な商業ゾーンをつくっていく計画である。

1991年(平成3年)7月5日に鳥山幸男初代会長のもとに51名のメンバーをもってスタートした。

創立時の平均年令は45才と、若きあふれるメンバーで、良き伝統を守りながら新しい発想で行動し、社会奉仕活動を推進し、会員相互の親睦を深め西尾KIRARAロータリーらしさがようやく定着してきた。

奉仕の歩み

21世紀の担い手である青少年の皆さんに、本当の意味で、国際人として育ってくれることを願って、創立記念事業として、「第一回中学生海外文化体験の旅」として西尾市内在住の中学生6人を抽選で選び、アメリカのミネソタ州に派遣した。第2回はバラオ諸島の旅、第3回は中国茶のルーツの旅、第4回はネパールの旅と目的地も多彩で4年間にわた

- ・創立年月日／1991年7月5日
- ・承認年月日／1991年7月26日
- ・スポンサークラブ／西尾ロータリークラブ
- ・現会長／杉浦 武
- ・現会員数／72名
- ・例会場・曜日／西尾信用金庫中央支店内・金曜

り、「中学生海外文化体験の旅」を継続し、青少年の健全育成と国際交流に貢献をしてきた。

又社会奉仕活動の一環として「西尾キララ賞」を制定し、日頃地域社会の中で、社会奉仕、ボランティア活動、並びにひたむきな善意の行動により明るい豊かな地域づくりに取り組んでみえる方々を発掘し、敬意を表し、西尾キララ賞を贈呈し顕彰をしている。

特記すべき活動

- ☆5周年記念事業として記念誌の発行と地区全クラブへの御礼並びに報告訪問
- ☆クラブ名称のルーツである八ヶ面山雲母坑の文化遺産の保存整備
- ☆1996年にガバナー「特別業績賞」受彰
- ☆1997年にRI会長賞を受彰
- ☆米山功労クラブ「第3回」受彰



八ヶ面山 雲母坑保存整備

